

ISSN 2435-4597

日本モンゴル文化学会誌



蒙古文化研究

# モンゴル文化研究

Mongolian Cultural Studies

第三号

2021年12月

Journal of the Mongolian Cultural Society in Japan

T. アルタンバガナ 包 双月 (ボウ サラ)

編



## はしがき

日本モンゴル文化学会、2019年2月2日に日本の東京都立大学（元首都大学東京）にて創立後、既に6回の研究会を行った。この中、2020年1月から流行した新型コロナウイルスの影響で、今年の夏大会は2021年6月19日に去年と同じくオンラインで開催された。

日本モンゴル文化学会のこれまでの活動状況は以下の通りである。

2019年2月2日、首都大学東京において日本モンゴル文化学会の創立発表会（第1回冬季大会）。

2019年5月12日、「モンゴル研究の新時代・新力量・新探求」をテーマに、東京荒川区民館で国際シンポジウム。

2019年7月20日、大阪市立大学で「日本モンゴル文化学会・第2回夏季大会」。

2019年12月14日、神奈川大学で「日本モンゴル文化学会・第3回冬季大会」。

2020年7月18日に、Zoom オンラインで「日本モンゴル文化学会・第4回夏季学術大会」。

2021年6月19日に、Zoom オンラインで「日本モンゴル文化学会・第5回夏季学術大会」。

日本モンゴル文化学会のこれからの活動について、コロナウイルスや発表者の応募状況、及び会員の要望を考慮しつつ検討していきたい。

日本モンゴル文化学会 Email : [mglculture@yahoo.co.jp](mailto:mglculture@yahoo.co.jp)

日本モンゴル文化学会編集委員会 2021年12月 千葉市・仙台市



## 目次

はしがき .....	0
日本モンゴル文化学会・第五回夏季大会.....	1
『モンゴル秘史』にみられる文化的記憶とその特徴.....	包宝海 3
モンゴル語チャハル方言における副詞 gəŋ について .....	祇麗琦 4
中国・内モンゴル自治区農牧地域における農村留守児童支援に関する研究	
—A 学校の教職員への調査を手掛かりにして— .....	麗麗 5
遊牧生活におけるウマの毛の一物全体活用に関する調査研究.....	吉日木図 7
中国・内モンゴルにおける乳製品の消費動向	
—シリングル盟正藍旗の事例を中心として— .....	ホロワ 8
蒙古族传统玩具的搜集与展陈研究	
—沙嘎玩具为例— .....	格根薩仁 10
医療人類学から見るモンゴル伝統医学の保護と伝承について .....	特日格樂 13
敦煌元代壁画手姿考究.....	胡曉麗 14
「訳語」と『蒙文倒綱』における器具名称について	
—モンゴル文字並び名称に対する考察— .....	サイン・ホビト 16
モンゴル諸語統一表記 音節と子音連結.....	城吉一徳 17
見世物にみるプロパガンダについて考察	
—内モンゴル自治区のウラーンムチル歌舞団を事例に— ....	T.アルタンバガナ 19
調査報告・研究論文・ノート・書評.....	21
モンゴル英雄史詩における年齢の象徴性に関する考察.....	ホスバヤル 23
思い出に宿ったボロガン草原、永遠に思うモンゴルの故郷（書評、モンゴル語）	
—Henning Haslund "In Secret Mongolia" を読んで— .....	オリハン 35
エヴェンキ族の伝統スポーツ文化に関する考察（キリル文字） .....	Xi Hanggai 47

モンゴル語の使役動詞のタイプ分けと派生	
ー生成統語論的アプローチー .....	バイ　チゴチ 57
モンゴル諸語統一表記　子音連結 .....	城吉一徳 67
中国・内モンゴルにおける乳製品の購入分析	
ーシリングル盟正藍旗の事例を中心としてー .....	ホロワ 75
ウラーンムチル芸術歌舞団の創新期における上演作品	
ー中国内モンゴル自治区赤峰市オンニュート旗を事例にー T.アルタンバガナ	91
蒙古東部占領期、都邑と居留民の研究（王爺廟） .....	池田健雄 117
表演语境与胡尔奇的语言表述.....	彭春梅 137
传承八个世纪的拖雷伊金祭奠祭祀 .....	布仁巴雅尔 145
日本モンゴル文化学会収支状況 .....	151
学会写真集.....	153
あとがき .....	155
謝辞 .....	T.アルタンバガナ 156

日本モンゴル文化学会・第五回夏季大会

時間：2021年6月19日（土曜日） 10：00～18：50

場所：新型コロナウイルスの影響により Zoom で開催





## 『モンゴル秘史』にみられる文化的記憶とその特徴

包宝海 (BAO BAOHAI)

古代モンゴル人の生活を伝える「百科事典」ともされる『モンゴル秘史』にはチンギス・ハーン一代記を中核に、その祖族伝承から後継者オゴデイの即位やその治世における外征までの出来事が記されているが、本文には多くの押韻や会話文が含まれ、文学的な特徴を色濃く持っている。モンゴル民族の起源と歴史の流れを生き生きと描いたこの書作はモンゴル人の福音書でもあり、世間の人の中では初めて「モンゴル」という記憶を刻んだ不朽の名作である。その文化的記憶の内容から見れば、モンゴル秘史は現在から絶対的な距離を持つ歴史的事件や神話を記憶の対象としている。また、モンゴル秘史には多くのモンゴル民族特有の口承伝統と民俗信仰が含まれており、自らの記号体系あるいは伝承の形式を持っている。このような特徴はモンゴル人集団のアイデンティティーの構築において重要な役割を果たしていると考えられる。秘史は実証された民族の記憶であり、その機能は現代教育への応用でも現れている。無数のモンゴル子どもたちは小学校からモンゴル秘史に関する物語や漫画などの通俗読み物に触れ、自分の民族の過去を理解し、記憶している。さらに、秘史は一部のモンゴル歴史家や学者さえ育て上げ、この書作の引き起こした研究や出版物は衝撃的に増えており、その大量の印刷やインパクトから見ても秘史はモンゴル民族の一つの「記憶の場」になったように思われる。このように、モンゴル秘史はモンゴル人の貴重な遺産であり、民族記憶とアイデンティティーの解釈者でもある。

本報告では、記憶論の視点から『モンゴル秘史』が伝承されるモンゴル民族の文化的記憶の内容、特徴と機能を考察する。モンゴル民族の文化と心理を解読できるこの書作にはどのようなモンゴル民族の口承伝統が含まれているのか。また、この書作にはどのようなモンゴル民族特有の民俗信仰と文化的記憶が伝承されてきたのか。秘史がいかに伝承・共有・構築され、モンゴル民族の集合的記憶にどのような影響を与えているのか。

(中国青海師範大学法学社会科学学院副教授・  
東京外国語大学大学院総合国際学研究科特別研究員)

## モンゴル語チャハル方言における副詞 gəŋ について

祎丽琦

チャハル方言とは、内モンゴルで話されているモンゴル語の方言の一つであり、蒙古学百科全書(2004:716)によれば、その話者人口は 50 万人近くあり、中国内の内モンゴルではモンゴル語の口語標準語発音の基礎としておかれている。周知のように、中国では漢語が主体言語であり、内モンゴルのモンゴル人にとって漢語とモンゴル語が生活の中で常に共存している。それにより、漢語とモンゴル語の接触現象も彼らの言語生活の様々な面で反映されてきた。

しかし、モンゴル語のいくつかの方言の中で早くから漢民族の文化を受け入れ、農業が営まれてきたことなどが主な要因で、東部方言における漢語からの影響が早くから注目されてきた。その一方で、チャハル方言など西部方言における漢語との接触現象についての研究はあまりなされてこなかった。

また借用要素の面で、モンゴル語は名詞、動詞などの開いたクラスの借用以外に、漢語の副詞などを借用するのも事実である。しかし、言語接触現象を見る上で人々はいくつかの名詞や動詞や形容詞などの借用に注目しがちだったため、副詞などの閉じたクラスの借用についての研究がより少ないのである。ゆえに、チャハル方言における漢語を由来する副詞に関する研究もまれである。そのため本稿は漢語副詞の“更”を由来すると思われるチャハル方言における副詞 gəŋ について考察してみたい。

漢語における“更”は程度を表す副詞であり、形容詞と一部の動詞を修飾する。それが意味、機能的にチャハル方言の副詞 gəŋ と nəŋ に対応するが、nəŋ が文語と口語の両方に用いられるのに対し、gəŋ は口語のみに用いられる。チャハル方言における gəŋ に関する先行研究での記述は少なく、道布 (1983、87)、Borjigin Sechenbaatar(2003、165)、《蒙古語の方言》(1964、795)、《蒙古語の方言》(2018、40) などではモンゴル語あるいはチャハル方言における程度を表す副詞の一つとして並べられているだけである。なお、Borjigin Sechenbaatar(2003、165)と《蒙古語の方言》(1963、795)では gəŋ が漢語に由来するものと言及しているもののそれについての検討を行っていない。よって、本稿はチャハル方言における gəŋ、nəŋ 及び漢語の“更”の文中での役割分担、分布などを比較することで gəŋ の特徴を明らかにしたい。

(内モンゴル師範大学蒙古学学院)

# 中国・内モンゴル自治区農牧地域における農村留守児童支援に関する研究

## —A 学校の教職員への調査を手掛かりにして—

麗麗

### 1. 研究背景および問題意識

中国国内では、2016年2月までは、国務院<sup>1</sup>は、「農村留守児童に対する保護対策を強化する意見書」（以下「意見」と略す。）国発[2016]No.13を公表し、農村留守児童について新たな定義をし、具体的なすることになった。全国的に調査を行った結果、全農村留守児童人口は、これまでの数の約15%に相当する902万人まで人数に限定されることになった。この中、少数民族地域である内モンゴルでは農村留守児童は2.6万人いると公表しているが、農村留守児童たちの語りや意見を手掛かりにした関連する先行文献や資料が見当たらない状況である。

しかしながら、農村留守児童問題を解決対策として、農村寄宿制学校の設備強化が強調されている。寄宿舎付き学校は、内モンゴル自治区（以下内モンゴルと略す）をはじめ、建国以来各僻地や山地の農村地域で様々な形で発展して、現在に至る。

内モンゴルは、主にモンゴル民族が主体となった、国境地帯の少数民族自治区である。歴史、自然的原因によって経済発展と文化水準の規制、伝統的な観念などに影響され、「中国児童発展要綱」を実施する過程が全国の発達地区と比べると、まだある程度の各差がある。都市部と農村部の児童発展が不均衡であり、辺鄙な農村牧地区の子どもの全体的な発達が低い水準である。また、人口流動の影響による子ども問題がまだ解決されていない。義務教育の発展が不均衡であり、都市部や農村部の学校の格差が大きい。様々な格差を解消する一環として、内モンゴルの農牧地域で学校統廃合によって、農村の学校が合併された、子どもたちは自宅から通学できなくなり、合併された学校に増設された寄宿舎に暮らすことになった。

### 2. 研究目的

本研究は、中国・内モンゴルの農牧地域の中で都市部への出稼ぎが増加している貧困地域の典型地域である農牧地域の学校の協力を求め、内モンゴルの農牧地域における農村留守児童支援について学校教職員の認識はどうであることを明らかにすることを目的とする。

### 3. 研究結果

教職員の中、クラスの担任生を除き、農村留守児童に対する認識が「その子が留守児童と知っている」にとどまっている。知っている農村留守児童の親と同じ地域に暮らしているから「親の出稼ぎ」によりその子が「留守」とわかっているが、普段学校での生

---

<sup>1</sup> 国務院：中国の行政機関で、日本の内閣に相当する。

活や子どもの様子から関わってわかったとは思われない。「親の出稼ぎ」に行き、家庭内でしつけや育ちが良くない、不足しているから学校で問題を起こす「問題児」となる認識する教職員もあり、「家庭教育の大切さ」を強調する教職員が多いことがわかった。

(東洋大学大学院福祉社会・デザイン研究科・博士後期課程)

# 遊牧生活におけるウマの毛の一物全体活用に関する調査研究

吉日木 図

モンゴル高原に生きる人びとは、五畜と呼ばれるウマ、ウシ、ラクダ、ヒツジ、ヤギを放牧し、生業に必要とする資源をすべてその中から摂取しながら、遊牧生活を成立させてきた。伝統的な遊牧生活において、人びとは五畜からいただいた様々な資源、衣食住をはじめとする生活の各面において巧く使い尽くしてきた。しかし、中国内モンゴル自治区において今日、都市化や定住化により生活様式が大きく変化し、伝統的な遊牧生活の姿が徐々に消失し、長い歴史の中で培われてきた遊牧生活の知恵が使い場を失われつつある。現在、内モンゴルの多くの地域において今もなお牧畜生活が継続されているが、生活様式と生業需要の変化により、家畜の毛、皮などは生活に活用されなくなり、そのまま販売されてしまうのが現状である。このような現状において、従来遊牧生活の中家畜の毛と皮を介して継続されてきたものづくりの技術、儀礼、地域共同体の関わり方などが消失されてしまう危機に直面している。そのため本稿は、モンゴルの遊牧生活においてもものづくりの重要な資源の一つとして活用されて来たウマの毛を取り上げ、伝統的な遊牧生活において人びとは如何にウマの毛を生活の中に活用してきたかを徹底的に調べるとともに、その文化的要素を明らかにしたいと思う。具体的には、まずこれまでに蓄積されてきた文献調査を行いながら、内モンゴルのシリングル盟において実地調査を行い、これまでにウマの毛が生活においてどのように使用されてきたのかを把握する。また、ウマの毛を原材料としたものづくりとその技術及びウマの毛の切取り、処理、使用、廃棄の過程に行われる儀礼や地域共同体のかかわり方を明らかにする。

伝統工芸振興による地域振興は中国の国家的方針として取り上げられている。また内モンゴルでは馬頭琴や伝統的縄づくりなどが相次いで国や自治区レベルの非物質文化遺産に登録されている。そのため、伝統的遊牧生活においてウマの毛が如何に生活の中に使用されてきたかを調査することが、これからの伝統的生活工芸の振興や非物質文化遺産の発展に貢献できる。なにより、定住化が進む今日において、今もなお牧畜生活を行っている人びととともに伝統文化を再確認・再認識し、これからの地域振興に寄与できることを期待できる。

(内モンゴル師範大学国際設計芸術学院)

# 中国・内モンゴルにおける乳製品の消費動向

—シリングル盟正藍旗の事例を中心として—

ホロワ

本研究では内モンゴル自治区シリングル盟正藍旗を事例に、乳製品の消費構造の変化を消費者の職業、収入、年齢、民族、学歴や世帯人数などの属性との関係を中心に検討を行う。その際に、乳製品の安全問題や自身の健康に関する意識や感覚についても考察を行う。

本研究の調査対象地は内モンゴル自治区シリングル盟チャハル地域である。正藍旗は内モンゴル・シリングル盟チャハル八旗のうちの一つである。正藍旗はシリングル盟の東南部に位置し、北京から 180 キロメートル離れている。総面積は 10182 平方キロメートル、そのうち草原と砂漠の割合は 8 対 2 である。海拔約 1200 メートルから 1600 メートルに位置し、年降水量は平均 360 ミリ、最高気温は 35.9 度、最低気温は零下 36 度、年平均気温は 1.5 度である。正藍旗の旗地域の政府は上都鎮である。正藍旗は三つの鎮、八つのソム、103 のガチャー、一つの国営牧場からなる。人口は 8 万人、そのうち都市人口は 2.92 万人 (33%)、牧畜民は 5.28 万人 (67%) である。正藍旗は蒙元文化の発祥地、チャハル民俗文化の典型的代表、中国「乳製品文化の故郷 (チャガンイデ)」になっている。モンゴル帝国元の時代から皇家の乳製品を作り、現在では、伝統乳製品の加工史上独特な位置を占めている。

調査方法：(1) 乳製品に関するアンケート調査；(2) 乳製品店と工場からの聞き取り調査；(3) 乳製品の種類調査の 3 種類があった。

(1) 乳製品に関するアンケート調査：正藍旗で現地の住民と牧畜民を対象者としてアンケート調査を実施した。インターネット調査を主に活用し、608 人から有効回答を得た。アンケート内容は、日本酪農乳業協会が 2012 年から毎年実施している「牛乳・乳製品に関する食生活動向調査」を参考にした。ただし、一部の質問項目は内モンゴルの状況に適合するように改変した。

(2) 乳製品店と工場からの聞き取り調査：正藍旗にある乳製品店と工場から聞き取り調査を行った。調査地である正藍旗では現在、伝統的乳製品加工及び販売経営企業が 125 戸、そのなかで生産企業 (長虹、西貝、蒙元都) は 3 戸、小規模な乳製品店が 61 戸であった。

(3) 乳製品の種類調査：正藍旗乳製品の種類はホロート (チーズ)、ウルム、チョラ、ジョゲイ、シャル・トス、(バターオイル)、トウデ、ジョチゲイ、チーズ条、乳清糖、ミルクディー粉、乳酒など 20 以上の種類により構成されていた。その中で、ホロート、ウルム、チョラ、チーズ条などの商品は地方標準と国家標準を持ち、SC を申請できるようになった。全旗で乳製品商品マークを登録した乳製品店は 20 戸あり、ホロートとウルムが国家保護する商品になった。近年、チーズピーサ、乳清ドリンク、乳清糖類、チーズ糖、チーズケーキ、乳製料理などの新たな商品が度々出ている。

現地調査の結果、調査対象地域の酪農業が直面している生産加工と流通・販売の主要な問題、課題として以下が指摘できる。

- (1) 生産加工に存在している問題。
- (2) 販売に存在する問題。

(大東文化大学大学院・アジア地域研究科・アジア地域研究専攻・博士後期課程)

# 蒙古族传统玩具的搜集与展陈研究

—沙嘎玩具为例—

格根 萨仁 (GEGEN SAREN)

Key Words : 蒙古族、传统玩具、沙嘎

项目基金 : 中国国家社会科学基金项目资助, 项目名称“北方少数民族传统玩具的搜集保护与展陈研究”项目批准号 : 20XMZ043

## 发表要旨

### 1. 引言

蒙古民族是历久以来以家庭教育为主, 传统玩具的游戏过程中有诸多的语言、音乐、诗文的教学内容。随着社会经济的发展和消费主义的发展, 传统玩具逐渐消失, 因此传统玩具里凝练的智慧和民族文化精神也逐渐消失。同时随着传统玩具的日渐消失, 传统玩具的游戏方法以及随同的音乐、诗句也在逐渐消失。对于传统玩具系统的搜集与展陈并转化为数据资源是对于下一代传承民族优秀传统文化具有重要意义。

本次发表当中, 作为本研究的一个组成部分, 介绍蒙古族传统玩具的价值和《沙嘎》玩具的游戏规则和种类。本研究从总体内容是结合北方少数民族风俗习惯研究, 以传统文化的传承为主线, 对北方少数民族传统玩具进行系统搜集、策划玩具馆、展陈并对北方少数民族传统玩具进行梳理、转化数据资料, 为我国《中华优秀传统文化传承发展工程》提供政策服务实证资源并为我国基础教育中的《传统文化教材建设》提供实质性数据资源。

### 2. 对于蒙古族传统玩具在国内研究情况

蒙古民族传统玩具的研究方面至今没有统一的研究成果, 蒙古国在基础教育当中运用一些蒙古族传统玩具做教学材料。今年来, 在传承和保护方面蒙古国的工艺和美术设计的角度来研究一部分蒙古国传统玩具, 例如:《嘎拉哈》(沙嘎)的游戏规则,《布偶》的艺术设计等色彩和造型方面进行分析并导入在教学材料里。早在上个世纪就是年代有一些日本的蒙古学者在蒙古族生活环境介绍当中介绍一些蒙古族的传统玩具。例如:日本一ノ瀬惠的《蒙古的生活》当中介绍了蒙古沙嘎游戏,小長谷紀的《蒙古的春》里蒙古木偶的的游戏规则的特色有详细的介绍等。以上都是围绕着蒙古族或北方少数民族里单民族的传统玩具的部分介绍。美国罗伯特·雷德菲尔德:王莹泽《农民社会与文化》(中国社会科学出版社, 2013年)一书中提出的一种二元分析的框架,其中小传统是指在农村中多数农民所代表的文化,玩具分为小传统之后在中国少数民族玩具的艺术风格和色彩方面有局部的介绍,比较规范,理论化研究方面日本。出版的书籍内容介绍了从民族风格,造型设计和和游戏方法方面介绍。这些先行研究能够为本研究留下了重要的参考资料。



总之，在学术界至今没有把蒙古民族传统文化和传统玩具置于统一框架内进行研究，从传统文化视角的传统玩具文化方面的研究都单独民族文化当中包容的方式进行研究，内容淡薄，大部分以介绍为主，谈不上深入研究。从传统文化视角把北方少数民族传统玩具置于统一框架内的研究至今空白的状态。

### 3. 《沙嘎》玩具

沙嘎是动物的踝骨,也称距骨或髌石,是中国古代北方草原游牧民族娱乐的一种用具。沙嘎游戏技艺历史悠久,在古代,嘎拉哈成为鲜卑、契丹、女真、蒙古军事战术上模拟演习的棋子。嘎拉哈大小不同、类别不同、颜色不同,以不同的种类代表不同军事名类,通常是山、林、河、泡,布兵设阵,士兵头领,包抄堵截,兵器队别等用嘎拉哈来代表,成为战局中沙盘的棋子。根据史料记载,沙嘎游戏源自蒙古族先民,其发展至少有 800 年左右的历史。沙嘎(羊拐),又称夏盖,也称作“嘎拉哈”,西部俗称“羊拐”,是绵羊、山羊、骆驼、牛、青羊、黄羊等动物的四方形小踝骨。蒙古族祖先很早就开始把羊的沙嘎保存起来,寓意就是纪念被杀戮的该动物。后来就用沙嘎进行占卜算卦并做多种游戏来玩。沙嘎游艺历史悠久,影响广泛,至今仍为许多北方民族所热爱。本文对其作初步的研究探讨。在内蒙古锡林郭勒盟东乌旗考察时根据在当地的沙嘎研究者的介绍发现沙嘎游戏种类就 109 种游戏方法。现在苏尼特地区流传下来的沙嘎游戏玩法有 120 多种,人们常玩的沙嘎游戏有抓“沙嘎”、箭“沙嘎”、弹“沙嘎”、“赛马”、“猜“沙嘎”等多种类型,而且所有的沙嘎游戏都有相应的游戏规则。

玩“沙嘎”,蒙古语又叫“杰林亥衣那”,意即“扔六十个子”的游戏,因以六十颗黄羊腿腕骨为子而得名。黄羊腕骨细小精巧,十分适合于这种游戏。如没有黄羊骨,也可以普通羊腕骨代替,但需打磨棱角,使之圆润光滑;沸水熬煮,使之存肉尽剔,且呈乳黄亮色。有民谚说:“高高山上绵羊走,深深谷地山羊过,向阳滩上骏马跑,背风弯里黄牛卧。倒立起来叫不顺,正立抓个大骆驼。”宽凸面称绵羊,宽凹面称山羊或牛,窄凸面称马,窄凹面称骆驼。

玩法一般以四人以内为宜。因为此种游戏需取用蒙古包中矮柜之盖为盘,盘小人多,玩起来不方便,所以二人游戏者居多。如四人参加游戏,则两两人为对家,其余二人为另一组。游戏至多六个人参加,而此时则需两付“沙嘎”,分两个盘子进行游戏了。

二人游戏时,先取两子掷于盘上,若两子形状各异,则由另一人再掷,直至其中一人先掷出两子形状一致者方可开局。开局者满捧六十子撒于盘上,观察子与子互相有无重叠压倚者,有无撒出盘外六子及以上者。如有上述情况,则犯规,由另一人再撒,直至最低五十五个子均在盘中,且子与子间互不相侵,方可以指相弹,并根据子的四个面坐、站、躺、卧形态,使名称相同的两子相弹碰撞,不可出盘,也不可碰撞其它子,如此便算吃掉一子,从盘上取下,握在手中。其中玩法很多,有的规定握在手中的子满十个才能放在盘外,否则即犯规;有的规定欲碰撞哪个子时,就不能再中途变换碰撞别的子,也不准以手指指点点,只许静坐默察,然后动手弹子。就这样,直至两人将盘中子尽行弹完,以弹掉的子多者为胜。随着科学和社会的不也有一种玩法是在盘中只剩数子时,一方再添手中子相同枚数于盘上,直至将盘中子尽弹入囊中而告结束。

随着科学和社会的不断发展，蒙古族人民的生活状况有了巨大的变化，古老的游牧狩猎生活也发生了变化，因此只有在那达慕大会等场合中设置这项游戏，平常生活里人们很少开展沙嘎游戏，甚至有些地方开始遗弃了沙嘎游戏，此活动濒临危机。

**参考文献：**

- [1]王卓主编：《地域文化研究》，吉林省科学院出版社，2020年。
- [2]张新沂：《中国民间儿童玩具史话》，新世纪出版社，2016年。
- [4]罗伯特·雷德菲尔德：王莹译《农民社会与文化》，中国社会科学出版社，2013年。
- [5]曹振峰：《儿时耍货：中国民间玩具艺术史话》，百花文艺出版社，2007年。
- [6]王连海：《中国民间玩具发展简史》，北京工艺美术出版社，1992年。
- [7][https://www.sohu.com/a/167651248\\_215898](https://www.sohu.com/a/167651248_215898)

（日本新潟大学博士·内蒙古民族大学美术学院 讲师）

## 医療人類学から見るモンゴル伝統医学の保護と伝承について

特日格楽

近代化（工業化）に伴い、西洋医学が世界の至ところまで広げた。その中で民間医療、民族医学、シャマニズム的治療などが相手にならなかったと言えよう。では、筆者はモンゴルの伝統民族医学に注目したのである。民族医学が民族文化を担うものである。一つの民族の長年の健康を保持してきた。近年 WHO から民族医学、民俗医療を救う必要があると出した。医療人類学が創立して以来、民俗医学の保護と伝承に力を入れてきた。本研究では、まず国内外の医療人類学の視点からされた関連研究をまとめる。そのあと、モンゴル医者らの過去実践事例を資料と扱い、モンゴル伝統医学の優れた治療性と代替医学として位置させるべき理由などを述べる。最後に、医療人類学の視点から、多元医療体系の存在、多元文化共存の重要性、モンゴル伝統医学の将来像及び保護伝承に新たな考えを提供することを望む。

モンゴル民族が世界的な民族である。モンゴル帝国の遺産を現在のモンゴル国、中国、ロシアが継承したのである。中国において、内モンゴル自治区がある。内モンゴルで医療方面において、多元的である。西洋医学は普及し、モンゴルの伝統医学と中国医学（中医）と並存している。それ以外にも、シャマニズム的治療法、呪術的治療法、祈祷などの存在がある。一方、西洋医学と出会ったモンゴルの伝統医学は、今では、新しくシステム化された。

近年、シャマニズムの病気治療をはじめとする研究が注目されている。彼らはシャマニズムの病気治療や治療過程が注目し、もしくはその祭祀儀礼、宗教観、世界観、健康観などに関心を注いでいる。一方、公的とされたモンゴルの伝統医学を医療人類学という視点から分析した研究が少ない。国内で他民族の医学と医療が研究されているが、モンゴル伝統医学に関し、烏仁其其格先生以外、ほとんど研究されてない。空のところを埋めていくことが何より大事である。

過去の実践事例を資料として分析する。それは本研究の価値を紹介できる大事なものである。分析から患者らの当時の病状、心の動き、生活の貧しさ、知識の不足さなどがみられる。また、今と比べ、治療性、信頼性が高いことである。最後に、モンゴル伝統医学の将来がどうなるか、代替医学としてどのようにすればよいかを考え、提案を出すように望む。

（日本静岡大学大学院・人文社会科学院卒業・社会工作者）

# 敦煌元代壁画手姿考究

胡晓丽

**摘要：**敦煌壁画中的手姿对现代舞蹈艺术有很大的影响。以往对敦煌壁画中各个时期不同风格的手姿的运用和研究，更加注重吸收手部的变化和作姿来构成了舞蹈语汇。对敦煌壁画手姿丰富内容的进一步深入研究是重要和有意义的。本文结合宗教和舞蹈两个方面对元代敦煌密教遗迹中的手印进行研究。依据密教手印的寓意来试解壁画中的手姿，并寻找手印在舞蹈中发展和演变的过程和方法，以期有助于将来舞蹈创作中对手姿的发展和呈现。

## 1. 敦煌元代壁画密教手印解读

敦煌元代开凿的密教遗迹有：3窟、61窟、95窟、149窟、463窟、465窟，榆林第4窟、10窟、27窟，东千6窟。元代敦煌壁画中有的依据佛教手印，有的源于生活劳作，也有画匠在佛教手印的基础上注入了自己的审美观点创作的作品。

手印最早并无固定轨则，密教兴起后采取印度教的形式而有手印之说并进一步阐释手印的意义及利益。密宗（Esoteric Buddhism）源于公元2世纪印度大乘佛教，是大乘佛教、印度教、印度民间信仰融合的结果。密宗在印度毁灭之后，它的完整的形态在西藏得到发展，形成带有西藏特点的藏密。

印母是结成一切手印的基础印，所有的手印都是从印母发展来的。密教手印通常以十二合掌及四种拳为基本印。密教以身、语、意三密为基本，其中身密的修法内容主要是结手印。每一种手印都有特殊的寓意和作用。

- (1) 元代壁画中双手印
- (2) 元代壁画中单手印
- (3) 元代壁画中持法器手印

## 2. 手印在舞蹈中的使用、演变和发展

- (1) 印度古典舞中的手势

印度古典舞流派 Bharatanatyam 有 55 个手势，kathak 有 51 个，Kathakali 有 24 个，Odissi 有 20 个等。

- (2) 敦煌舞中的手姿

高金荣教授《敦煌舞教程》中的手姿有 17 种手式，13 种手位。

- (3) 手印在不同国家和领域的运用

佛教文化通过传播到其他国家和地域后与当地文化相结合，形成了有当地特色的佛教艺术。如：泰国，日本等国家的佛教舞蹈都有属于自己特点。

**结语：**探索和创新是所有艺术繁荣的根本。手势是人类的符号，是舞蹈的最初表现形式。佛教中的手印和舞蹈中的手势两者之间密切相关，相互依存的。两者都经过不断的演变，手的姿势发展为佛教手印和舞蹈中的手势手语。元代敦煌壁画中呈现的密教“手印”从作姿和寓意都可成为舞蹈中手舞的素材。深入挖掘元代敦煌密教遗存佛像手印背后蕴含的佛教思想、将更多的手印变化和作姿运用在舞蹈创作中，丰富舞蹈艺术中手姿的语汇。力求将元代敦煌壁画中手姿按照舞蹈艺术发展需求多样化的运用到新时代舞蹈发展中。

(蒙古国立大学文理学院 蒙古国 乌兰巴托 )

# 「訳語」と『蒙文倒綱』における器具名称について

—モンゴル文字並び名称に対する考察—

サイン・ホビト (Sayin Khubitu)

本稿では漢文資料なる各種の「訳語」と『蒙文倒綱』(栗林印影)を利用し、その中の民具名称なるものを対象に民俗学的考察を行う。「訳語」はモンゴル語を中国語に音訳と翻訳した書物で、『蒙文倒綱』は三国語、即ちモンゴル語、中国語、満州語の翻訳辞書である。それぞれ資料の紹介とそこから民具なる名称を取り出し、それら資料の民具名称からモンゴル語の文法的、並び資料の特徴をまとめる。さらに資料が反映する時代の民具名称におけるモンゴル社会の生活様式、民俗文化を考え、言語、民具、民俗の関係を追求する。

音訳とはモンゴル語を漢字の読み方で表記したものであるため、漢字の読み方の変容と多音字があり、一層複雑にしたのはモンゴル語の方言があることである。古い漢字で古いモンゴル語を読むことは確かに不確定の点が多い。更に後世の移し替えによる誤字、脱字の問題もある。この点は先行研究の整理資料を利用する。

「訳語」は賈敬顔(カ ケイガン)、朱風(シュ フウ)が編集した「蒙古訳語 女真訳語汇辑」と知恥子集録の『至元訳語(遼金元語文僅存録 第五冊)1974』、北京図書館古籍出版編輯組編集の『北京図書館古籍珍本叢刊六(経部)1987』(以下『北京叢刊』とする)を使用する。その中、『至元訳語』に韃靼訳語(火源潔)、盧龍塞略訳語(郭造卿)、登壇必究訳語(王鳴鶴)、武備誌訳語(茅元儀)、武備誌北虜考訳語(与登壇必究訳語同)が集録している。『北京叢刊』には華夷訳語と訳語<sup>2</sup>がある。本稿では各訳語の関係と訳語自体の作成年月、著者、中国語の表現などの研究を避け、モンゴル語と器具名称に注目することにする。

(神奈川大学大学院・歴史民俗資料学研究科・博士後期課程)

## 主要参考文献

- 北京図書館古籍出版編輯組編 1987 《北京図書館古籍珍本叢刊; (経部)》書目文獻出版社  
賈敬顔、朱風 1990 《蒙古訳語 女真訳語汇辑》天津古籍出版社  
賽尙阿 1851 《蒙文倒綱》栗林均編 1972 東北アジア研究センター報告 6 号  
知恥子 1974 《至元訳語(遼金元語文僅存録 第五冊)》台联国风出版社

<sup>2</sup> その他高昌館課、回回館雑字、百訳館訳語、暹羅館訳語、八館館考の収録がある。

## モンゴル諸語統一表記 音節と子音連結

城吉 一徳

モンゴル語の縦書き「文語」はモンゴル諸語の共通語となっている。文語は5母音音素文字で、近代文語の発音は7母音にまとめられている。文語発音について、学者達の膨大な論文があって、互いに必ずしも一致するとは限らないことが多く、文語発音の難しさを物語っている。その理由の一つとしては、文語発音に多くの語学的音韻変化があって、「前舌母音」「弱化母音」「半母音」「口蓋化子音」等が形成し、発音が各方言間も差異が存在しているからである。ここで誕生したのは「半母音で語学変異表記」で、文語音素5母音体制を保持しながら発音の違いを表記できるので、モンゴル諸語発音を統一した音声システムに格納できたのである。

「日本モンゴル文化学会学術会議」第四回の会議で、題目「モンゴル語の音素表記と発音表記」の発表は半母音で語学変異を表記する初稿である。その特徴としては、モンゴル語半母音の下記3つの特質を活用したことである。

- ①モンゴル語には3つの近接音「硬口蓋接近音[j]」「両唇接近音[β]」「両唇軟口蓋接近音[w]」があって、子音特質で、使うとき必ず母音を伴うことである。
- ②モンゴル語の3つの接近音が[i]母音と一体化発音する半母音を【y】【v】【w】で表記する場合、母音特質で、単独音節形成し母音扱いできることである。
- ③モンゴル語前舌母音は必ず口蓋化子音を伴うので、ウムラウト語学変異の表記は半母音y追記で表記する場合、前舌母音と口蓋化子音を同時表記できて、一挙二得の効果が得られるのである。これは半母音も複合母音の特質があるとのことである。

モンゴル語ウムラウト音韻変異表記実例：

IPA	[æ]	[æ:]	[ɛ]	[ɛ:]	[e]	[e:]	[œ]	[œ:]	[y]	[y:]
表記	ay	aiy	ey	eiy	iy	iiy	oy	oiy	uy	uiy
「蒙漢詞典」実例	音素表記	発音表記	訳文							
ᠠᠮᠢ [æm]	ami	aym	命							
ᠠᠶᠢᠮᠠᠭ [æ:moŋg]	aiimag	aiymag	アイマグ							
ᠲᠠᠪᠢ [tæb]	tabi	teyb	五十							
ᠲᠠᠶᠢᠪᠤᠷ [tæ:bu:]	taiiboo	teiybun	穏やか							
ᠨᠢᠯᠬᠠ [nɪlx]	nilha	niylh	幼い							
ᠨᠠᠶᠢᠮᠠᠨ [næ:moŋn]	naiiman	niiyman	第八							
ᠣᠷᠭᠢᠯ [œrgil]	orgil	oyrgil	頂上							
ᠣᠶᠢᠷᠠᠳ [œ:rd]	oiirad	oiyrad	オイラト							
ᠨᠠᠳ [nud]	nidu	nuyd	目							
ᠬᠠᠶᠢᠲᠡᠨ [xuiteŋ]	huiten	huiyten	寒い							

上記を踏まえ考案されたのは「モンゴル諸語統一表記システム」である。このシステムグラフでモンゴル語諸語の発音表記に挑むことになるので、課題が山積みで、一点一点研究解決し、この音標システムを修正充実しなければならないのである。この仕事を「モンゴル諸語統一表記」と命名し実施することにする。今回の発表はモンゴル語の発音音節と音節末母音脱落による発生した子音連結である。

本研究の目的はモンゴル語の発音表記を精緻化し、モンゴル語で音声制御プログラムの作成と AI ロボットの音声制御である。

(株式会社ミツバ 定年退職)



## 見世物にみるプロパガンダについて考察

—内モンゴル自治区のウラーンムチル歌舞団を事例に—

T.アルタンバガナ

本発表では内モンゴル自治区におけるウラーンムチル芸術歌舞団を事例に見世物にみるプロパガンダについて考察する試みである。そのため、まず見世物とは何かを説明し、その後、ウラーンムチルを説明し、続いて、ウラーンムチル隊員のインタビューや公演を分析する。こうした分析から最後にウラーンムチルという見世物にみるプロパガンダ芸術はいかなるものであるかについて考察する。

見世物とは、鑑賞者（観客）にとっては遊戯や娯楽のような余暇を潰す人間行為である。見世物について、ヴィクター・ターナー（1983）などの研究が注目される。ターナーは祭礼や祭りを見世物とし、遊戯的再構成<sup>3</sup>の性質があると指摘した（ターナー1983：12）。また栗本は、「結局人々が見世物に求めるものは、俗世界の硬直した共同幻想のくびきからの解放なのだ」と分析する（栗本1983：48）。ブルース・カッフェラー（1983）は、シンハラが悪魔祓い術を見世物とし、この見世物には、演劇的な局面、身振り劇や話劇の部分が含まれていると述べる（カッフェラー1983：54）。

歌舞団は中国の各地域にあるもので、内モンゴルでは、有名な歌舞団として内モンゴル民族芸術劇院がある。この民族芸術劇院の下にはウラーンムチル歌舞団や、モンゴル劇団や、京劇団などモンゴル人や漢人の9つの歌舞団がある。本発表では、ウラーンムチル歌舞団を事例にする。ウラーンムチルとは、モンゴル語で赤色（紅色）の文化工作（支援、宣伝）隊という意味である。ウラーンムチルは漢語で「烏蘭牧騎 wulanmuqi」という当て字が使われているが、これに関してシンジルトは「『烏蘭』は『オラーン』の単なる音訳であるのに対して、『牧騎』は『ムチル』の音を表すと同時に、『牧畜民』と『騎馬』の意味も含む。また現に『社会主義文芸軽騎兵』と音訳もされていることを考えれば、馬に乗って社会主義を实践する牧畜民というのが、『烏蘭牧騎』の字義になろう」（シンジルト2010：185）。

ウラーンムチルのプログラムは、オペラ、舞劇、喜劇、話劇、漫才、舞踊、歌など様々なジャンルの演劇的な要素から構成されている。つまり、ウラーンムチルは、見世物として人目を引く点や人を集める要素が含まれる。人目を引く点では、好奇心が注目される。人を集める要素として娯楽性が指摘される。

<sup>3</sup> 遊戯的再構成とは文化を諸要素に分解・分析した後、それらを自由に、遊戯的に、あらゆる可能な型に再び組み合わせることである（ターナー 1983 12）。

本発表では、ウラーンムチル隊員のインタビューから得た演目における言語プロパガンダや公演における舞台プロパガンダ芸術を中心に、見世物にみるプロパガンダ芸術を考察する。

(千葉大学大学院・人文公共学府・博士後期課程)

調査報告・研究論文・ノート・書評







مسنر مملکتیہ تعلیم نیشنل بورڈ کے ذریعہ فراہم کیا گیا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس امتحان میں ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔

اس کے علاوہ ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔

اس کے علاوہ ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔

اس کے علاوہ ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔ اس کے تحت ہر سال ہر شاخہ میں ایک بار امتحان لیا جاتا ہے۔

פורסמה בראשון השבוע האחרון, 15 בנובמבר 2014. אין זה מקרה שהמאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.

המאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.

המאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.

המאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.

המאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.

המאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.

המאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.

המאמר שנתפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום, הוא זהה לזה שפרסם באתר "המכון למחקרים רפואיים" ב-2014, כשהוא מוגש לפרסום.







میں پائیدار تعلیمی اداروں کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کو اپنی تعلیمی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔ تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کے لیے تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔

**تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے**

تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔ تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔

تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔ تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔

**تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے**

تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔ تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے اور تعلیمی اداروں کی صلاحیتوں کو بروئے کار لانے کی ضرورت ہے۔



אמר... בראש פרשת כי תבא... ואלו הדברים יתקיימו... (פרשת כי תבא, פסוקים 1-2)

...האלהים יתן לכם את לבבכם... (פרשת כי תבא, פסוק 3)

...ואל תחזקו את לבבכם... (פרשת כי תבא, פסוק 4)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוק 5)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוק 6)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוק 7)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוק 8)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוק 9)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוק 10)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 11-12)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 13-14)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 15-16)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 17-18)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 19-20)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 21-22)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 23-24)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 25-26)

...ואת הארץ לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 27-28)

...ואת הים לא תחזקו... (פרשת כי תבא, פסוקים 29-30)

לד 2012 עבודותיה

- 6. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2011 , עבודותיה , אינטרנט לד הרמה העיונית
- 5. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2007 , עבודותיה
- 4. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 1959 , עבודותיה , « עבודה פסיכולוגית » , 2007 , עבודותיה
- 3. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2011 , עבודותיה , רותם העיונית » , רותם העיונית לד הרמה העיונית , 2012 , עבודותיה , עבודותיה
- 1. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2003 , עבודותיה , רותם העיונית » , רותם העיונית לד הרמה העיונית , 2018 , עבודותיה

- 18. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2006 , עבודותיה , אינטרנט לד הרמה העיונית
- 17. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 1966 , עבודותיה
- 16. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 1982 , עבודותיה
- 15. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2005 , עבודותיה , אינטרנט לד הרמה העיונית
- 14. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2001 , עבודותיה , אינטרנט לד הרמה העיונית
- 13. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 1961 , עבודותיה , אינטרנט לד הרמה העיונית
- 12. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2003 , עבודותיה , אינטרנט לד הרמה העיונית
- 11. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2018 , עבודותיה
- 10. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 1996 , עבודותיה , אינטרנט לד הרמה העיונית
- 9. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2007/2011 , עבודותיה
- 8. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2007/2011 , עבודותיה
- 7. ס. ט. ה. רותם , « עבודה פסיכולוגית » , 2007/2011 , עבודותיה

2007.س  
مؤلف: « السيرة النبوية » ، 5 ، 19



















فاشنډې ځان، پکښه یې په شتېږي کې د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا  
 په یوه غونډه کې چې په ۱۹۸۰ کې د کابل په ښار کې وشوه، د شاعر له خوا د خپلې  
 شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه.

د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې  
 شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه.

د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې  
 شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه.

د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې  
 شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه.

د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې  
 شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه.

د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې  
 شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه.

د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې  
 شخصیت په دې بڼه څرګند کړه. د شاعر له خوا د خپلې شخصیت په دې بڼه څرګند کړه.





تسزیر و مملو موو مس ، رهنگس رهش رهتفم ورا بولس ، مملو  
 مکنش سپهکل ، مزلرلمه در ویرکل بهش مومس ، برنرس  
 موود قورم رستم برنر سکنش برهمبر و مومس زور  
 تمکل مس رهلم ندر رهکل مملو ونر " مس و ژن زور  
 تسزیر قورقو نلسر ، بولکره برنر ونکل مس نکشکو  
 ونور " قور رهتفم ککش بهف ، پللم برهمبره مس قورکر ،  
 ژن زور مش رهش و قورقور هریر ونر " مملو کچر رهکل زور  
 کرکل برمس زورقو قورکر ندر زور مملو ونر ونر " مس  
 ورا برکل و و مومس ورا تسزیر مملو وکل و مکر  
 مکرلم برکل مکل ونر ونر "

مملر برسنمکل مکرملقون  
 مملو ، مملمکل برنمکل مکرملقون م مکنشهرت وک لوول قو بهر  
 ( نر ) ، ممل نر قو بیلرر بر نرفشق لدر رهبر وک ژنر مکر و  
 نر زور هرهم نر لریکل مس لریکل مزل بهر مکرل ولسو لدرلر :

- ممل نر قو — هرهم نر قو
  - مکنشک برهمک — مکنشک ، برهمک ، مکنشک برهمک
  - رهتسزلم — رهتسزلم
  - بهریر — بهریر
  - قسکل — قسکل
  - هلرلر — هلرلر
  - بکلر — بکلر
- : ( مکل ) ، بهر نر زور مکنس کرکون ورا بیلرر لدرلر :

بهریر برفشکله هر زور زکس در مکرل قو رهلم ، بک رهش  
 مملو مکل زور ژنر مملو " بولر ولسو قو برنمکل م  
 نرفشکله رهش زورقو مملو ونر "

مکل قو رهلم ، رهلمس مملو مس برنر برکل و  
 رهش در مکنشک ، نلدر و مملو ونر و برنر  
 برهمو ونور " مس و پللم زور بهف ، کچر زور  
 مملو مکرلم مشم کچر و مملو برنر مملو و مملو  
 ونر زور مکرلم ژنرلر نکشکو ونور " مس ورا برنمکل  
 مکرلم زور زور مکرلم مکرلم مکل مملو  
 مشم زورکله کچر ندر قورکر " مس برنر مملو برنر  
 مکرلم برهمو ، رهکر مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم  
 زور مکرلم ، مملو مملو مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم ،  
 مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم  
 ونر ورا مومس کچر زور مکرلم مکرلم مکرلم  
 نکشکر مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم  
 برنر مکرلم مس ، مملو مملو مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم "   
 رهش هر برنر مکرلم زور مکرلم مکرلم مکرلم ، مس و  
 مملو مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم  
 نکشکر " رهش هر برنر مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم  
 مومس ، مکرلم ، پللم برهمبر برهم برهم ورا بهف  
 مکرلم مکرلم مس برنر مکرلم مکرلم مکرلم مکرلم " قورکر

לפי דברי הרמב"ם נראה שיש להבחין בין שני סוגי פיקוח נפש. הראשון הוא פיקוח נפש של אדם על אדם, והשני הוא פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש. הראשון הוא פיקוח נפש של אדם על אדם, והשני הוא פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש. הראשון הוא פיקוח נפש של אדם על אדם, והשני הוא פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש. הראשון הוא פיקוח נפש של אדם על אדם, והשני הוא פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש.

פיקוח נפש של אדם על אדם — 144 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 144 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 8 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על חיה או על רכוש — 10 (רמב"ם).

פיקוח נפש של אדם על אדם — 10 (רמב"ם).



## エヴェンキ族の伝統スポーツ文化に関する考察

### Эвэнх үндэстний уламжлалт спортын , түүний гарал үүслийн тухай

Xi Hanggai<sup>1</sup>,

**Хураангуй:** Хээрийн судалгааны аргаар Эвэнх үндэстний спортын , түүний гарал үүслийг тандан судаллаа. Эртний ан агнуурын аж ахуй бүхий аж амьдрал, ан гөрөөлөх ур чадвар нь Эвэнх үндэстний спортын ын ул хөрс билээ. Гадны халдлага, дотоод дайн үймээнээс болж Эвэнхчүүд олон удаа нүүдэллэж байснаас шалтгаалан тэдний үйлдвэрлэлийн арга хэлбэр нь нүүдэлчин болон хөдөө аж ахуйн хэлбэрт шилжин, үндэстэн хоорондын ын солилцоо, харилцааг бэхжүүлэн, спорт, ын томоохон өөрчлөлтүүд бий болжээ. Бөөгийн шүтлэгт Эвэнхчүүд мөргөлийн үед амьтны хөдөлгөөнийг дуурайн бүжих бөгөөд энэ нь үндэстний спортын бүжиг үүсэхэд нөлөөлсөн байдаг. Газар нутгийн онцлог, үндэстний өвөрмөц ардын баяр наадмуудаар дамжуулан тэд спортын өвлөн авч үргэжлүүлэн хөгжүүлсээр байна. Эвэнх үндэстний уламжлалт спортын төрлийн талаар судалгаа хийн, үр дүнг нэгтгэн, түүнийг хамгаалан авч үлдэх, үндэстний спортын ын өв уламжлал шинэчлэлийг дэмжих нь зүйтэй.

**Түлхүүр үг:** Эвэнх, уламжлалт спорт, спортын

“Эвэнх” гэдэг нь Эвенк хэлний үйл үгийн язгуур болох “Эво” ба үүнээс үүссэн нэр үг “Энкө”, нийлээд “Эвоэнкө”. Утга нь “Түн ойгоос бууж ирсэн хүн”. Эвэнх үндэстэн нь голдуу БНХАУ, ОХУ болон МУ-д тархан суурьшдаг. БНХАУ-ын Эвэнх үндэстэнг “Солон”, “Тунгус” ба “Якут” Эвэнх гэж нэрлэдэг (мөн Буга Эвэнх хүмүүс гэж нэрлэдэг байсан Deer Ewenk) байжээ. 1957 онд албан ёсоор “Эвэнх” хэмээн нэрлэжээ. Бүх Хятадын 6 дах удаагийн хүн амын тооллогын статистик мэдээгээр Эвэнх үндэстэн нийт 30,875 хүн голдуу ӨМӨЗО болон Хэйлунжянь мужаар тархан суурьшдаг гэжээ.

Эвэнх нь өөрийн хэлтэй боловч бичиг үсэггүй үндэстэн юм. Гэхдээ "Сугийн судар", "Шинэ Тангийн судар" зэрэг түүхэн материалуудад Эвэнхтэй холбоотой тэмдэглэл бичигдсэн байх бөгөөд Бэй Вэй улсын үед "Ши Вэй", Тан улсын үед "Жю" овог аймаг, Юань улсын үед "Ойн иргэд", Мин улсын үед "Буган дээр суусан" "хойд уулын зэрлэг хүмүүс" хэмээн нэрлэжээ. Мин улсын сүүлч буюу Чин гүрний эхэн үед Байгаль нуурын баруун хойд хэсэгт, Хэйлунжянь мужийн дээд, дунд сав газарт

<sup>1</sup> Project Fund: Funded by the Scientific Research Fund of Inner Mongolia University for Nationalities (NMDYB19028) ; Sports culture research base project of sports culture development center of General Administration of sports of the people's Republic of China(2020TYZJJY06)

амьдардаг Эвэнхчүүдийг 3 хэсэг болгон хуваажээ. Эхний хэсгийг Шилка голоос Зея гол хүртэл суурьших Солон овог аймаг, удирдагч нь Vomubogог гэх бөгөөд энэ нь “Солон” Эвэнхчүүдийн өвөг дээдэс. Хоёр дахь хэсэг нь Байгаль нуураас зүүн тийш Чита голын бүсэд мориор уналга хийсэн Морьт Эвэнхчүүд "Намыр" овог буюу "Намэйт" гэж нэрлэдэг, удирдагч нь Gentemueг байх бөгөөд нийт 15 овгоос бүрдэнэ. Тэдгээр нь "Тунгус" Эвэнхчүүдийн өвөг дээдэс юм. Гурав дах хэсэг нь Байгаль нуураас баруун тийш Лена голд цутгадаг Вэй Лү гол болон Витим голын бүсэд тархан суурьших Еэлэй, Шарткү удирдагчтай 12 том овог байдаг бөгөөд энэ нь “Якут” Эвэнхчүүдийн өвөг дээдэс юм гэжээ.

Эвэнх үндэстний гарал үүслийн тухай дөрвөн онол байдаг:

Нэг. "Эвэнх үндэстний товч түүхийн товхимол"-ийн төлөөлөгчид “Бэй ши вэй болон Жү овгоос үүсэлтэй” гэж үздэг.

Хоёр. Вү Юн Да Бэн болон түүний төлөөлөгчид “Ань Жү Гү овгоос гаралтай” гэж үздэг.

Гурав. Оросын Тунгус судлаач эрдэмтэн Х.Сомогоровын болон түүний төлөөлөгч Сергей Михайлович (Хятад нэр нь Shi Lu Guo /Ши Лугоу/) нь тэд “Шар мөрний эхээс гаралтай” гэж үздэг. Дөрөв. Солонгос үндэстэн судлаач эрдэмтэн Жен Дунри “Су Шен гарал үүсэл”-тэй гэж тус тус үздэг байна.

Түүхийн судар бичигт Эвэнхчүүдийн өвөг дээдэс Хармөрөний хөндий болон Их Хянганы уулсын өргөн уудам ойд ан гөрөө хийж, загас агнуур эрхлэн амьдардаг байв хэмээн тэмдэглэн үлдээжээ.

## **1. Эвэнх үндэстний спортын ын түүх**

Эвэнхчүүд тун олон удаа нүүдэл сэлгэн амьдарч байсан түүхтэй бөгөөд ойгоос тал нутагт шилжин сууршиж, өвс ургамал түүх, загас агнуур, нүүдлийн аж ахуй болон хөдөө аж ахуйн үйлдвэрлэл эрхэлдэг байв. Үндэстний газар нутгийн өвөрмөц онцлог бүхий ыг бүрдүүлсэн түүхтэй ард түмэн юм. Гэсэн хэдий ч нийгмийн хөгжил, шинжлэх ухаан технологийн дэвшлийн даган тэдний эртний орчин үеийн иргэншилд шилжин, түүхийн тавцанаас аажмаар ухарч байна. Тэдний материаллаг нь Эвэнхчүүдийн ахуй амьдралаас хэдийн тасарч, зарим хэсэг нь устаж үгүй болсон байхад зарим хэсэг нь музейд тавигдсан байдаг. Оюуны ын тухайд олон үндэстэнд нэгдэн уусаж аажмаар мартагджээ. Харин спортын төрөл нь тэдний д оршоор байгаа боловч энэ нь Эвэнхчүүдийн түүхэнд тэмдэглэгдэн ул мөрөө үлдээжээ.

### **Нэг. Ан агнуурын аж амьдрал ба Эвэнх үндэстний спортын үүсэл хөгжил**

Эвэнхчүүдийн өвөг дээдэс 2000 жилийн өмнө Өвөр Байгалийн хязгаар болон Байгаль нуурын эрэг дагуу амьдарч байсан агаад тэдгээрийн нэг хэсэг нь Хармөрөний сав газарт ирж суурьшсан нь Хятадын Эвэнхчүүдийн өвөг дээдэс юм. Эвэнх үндэстэн нь голын дагуух ой мод, намгархаг газар ан

гөрөө хийхээс гадна өвч ургамал түүн, загас агнуурын аж ахуй эрхэлдэг байжээ. 2003 он хүртэл Засгийн газар “Якут” Эвэнх үндэстний экологийн шилжилт хөдөлгөөний ажлын хэрэгжүүлж тэдний ан агнуурын бууг хураан авснаар ан гөрөө хийхээ больсон юм. Эвэнхчүүдийн эртний ан агнуурын хэрэгсэл нь буу, нум сум, хус модон завь, цана, хуяг, хавчаар, тор, цаа буга, нохой, шонхор зэрэг байжээ. Ан агнуурын арга техник нь олон янз. Буу нь ойрын зайнаас араатан амьтныг шархдуулах, нум сум нь харваж намнах зориулалттай. Хус модон завь нь гөрөөлөх, загас барихад ашигладаг хэрэгсэл юм. Цаа бугыг голдуу анчдын унлага, олзоо татах, зөөхөд ашигладаг. Нохой, шонхор нь нум сумны эрин үед анчдын гол туслах байсан. Завийг цөөрмийн ирмэг дээр нууж шөнө дунд гөрөөс уулнаас буун цөөрөм дундах хуурай өвсөнд идээшлэх үедь завийг чимээгүйхэн гөрөөсний урд сэлүүрдэн аваачиж ангийн буугаар гөрөөсний доод хавирганы хооронд бөөрөн тус газар хатгамагцаа буугаа сугалдаг бөгөөд гөрөөс шархнаасаа болж усанд унаж эрсддэг байжээ. Өвлийн улирал нь их хүйтэн, цас ихэвчлэн 1метрээс дээш унах байдаг бөгөөд тэдний өвөг дээдэс өвлийн улиралд ан хийхэд зориулан цаныг бүтээжээ. Анчид цанаа хөлөглөн их цастай уулын дундуур хараацай мэт дүүлэн нисэж, зэрлэг амьтдыг үргээн гаргахын тулд өдөрт 160ли газар гулдадаг байв.

Эвэнх үндэстэн нь бичиг үсэггүй бөгөөд хойч үеэдээ өөрсдийн ахуй амьдралын ур ухаанаа өвлүүлэхдээ эртний боловсролын арга хэлбэрт тулгуурладаг. Бага насны хүүхдүүд 5-6 нас хүрээд томчуудыг дуурайн ан гөрөө хийн тоглох бөгөөд ба баавгай, буга, гөрөөс агнах зэргийг суралцаж эхэлнэ. Жаахан том болмогц ан агнуурын болон баяр наадмын хэрэгцээг хангахын тулд томчууд хүүхдэд тусгайлан нум сум хийж өгөн буудлагын дадлага хийлгэж, өндөр үсрэх, хол харайх, тулгууртай харайх, цанаар гулгах зэрэг арга техникүүдийг зааж сургадаг байна. Зарим үед гэр бүлийн тэмцээн уралдаан зохион явуулдаг бөгөөд тэмцээнээр дамжуулж суралцах, тэдний бие бялдрыг хөгжүүлэх, зоригтой, эрч хүчтэй сэтгэл зүйг төлөвшүүлдэг. 12 наснаас эхлэн томчуудыг даган ан гөрөө хийх дадлага хийж эхэлдэг. Эхлээд хүнд гэмтэл учруулж чадахгүй зурам зэрэг жижиг амьтдыг агнаж сурсны дараа баавгай, буга, гөрөөс гэх мэт том амьтдыг агнаж өөрийгөө жинхэнэ анчин болоход бэлддэг. Эвэнхчүүдийн амьдарч буй байгаль орчин болон ан гөрөө хийх ахуй амьдралын дадал зуршлаас эртний спортын чиг хандлага бий болжээ. Нум сум харвах, цанаар гулгах, завиар явах, буудах, ан хийх тэмцээн уралдаан, бүжиг зэргээс спортын төрөл үүсэн бүрэлдсэн юм.

### **Хоёр. Дайн болон их нүүдэл нь Эвэнх үндэстний спортын д үзүүлсэн нөлөө**

Эртнээс эдүгээг хүртэл Эвэнхчүүдийн нүүдэл нь дайнтай үймээнтэй салшгүй холбогддог. Манай улсын үндэстэн судлаач Лү Гуан Тиэн Эвэнхчүүдийн эртний өвөг дээдэс Сибирьт биш харин Хятадын хойд хэсэг Шар мөрний доод хэсэгт амьдардаг байсан гэж үздэг. Хүрэл зэвсгийн үе (Chalcolithic)-д эртний Эвэнх анчид Хан үндэстний дарангуйллыг амсаж, Mammuthus зэрэг араатан амьтдыг даган Монголын тал нутгаар дамжин Байгаль нуур, Сибирийн бүс нутагт хүрч ирсэн нь Эвэнхчүүдийн анхны томоохон нүүдэл байв. Домогт өгүүлснээр, МЭӨ 2000 онд бүлэг

Оросууд Байгаль нуурын эрэгт нүүн ирсэн Эвэнхчүүдийг дарамтлан заналхийлж, нүүхийг шаардсанаар тэдний удирдагч хүмүүсээ аван наран мандах нутаг руу явсан гэх бөгөөд тэдгээрийн зарим хэсэг нь Хэйлунжяны дээд, дунд сав болон Становын нурууны ойд ирж загасчлан, ан агнуур хийн амьдарч ирсэн нь Хятадын Эвэнх үндэстний өвөг дээдэс болсон юм. Мин улсын сүүл үе, Чин улсын эхэн үед Эвэнхчүүд хожмын Алтан улс, Чин улс болон Оросын цэргийн эсрэг тэмцсэн байдаг. Манжийн овог аймаг зүүн хойд зүгт сэргэн мандсаны дараа Эвэнх болон бусад үндэстнийг байлдан дагуулснаар тэдний ар талыг хамгаалж Мин улс руу довтолж байв.

1616 онд Эвэнх үндэстний нэг хэсэг хожмын Алтан улстай харилцаа тогтоосноор 1637 онд Солонь удирдагч Бомубогор (Bomubogor) Чин улсад дагаар орсон байдаг. 1638 онд Бомубогор (Bomubogor) Чин улсын засгийн газрын бодлогод тааламжгүй байсны учир бослого дэгдээн 1639 онд Алдар хаан Якутын /Буга/ Эвэнхийн удирдагч Еэлэй болон түүний 17 дайчдыг байлдан эзлэв. 1639-1644 онуудад Хунтайж зэр зэвсгийн хүчээр Эвэнх, Дагуур, Орчин зэрэг Солон овог аймгийг хүчээр эзлэн Хармөрөнд нэгтгэснээр Эвэнх болон бусад үндэстнүүдийн хооронд эдийн засаг, ын солилцоог бэхжүүлжээ. 1651 онд Оросын Хабаровын зэвсэгт түрэмгийлэгчид Хар мөрөн голын дээд хэсэгт орших Шилка гол болон Эргэн голын уулзвар руу дайрч, хаа сайгүй шатааж, дээрэм тонуул хийснээр Эвэнхчүүдийг хоцрогдмол нум сумаараа хурц галт зэвсэгтэй түрэмгийлэгчдийн эсрэг дайтахад хүргэсэн юм. 1658 онд Орос улс Байгаль нуурын Нерчинскийн нутаг руу довтолсон бөгөөд Тунгусын Эвэнхчүүд Gentemuеr-өөр удирдуулан Өвөр Монголын Гене, Хайлар орчмын газарт иржээ. 1666-1667 онуудад Нерчинск нутаг руу буцаж нүүсэн байдаг. Энх-Амгалан хаан төр барьсны 28 дугаар он (1689 он) –д “Хятад Оросын Нерчинск”-ийн гэрээнд гарын үсэг зурах хүртэлх хэдэн арван жилийн туршид Эвэнх овог бүхэлдээ таран бутарч их нүүдэл хийсэн дайны түүхэн цаг үе байлаа. Чин улсын төр Оросын үр тарианы эх үүсвэрийг бүрэн таслахын тулд "Солон" Эвэнхчүүдийг Хар мөрөнд цутгал Зезя гол, Становын нуруунаас Их хянганы нуруу, Ноон мөрний сав газар хүртэл 2 удаа том хэмжээний нүүдэл хийлгүүлсэн байдаг.

Тэнгэр тэтгэгч хаан төр барьсны 10 дугаар он (1732) –д Чин улсын төр "Солон" Эвэнхийн бүлэг хүмүүсийг сонгож Хөлөнбуйр аймаг руу хилийн хамгаалалтанд явуулав. Солон Эвэнхчүүд одоогийн Эвэнх өөртөө засах хошуунд мал аж ахуйн голлон эрхэлдэг бөгөөд Арын хошуу, Жалан айл хот, Морин даваа Дагуур өөртөө засах хошуунд хөдөө аж ахуй эрхэлж амьдардаг.

"Тунгус" Эвэнхчүүд 1918-1922 онд Эргэн голын баруун хойд зүгт Оросын Ерумэн, Үжин, Үлүлу, Бүрүж зэрэг газраас Хөлөнбуйрын тал нутагт нүүн ирсэн нь одоогийн Хуучин бараг хошууны Эвэнх сум болон Эвэнх өөртөө засах хошууны Xinihedong суманд голчлон мал аж ахуй эрхэлж амьдарч байна.

“Якут” Эвэнхчүүд 1820 онд Хар мөрөн муж дах Мохе голын ойролцоо нүүдэллэн ан хийж амьдарч байсан бөгөөд 1858 онд Эргэн голын Чиган нутагт нүүдэллэн ирж ан хийж байжээ. 1957 онд Чиган Эвэнх үндэстний хот суурин байгуулж 1965 онд мөн Аолу Гуяа (Эвэнх хэлээр "улиангар



цэцэглэх газар" гэсэн утгатай) голын эрэг рүү нүүж Аолу Гуяа-ийн үндэстний суурин газрыг байгуулсны дараа 2003 онд дахиад Генхэ хотын шинэ суурь "Шинэ Аолу гуяа хот"-д нүүн шилжсэн. Голчлон ан агнуур, цаа бугын үржүүлгийн аж ахуй эрхэлдэг.

Эвэнх ард түмний дайн тулаан болон нүүдэллэн суурьшсан түүхэн тоймыг дээр өгүүлсэн бөгөөд түүхэн дайн нь Эвэнхийн цэргийн спортыг хөгжүүлэх түлхэц болохын зэрэгцээ тэдний аж амьдралын хэв маягийг өөрчилөн бусад үндэстний эдийн засаг, той нэгдэн уусахад нилтээн түлхэц болсон байдаг. Эвэнх үндэстний спортын нь анхлан загас агнуурын аж ахуйнаас голлож нүүдлийн аж ахуй, хөдөө аж ахуйтай хослуусанан онцлог хэв маягтай хөгжжээ. Оросын эрдэмтэн Ши Лууго нэгэн удаа "Эвэнх хүмүүст морь байхгүй, морийг Монголын ард түмнээс хулгайлсан" гэж ярьжээ. Орос дахь Эвэнхчүүд явган ан хийдэг. Гэхдээ тэдний "хулгайлсан" морь гээч нь Эвэнхчүүдийн чадварлаг морьт харваачдийг бий болгосон бөгөөд морины уралдаан, морьтой үзүүлэн тоглолт хийх зэрэг спортын төрлүүдийг үүсчээ. Монгол, Дагуур, Орос үндэстэн холилдсон нүүдлийн ахуй амьдралын явцад том дугуйт тэрэг, сүйх тэрэг хийж сурсан нь Эвэнхийн "Морин тэрэг", "Зүү булаах", "Хоккей буюу мөсөн спорт" гэх мэт спортын төрлүүд үүсэхэд ихээхэн нөлөөлжээ. Ой модноос Ноон мөрний сав газар руу нүүж, тэндээсээ үржил шимтэй үзэсгэлэнт Хөлөнбуйрын тал нутагт хүрснээр Эвэнх спортын д ихээхэн өөрчлөлтийг авчирсан байдаг.

### **Гурав. Шашин шүтлэг ба Эвэнх үндэстний бүжгийн спортын хөгжил**

Эвэнхчүүд бөөгийн шүтлэгтэй. Бөөгийн шүтлэг бол овог аймгууд байгалийг тахин шүтэх эртний шүтлэг бөгөөд овгийн нийгэмд үүсч хөгжсөн эртний нийгмийн хожуу үе хүртэл бөө шүтлэгийн үзэл баримтлал улам боловсронгуй болж, тэдгээрийн тахилга зан үйл нь төгс төгөлдөр болсон байдаг. Бөө шүтлэгийн үр нөлөө гол төлөв бөөгийн үүрэг хариуцлагаас хамаардаг бөгөөд түүний үүрэг хариуцлага нь өвчин зовлон уй гашууг арилгах, ан агнуурын аж ахуйг удирдан чиглүүлэх, залбирах, тахилгын зан үйлийг удирдах, үндэстний түүх, ыг өвлүүлэх, гэрлэлт, оршуулга, төрөлт, иргэний маргааныг шийдвэрлэх зэрэг юм. Мөргөл болон түүний зан үйлийн агуулга нь шашин ын чухал бэлэг тэмдэг. Эвэнх үндэстний бөөгийн шашны мөргөлийн зан үйл агуулга хувьд, байгаль, ан амьтан, сүлд тахилга, өвөг дээдэсээ хүндэтгэн шүтэх гэсэн түүхэн хувьслын 5 логик үйл явцыг туулжээ. Эвэнх үндэстний бүжгийн спорт нь ан амьтан болон сүлд тахилгын үед амьтны хөдөлгөөнийг дуурайж бүждэгээс үүсжээ.

"Ан агнуурын аж ахуй нь Эвэнхчүүдийн амьжиргааны чухал хэрэгсэл. Ан агнуурын аж ахуйг урт хугацааны туршид эрхлэснээс тэдний амьдрал амьтадтай улам бүр харилцан хамааралтай болохын зэрэгцээ сүрдсэн эмээжээ. Зарим амьтдын харгис догшин зан авирыг ойлгох аргагүй бөгөөд ан агнуурын дараа амьтны уур хилэнгийн төлөөсийг төлөө хүндэтгэлтэйгээр тахиж шүтдэг байжээ. Энэхүү байгаль эхийн харилцан хамаарал, амьтадаас айх айдас, тахил мөргөлийн зан үйлд амьтдын янз бүрийн хөдөлгөөнийг дуурайн хийж үүгээрээ бүх бодол сэтгэлээ илэрхийлдэг. Эвэнх үндэстний

бүжгийн спортод бөөгийн бүжиг, баавгайн бүжиг, зэрлэг гахайн бүжиг, бөхийн бүжиг, барын бүжиг, хунгийн бүжиг зэрэг багтдаг.

**Дөрөв. Ардын уламжлалт баяр наадам бол Эвэнх үндэстний спортын ыг дэлгэрүүлэх, өв уламжлалын тээгч юм.**

Эвэнх үндэстний уламжлалт спортын наадамд “Овоо тахих” (Овооны наадам), "Sebin наадам", "Aominaren буюу Оми Нарен", "Милулу" наадам болон өвлийн наадам багтана. Эдгээр үндэстний уламжлалт баяр наадам нь Эвэнх ард түмний ахуй амьдрал, шилжилт хөдөлгөөн, шашин шүтлэгтэй нягт холбоотой бөгөөд Эвэнх үндэстний түүхэн хувьсалыг харуулдаг. Эвэнх үндэстний спортын төрөл нь эдгээр уламжлалт баяр наадмуудаар дамжуулан өнөөг хүртэл уламжлагдан ирсэн төдийгүй эдгээр баяр наадам үгүйсэн бол маш олон спортын төрөл хэдийн устаж үгүй болох буйзаа. Үндэстний уламжлалт баяр бол Эвэнх үндэстний спортын ыг дэлгэрүүлэх, өв уламжлалын тээгч юм. Овоо тахих наадам жил бүрийн хуанлийн 5-р сарын 13-ний өдөр аль эсвэл 5 дугаар сарын өлзийт өдрийг сонгон тэмдэглэдэг Эвэнхчүүдийн шашны баяр юм. Эвэнхийн овоо тахилгын гарал үүслийн талаар дөрвөн өөр үзэл баримтлал бий. Нэгдүгээрт, Уулын бурхан (уулын бурхан Бай На Ча)-ны тахилгаас үүсэлтэй. Хоёрдугаарт, дээд тэнгэр (бөөгийн булш) болон өвөг дээдсийн онго шүтээний тахилгаас үүсэлтэй.

Гуравдугаарт, сүнс чөтгөрийг номхотгох зан үйлээс үүсэлтэй.

Дөрөвдүгээрт, нутаг заан хил тогтоох зан үйлээс үүсэлтэй хэмээн үздэг.

Ихэнх судлаачид Эвэнхчүүдийн овоо тахилгын наадам нь уулын бурхны танхилга, өвөг дээдсийн онгод шүтээнийг тахилгын зан үйлээс үүсэлтэй гэж үздэг. Бөө мөргөлийн гол санаа нь байгаль эхээ тахин шүтэх, сүлд шүтээн, өвөг дээдсийн онгод шүтээнд мөргөх гэсэн агуулгаас цогцлон бүрддэг. Бөөгийн шашин нь монголчуудын овог аймгийн нийгэмд үүсч хөгжсөн. Зарим судлаачид бөөгийн шашин нь дэлхийн бусад шашин үүсэхээс өмнө байсан гэж үздэг. Үүнээс үзэхэд, Эвэнх үндэстний овоо тахих зан үйл нь дор хаяж 1000 жилийн түүхтэй гэдгийг харж болно. Овоо тахихдаа эхлээд бөөгийн зан үйл хийж овоондоо тахилга өргөнө. Дараа нь 15 км орчим зайд морь уралдана. Бөхийн барилдаан, сур харваа зэрэг спортын үйл ажиллагаанууд болдог. Үдэш болоход дуулж бүжиглэнэ. Залуу хосууд овоон дээр болзно. Овоо тахилгын наадам нь олон төрлүүдийг багтаасан учраас “Овооны наадам” хэмээн нэрийдд буйзаа. Эвэнхийн ахмад настанууд: Одоогийн “Наадам” гэдэг нь “Овоо наадам”-аас үүссэн юм хэмээн хуучилан ярьдаг.

“Sebin” наадам нь 2007 онд Хэйлунжян мужийн биет бус ын өвийн эхний жагсаалтад орсон. 2011 онд БНХАУ-ын биет бус ын өвийн 3 дугаар жагсаалтад оруулсан бөгөөд энэ нь Эвэнх үндэстний эртний уламжлалт баяр наадам юм. "Sebin" гэдэг нь аз жаргал, баяр баясгалан, амар амгалангийн утга учир гэсэн утгатай Эвэнх үг юм. "Сэбин" наадам нь эртний баавгай шүтлэг (Баавгайн бурхан "Амен") болон баавгайн тахилаас үүсэлтэй боловч үүний уршгаар баавгайн тоо

толгой буурсан байдаг. Эвэнх анчид суусар, гөрөөс зэрэг амьтдыг агнаж уулын бурхныг тахидаг. Эвэнхчүүд байнгын дайн, их нүүдлийн түүхэн цаг үеүүдэд "Сэбин" наадам орхигдсон боловч Эвэнхчүүдийн хүсэлтээр, 1993 оны 11-р сард Өвөрмонголын Эвэнх үндэстний судалгааны 3-р чуулга уулзалтан үер "Сэбин" баярыг сэргээн тэмдэглэх шийдвэрлэн жил бүрийн 6-р сарын 18-ны өдөр тэмдэглэхээр шийдвэрлэжээ.

Хөдөө нутгийн Эвэнхчүүд "Сэбин" наадмын үеэр уулын бурхан тахидаг байсныг овоо тахидаг болгож өөрчилсөн бөгөөд өдрийн цагаар "Зүү булаалдах", морьт тэргийн уралдаан, мөнгөн аяга булаах, хурдан морьны уралдаан, бөхийн барилдаан, сур харваа, мод татах зэрэг тэмцээн өрнөдөг. Оройн цагаар галын наадам, баавгайн бүжиг, зэрлэг гахайн бүжиг, бөхийн бүжиг, барын бүжиг, хунгийн бүжгийн зэрэг урлагын үйл ажиллагаа болдог. 2001 онд Эвэнх өөртөө засах хошууны Сэбин наадмын үеэр газрын теннисний тэмцээнийг нэмж оруулсан бөгөөд 2004 онд Сэбин наадмын үеэр 200 гаруй морьтон 20 км-ийн зайд морь уралдаж Гиннесийн амжилтыг тогтоожээ.

"Оми Нарэн" гэдэг нь амьтны цусаар тахил өргөх гэсэн утгатай. Энэ нь бөөгийн шашны зан үйлийн ёслол юм. Эвэнхчүүдийн Оми Нарэн ёслолын зорилго нь :

Нэгдүгээрт, Бөөгийн тэнгэртэй харицах чадвар, нэр сүрийг бадраах.

Хоёрдугаарт, Онгод шүтээнд залбирч гэр бүл, үр хүүхдүүд, ач зээ нарыг нь ивээлдээ багтаан амар амгалан өвчин зовлогүй амьдралыг сүслэн гуйдаг юм. "Оми Нарен" ёслолыг хоёр бөө гүйцэтгэх бөгөөд нэг нь Бен Хара буюу Маохунгийн бөө, нөгөө нь овгийн гаднаас уригдсан бөө байдаг. Эвэнхийн "Нисан бөөгийн" домогт, зөвхөн "цус тунгалаг яс цэвэр (төрөлхийн)" авьяас чадвартай хүн бөө болох эрхтэй хэмээн өгүүлдэг бөгөөд "Идэширэн" ёслол үйлдэж ("Оми Нарен" – тай төстэй боловч цар хүрээний хувьд арай жижиг) албан ёсоор бөө болдог. "Оми Нарен" ёслолыг гурван жилд нэг удаа зохион явуулдаг. Нэг удаагийн үйл ажиллагаа нь 3-10 өдөр өрнөдөг ба заримдаа "Онгод тэнгэртэй харилцах хүч билэг" болон үндэстний эдийн засгийн нөхцөл байдлаас хамаарч өөрчлөгдөх нь бий. Ёслолын өмнө тухайн удам угсааны гишүүд нь урд насны бөөгийн бурханд хундага өргөн идээ будаа тахин хүндэтгэл үзүүлэн залбирдаг. Буцаж ирсний дараа ёслол үйлдэгч бөө "Тоногийн мод (Амлалтын мод) " –нд дуу өргөн хонины цусаар тахил өргөсний бөө цан хэнгэрэгээ цамнан бүжиж сахиус болон Тамин цай тараадаг. Ёслолын үеэр бөхийн барилдаан, морины уралдаан, сур харваа, бөөгийн бүжиг хийх зэрэг спортын үйл ажиллагаа болдог. Өнөө үед бөөгийн тоо харьцангуй цөөрсөн бөгөөд "Оми Нарен" ихэвчлэн хүмүүсийн фитнес, зугаа цэнгэлийн хэрэгцээг хангахын тулд тоглолт хэлбэрээр өрнөдөг болжээ.

"Милулу" баяр, Тунгус Эвэнхийн Милулу болон Солон Эвэнхийн Имүна бол нэгэн ижил баяр юм. Тэд тал нутагт нүүдэллэн очсоны дараа мал сүрэг нь тарган тавтай ургац арвин байхыг бэлгэдэг энэхүү баярыг тэмдэглэдэг байв. Ихэвчлэн 5 дугаар сард болдог ба эхлээд хургаа имлэж эр хонины ноосыг хайчлан дараа нь залуучууд өөрсдийн морь унах ур чадварыг гайхуулан морь уургалж, адууны дэлийг хайчлах янзлах, тамгалах гэх мэт үзүүлбэрийг үзүүлдэг. Чинээлэг гэр бүлүүд морь

уралдах, бөх барилдах тэмцээнийг зохион байгуулдаг ба шагнал нь үхэр, хонь хүртээдэг байна.

“Наадам” гэдэг нь Монгол хэлээр тоглох, наадах, өрсөлдөх гэсэн утгатай. Эвэнхчүүдийн өвлийн наадам жил бүрийн 12 дугаар сард ӨМӨЗО-ны Хөлөнбуйр хотын Эвэнх өөртөө засах хошууны Баянхошуу овоо (Эвэнхийн хамгийн том албан ёсны овоо) -д зохион байгуулдаг. Энэ нь бэлчээрийн, цас мөсний баяр, нүүдэлчин, спортын, аялал жуулчлалын ын хосолсон үндэстний бүс нутгийн өвөрмөц онцлог бүхий ардын уламжлалт үйл ажиллагаа юм. Өвлийн наадмын үеэр “зүү булаалдах”, морьт тэргийн уралдаан, бөхийн барилдаан, сур харваа, морины уралдаан, тэмээний уралдаан, бугын шатар (Эвэнх хэлээр хумх агт "Номоһа Окте"), Монгол шатар (монгол хэлээр Шатар), морь уургалах, эмнэг сургах, морин чарганы уралдаан (тэмээ, нохой), цасан дээрх бөхийн барилдаан, цасан дээрх нум сум харваа зэрэг Эвэнх, Монгол, Дагуур үндэстнүүдийн спортын төрлүүдийг нэгтгэсэн үйл ажиллагаа болдог. Эвэнхийн өвлийн наадам нь спортын ын томоохон үйл ажиллагаа бөгөөд орон нутгийн спортын аялал жуулчлал болон бусад холбогдох салбарын хөгжлийг удирдан чиглүүлэх, Өвөр Монголын үндэстний цөөнхийн спортын ыг өвлөн уламжлах, түгээн дэлгэрүүлэхэд ихээхэн тус нэмэр болдог буй.

### Дүгнэлт

Эртнээс ан гөрөөний аж ахуй эрхлэж ирсэн ахуй амьдрал болон тэдний ан гөрөөлөх төрмөл ур чадвар нь Эвэнх үндэстний спортын ын хөрс болжээ. Дотоод самуун гадаадаас ирэх их дайнаас болж Эвэнхчүүд олон удаа нутаг сэлгэн их нүүдэл хийснээс тэдний аж амьдрал нүүдлийн болон хөдөө аж ахуй хэлбэрт шилжин өөрчилөгдсөөр үндэстэн хоорондын ын солилцоог бэхжиж, спортын ын шинэчлэл, хөгжилд ихээхэн тус нэмэр болжээ. Бөөгийн шүтлэгт, мөргөлийн зан үйлийн үед амьтны хөдөлгөөнийг дуурайн цамнан бүждэг Эвэнх үндэстэн өөрийн спортын бүжиг үүсгэжээ. Өвөрмөц газар нутагтай үндэстний онцлог баяр наадмууд нь тэдэнд спортын ыг өвлүүлэн үлдээжээ. Эвэнх үндэстний өвөрмөц амьдралын хэв маяг нь үндэстний уламжлалт спортын тун онцгой төрлийг бий болгож улмаар тухайн үндэстэн, бүс нутгийн ын онцлогийг бүрэн дүүрэн харуулж байна. Гэсэн хэдий ч, түүхийн шалтгааны улмаас олон үндэстний уламжлалт спортын төрлүүд аажмаар хумигдсаар байна. Зарим хэсэг нь уламжлалаа гээн устаж үгүй болох эрсдэлд байна. Имйд Эвэнх үндэстний уламжлалт спортын талаар судлан авран хамгаалах ажлыг эрчимжүүлж, үндэстний спортын ын өв уламжлал, шинэчлэлийг дэмжих шаардлагатай байна.

**Abstract:** Using field research and other research methods to analyze the origin of Ewenki sports culture. The early education of primitive hunting life and hunting skills was the soil that bred the Ewenki sports culture; the internal and external wars forced the Ewenkis to migrate many times, causing their production methods to be converted to nomadic and farming, and strengthened cultural exchanges among ethnic groups and promote The changes and development of the Ewenki sports culture; the religious beliefs based on

Shamanism, especially the imitation of animal movements in animal worship, promoted the formation of the Ewenki sports dance; the folk festivals with unique ethnic and regional characteristics made the Ewenki sports The culture is continued and inherited. It is suggested to increase the excavations, arrangements, rescue and protection of traditional Ewenki sports, and to promote the inheritance and innovation of national sports culture.

(Inner Mongolia University For The Nationalities)

### Ашигласан материал

- [1] D.O. Чао Ке: "Эвэнх үндэстний нэрийн тухай", "Манж хэлний судалгаа", 1996 он, дугаар №1.
- [2] Эвэнх үндэстний товч түүхийн эмхэтгэл: «Эвэнх үндэстний товч түүх», Хөх хот: Өвөрмонголын ардын хэвлэлийн газар, 1983 он, хуудас 5-17
- [3] Эвэнх үндэстний товч түүхийн эмхэтгэл: «Эвэнх үндэстний товч түүх», Хөх хот: Өвөрмонголын ардын хэвлэлийн газар, 1983 он, хуудас 5-17
- [4] Вуюун Дабэн : «Эвэнх үндэстний гарал үүсэл», Хөх хот: Өвөрмонголын их сургуулийн хэвлэлтйн газар, 1998 он, 4-5-р хуудас
- [5] Ши Лугоу, Ву Юнгуан, Жао Фүсин нарын орчуулга: "Хойд Тунгусын нийгмийн байгуулал", Хөх хот: Өвөр Монголын Ардын Хэвлэлийн газар, 1985 он, хуудас 222-224.
- [6] Жен Дунри : «Зүүн хойд Тунгус үндэстний гарал үүсэл болон нийгмийн байдал», Яанбин их сургуулийн хэвлэлийн газар, 1991 он, хуудас 30
- [7] Лю Гуантен: «Эвэнхчүүдийн гарал үүслийн тухай», «Хятадын үндэстэн» 1962 он, дугаар № 6
- [8] И сун, Ту Женжун нарын: "Дагуур, Эвэнх, Орчон үндэстний ын судалгаа", Хөх хот: Өвөр Монголын боловсролын хэвлэлийн газар, 2007 он, хуудас 193.
- [9] Лю Гуантен: «Эргуна голын Эвэнх үндэстний нүүдэлчин анчин ахуйн арга хэлбэр болон угсаатны нийгмийн бүтэц», «Хятадын үндэстний их сургуулийн сэтгүүл» 1978 он, дугаар № 6
- [10] Ли Зиху: «Эвэнхчүүдийн анчны бэлтгэл сургалт — эртний нийгэм, байгаль экологийн боловсрол», «Боловсрол ба мэргэшил » 1983 он, дугаар №5.
- [11] Лю Гуантен: «Хойд зүгийн үндэстний овгийн нийгмийн байдлын судалгаа», Инчуан: Нинсиа ардын хэвлэлийн газар , 1981 он, хуудас 413, 428.
- [12] Шен Виньхуа: "Эвэнх хүн амын тойм", Хөх хот: Өвөр Монголын их сургуулийн хэвлэл, 1991 он, 22-р хуудас.
- [13] «Чин улсын түүхийн судар» 30-р боть.
- [14] Сяо Ишан: Чин гүрний түүх (1-р боть), Бээжин: Zhonghua Book компани, 1986 он, хуудас 600.
- [15] Гуо Шуйнун: "Эртний - Бөөгийн үзэл баримтлал", Шанхай: Шанхай хотын ардын

хэвлэлийн газар, 2001 он, хуудас 1.

- [16] Ван Лижен: "Эвэнх үндэстний бөөгийн шашны итгэл үнэмшил ба байгалийн тахилга", Хятадын Үндэстний их сургуулийн сэтгүүл (Нийгмийн шинжлэх ухааны хэвлэл), 2000 он, дугаар №6.
- [17] Өвөрмонголын өөртөө засах орны хэвлэлийн редакц: «Эвэнх үндэстний нийгмийн түүхийн судалгаа», Хөх хот: Өвөрмонголын ардын хэвлэлийн газар, 1986 он, хуудас 112.
- [18] Өвөрмонголын өөртөө засах орны хэвлэлийн редакц: «Эвэнх үндэстний нийгмийн түүхийн судалгаа», Хөх хот: Өвөрмонголын ардын хэвлэлийн газар, 1986 он, хуудас 486.
- [19] Ту Женжун: «Эвэнх үндэстний уламжлалт баяр», «Өвөрмонголын үндэстний их сургуулийн сэтгүүл» (Нийгмийн шинжлэх ухааны сэтгүүл) 2004 он, дугаар №2

## モンゴル語の使役動詞のタイプ分けと派生

—生成統語論的アプローチ—

バイ チゴチ (Chigchi BAI)

### A Generative Approach to the Classification and Derivation of Causative Verbs in Mongolian

**Keywords:** Mongolian, causative, type, derivation, word-formation

**Abstract :** This paper aims to clarify the types of causative verbs on the basis of their distributional and functional patterns and to represent their lexico-syntactic derivation within the framework of generative grammar. The two types of syntactic causative to discuss in this paper include  $V_i > V_{caus}$  (intransitive-derived causative) and  $V_t > V_{caus}$  (transitive-derived causative) and the five types of lexical causative include  $Adv > V_{caus}$ ,  $Adj > V_i > V_{caus}$ ,  $N > V_i > V_{caus}$ ,  $V_i > V_{caus}$  and  $V_t > V_{caus}$ , among which the first one has been excluded from causatives but is treated as a typical causative formation in this paper. The empirical facts about the derivation of those seven types are explained under the latest theoretical trends of generative grammar (Harley (2008), Embick (2021) and etc.), which, on the other hand, are shown to be problematic given those facts.

#### 1. はじめに

動詞の語尾形態素は割と豊かであるモンゴル語において、使役形態素は非常に重要な地位を占める。モンゴル語の使役形態素(以下、「使役形態素」と呼ぶ)は多くの側面から研究されてきたが、その語形成の側面に生成統語論的なアプローチをとった研究は非常に稀である。本稿では、生成統語論の最近の展開から、モンゴル語の使役動詞(以下、「使役動詞」と呼ぶ)の語形成に関するいくつかの問題を取り上げる。まず、使役動詞にタイプ分けを行う。使役形態素の分部と機能に基づいて、統語的使役動詞を二つのタイプ(一項動詞派生の二項動詞、二項動詞派生の三項動詞)に、語彙的使役動詞を大まかに五つのタイプ( $Adv > V_{caus}$ ,  $Adj > V_i > V_{caus}$ ,  $N > V_i > V_{caus}$ ,  $V_i > V_{caus}$ ,  $V_t > V_{caus}$ )に分ける。そこで  $Adv > V_{caus}$  を新たに使役の範疇に取り込む。<sup>1</sup>その後、上記の七つのタイプの派生に統語的な分析を行う。そこで、生成文法の最近の展開がモンゴル語の使役動詞の語形成に照らすべき理論的問題と後者が前者にもたらす経験的問

---

<sup>1</sup> 従来の研究でこのタイプを使役動詞の問題として扱ったことはほとんどない。

題を検討する。

本稿の構成は、次の通りである。第2節では、使役動詞のタイプ分けを行う。第3節でその後第3節では、その統語派生を分析する。第4節は結語である。

## 2. 使役形態素の分部と機能に基づく使役動詞のタイプ分け

モンゴル語の使役形態素は、日本語の使役形態素と同様に、その意味に基づいて二種類に分類される：統語的形態素と語彙的形態素。まず、2.1節で統語的使役形態素の判断基準または特徴を、そして、2.1節で語彙的使役形態素の判断基準または特徴を概観する。

### 2.1 統語的使役形態素

第一に、-uul および-lga またはそれらの変体で具現化される統語的使役形態素は動詞につく場合、項の数を1個増やすことは必須である。すなわち、一項動詞を二項動詞にする（例文 (1)）か、二項動詞を三項動詞にする（例文 (2)）。基本的には、第一項は主動者で、第二項は動作主で、第三項は受動者である。主動者項は能動文の主語として具現化され、受動者項は目的語として具現化される。主動者からは受動者項に直接的な影響を与えることはない。二項動詞から三項動詞が形成される場合、動作主項は付加要素として具現化され、通常は具格標識をとり、そしてその指示物は有生物に限られる（例文 (2)）。ただし、自働詞につき、他動詞を形成する場合は、動作主項は目的語として具現化され、その目的語は目的格で具現化される（例文 (1)）。

(1) Bi Bat-ig ir-ul-(e)v.

私-NOM バト-ACC 来る-CS-た<sup>2</sup>

‘私はバトを来らせた。’

(2) Bi chagdaa-(g)aar Bat-ig bari-ul-(a)v.

私-NOM 警察-INS<sup>3</sup> バト-ACC 捕まえ-CS-た。’

‘私は警察にバトを捕まえさせた。’

第二に、統語的使役形態素がつくことで語彙的意味を加えることはない。換言すれば、新語を形成しない。ただし、文法的意味を加えると記述されることが多くある。この意味で、統語的使役形態素は屈折接尾辞であると考えることができる。

第三に、語彙的使役形態素と比べ、統語的使役形態素はより生産的であり、原理上ほぼすべての動詞につくことが可能である。

### 2.2 語彙的使役形態素

本節では、語彙的使役形態素の判断基準または特徴を概観する。

---

<sup>2</sup> NOM と ACC はそれぞれ「主格」と「対格」を意味し、CS は「使役形態素」を意味する。

<sup>3</sup> INS は「道具格」を意味する。



第一に、-uul, -lga, -gaa, -l またはそれらの変体で具現される統語的使役形態素は動詞につく場合、項を数を増やすこともあるし、増やさないこともある。<sup>4</sup> 一項動詞すなわち自動詞につく場合は、二項動詞すなわち他動詞が形成される（例文 (3) と (5)）。二項動詞につく場合も二項動詞が形成される（例文 (4)）。ただし、基になる他動詞は基本的に非使役的他動詞に限られる。語彙的使役形態素は形容詞、名詞または副詞につき、動詞を形成することもできる（例文 (6)）。<sup>5</sup> 第一項からは第二項に直接的影響を与える。第二項は有生物に限らない。

- (3) Bi hureen-d-ee mod urg-uul-(a)v.  
私-NOM 庭-DAT-Ref<sup>6</sup> 木-ACC 育つ-CS-た  
‘私は庭に木を育てた。’
- (4) Bi shin mashin-aa Bat-d uj-uul-(e)v.  
私-NOM 新車-ACC-Ref バト-DAT 見る-CS-た  
‘私は新車をバトに見せた。’
- (5) Bi ter jahyaa-g shat-aa-v.  
私-NOM その手紙-ACC 燃える-CS-た  
‘私はその手紙を燃やした。’
- (6) Bi ter shil-ig hag-l-(a)v.  
私-NOM そのガラス-ACC ぱりん-CS-た  
‘私はそのガラスを壊した。’

第二に、語彙的使役形態素がつくことで語彙的な意味が加わる。すなわち、新語を形成するということである。この意味で、語彙的使役形態素は派生接尾辞であると考えることができる。

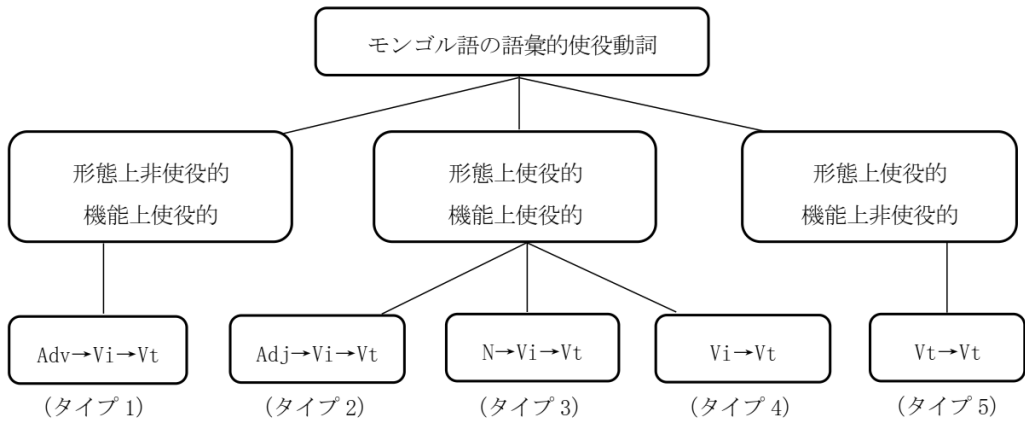
第三に、統語的使役形態素と比べ、語彙的使役形態素は生産的ではない。語彙的使役形態素を三種類に分けることができる：1) 形態上使役的ではないが、機能上使役的であるもの；2) 形態上も機能上も使役的であるもの；3) 形態上使役的であるが、機能上使役的ではないもの。第二類を語幹があるかどうか、または語幹の語類に基づいて三種類に分けることができる：①形容詞に基づき、自動詞そして他動詞を形成するタイプ；②名詞に基づき、自動詞そして他動詞を形成するタイプ；③直接自動詞から他動詞が派生するタイプ。この三つのタイプに副詞基に自動詞そして他動詞を形成するタイプと他動詞から他動詞が派生するタイプを加えると、合計五つのタイプが存在する。

<sup>4</sup> これらの形態素の変体について、Cinggeltei (1999), Kullmann (2005), 塩谷 (2007), Janhunen (2012), 橋本 (2019) などを参照。

<sup>5</sup> ここで言う「副詞」とは、伝統的な文法書でその類の語に与えられるラベルであるが、多くの点で典型的な副詞と異なる。意味上は、英語などの言語のアスペクト不変化詞 (Aspectual particle) に類似するものである。この類の語に関する詳しい議論は、塩谷 (2007) を参照。

<sup>6</sup> DAT は「与格」を意味し、Ref は「回帰不変化詞」または「回帰助詞」を意味する。

図 1. モンゴル語の語彙的使役動詞のタイプ<sup>7</sup>



- (7) タイプ 1 : Adv>Vcaus<sup>8</sup> ; 例 : balb-l ;  
 タイプ 2 : Adj>Vi>Vcaus ; 例 : bag-s-gaa ;  
 タイプ 3 : N>Vi>Vcaus ; 例 : ur-j-uul ;  
 タイプ 4 : Vi>Vcaus ; 例 : duus-gaa ;  
 タイプ 5 : Vt>Vcaus ; 例 : uj-uul.

この五つのタイプに下表で示す特徴をつけて分類することができる。表から分かるように、タイプ 1 からタイプ 4 までは本質的な使役動詞の語形成に合致するが、タイプ 5 は合致しない。これは、モンゴル語の伝統的な文法書または記述的な研究による扱いと異なる。モンゴル語の伝統的な文法書または記述的な研究は形態的な扱いを重んじ、使役動詞の語形成にタイプ 5 を入れ、タイプ 1 を無視する。

表 1. モンゴル語の語彙的使役動詞のタイプと素性の分部<sup>9</sup>

	語幹	自動詞形態素	他動詞形態素	形態上使役的	機能上使役的	起動的	ペアを成す非対格動詞あり
タイプ 1	Adv	<Vi> <sup>10</sup>	Vt	-	+	+	+
タイプ 2	Adj	Vi	Vt	+	+	+	+
タイプ 3	N	Vi	Vt	+	+	+	+
タイプ 4		Vi	Vt	+	+	+	+
タイプ 5		Vt	Vt	+	-	-	-

<sup>7</sup> Adv と Adj と N はそれぞれ「副詞」と「形容詞」と「名詞」を意味する；Vi と Vt はそれぞれ「自動詞」と「他動詞」を意味する。

<sup>8</sup> Vcaus は「使役動詞」を意味する。

<sup>9</sup> + と - は、それぞれ「そうである」と「そうではない」を意味する。

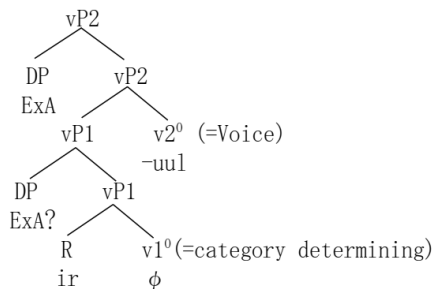
### 3. モンゴル語の使役動詞の派生

本節では、生成文法の枠組みの中でモンゴル語の統語的使役形態素と語彙的使役形態素の階層位置をその意味や機能に基づいて決定し、そうすることによって、使役動詞の統語構造を明白にする。まず、統語的使役形態素について考える。

#### 3.1 統語的使役動詞

統語的形態素は動詞の核が形成した後それにつくため、その操作は統語部門において行われるのである。次の樹形図で示すように、統語的形態素の-uul や-lga は、外項を導入する機能主要部  $v2^0$  を占める。本稿では、その主要部  $v1^0$  は実際にヴォイス主要部であるという Kratzer (1996) などの主張に従う。<sup>10</sup>ここで重要なのは、 $v2^0$  は直接的に語幹を取るのではない。直接的に語幹を取るのは、動詞の範疇を決定する主要部  $v1^0$  である。<sup>11</sup>異なる動詞主要部がそれぞれの動詞句を形成するため、議論中のモンゴル語の統語的動詞は二重節構造を持つということになる。上位の動詞句は統語部門で形成され、下位の動詞句は語彙部門で形成する<sup>12</sup>。

図 2. 一項から二項への派生<sup>13</sup>



上で外観した派生に残りうる問題としては、最終的に目的語として具現化される DP は、派生に内項として導入されるか、外項として導入されるかという問題と、語幹の R が先に  $v1^0$  と併合するか、目的語の DP と併合するかという問題である。これらの問題について、次節で詳しく議論する。

次に、二項から三項への派生を考える。下の図で示すように、統語的形態素の-uul や-lga は、外項を導入する機能主要部  $v2^0$  を占め、統語部門において動詞につく。 $vP1$  において、外項と内項は両方とも  $v1^0$  によって導入されるとここで仮定する。ここで外項を導入するヴォイス主要部

<sup>10</sup> モンゴル語のデータを考えると、この主張を例証するものであることに間違いのないと思われる。

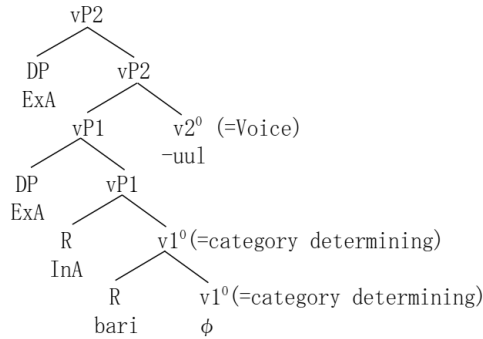
<sup>11</sup> 範疇決定主要部  $v^0$  が R を補部に取りするという仮定に関する詳しい議論は、Kratzer (1996), Chomsky (2007), Chomsky (2013) などを参照。

<sup>12</sup> しかし、1990年代から出来上がる分散形態論 (Halle and Marantz (1993)) によれば、統語部門と語彙部門の区別が最小化され、すべての派生が統語部門において行われる。

<sup>13</sup> ExA は「外項」を意味する。

Voice を設ける理由はない。この点について、Kratzer(1996)などの提案に反対し、Chomsky(2013)などの主張に従う。このことは、ヴォイス主要部と範疇決定主要部の独立性も整合性も場合によって許されるということの意味する。

図3. 二項から三項への派生<sup>14</sup>



この派生にも R が先に v1<sup>0</sup> と併合するか、目的語の DP と併合するかという問題が残る。詳しい議論は次節で行われる。

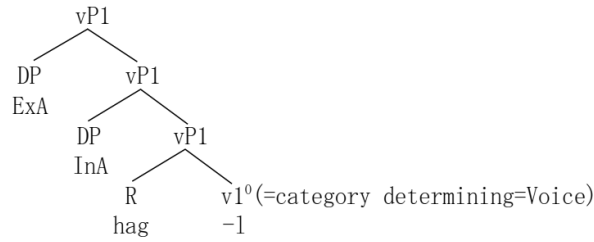
### 3.2 語彙的使役動詞

語彙的使役形態素が動詞につくことは統語操作ではなく、語形成である。ただし、分散形態論を中心とする生成文法の最新展開によれば、統語部門と語彙部門との区別は最小化され、本来語彙部門で行われる語形成も統語操作として扱われている。ただし、統語構造において統語的範疇と語彙的範疇は依然として区分されている。それでは、モンゴル語の語彙的使役形態素を含む語形成を示していく。

タイプ1の使役形態素は-Iで具現化され、V-IはV-rとともに使役-非対格のペアーを成す。V-IとV-rいずれも結果状態を表すRootに基づく起動動詞である。この類の動詞の形成はいくつかの点で上で見た二種類の動詞の形成と異なる。上で見た二種類の動詞において、主動者の外項と受動者の内項は別々の主要部によって選択されたりする。しかし、同じ語形成の仕組みの下ではタイプ1に当たる動詞の外項と内項は一つの主要部に導入されることになる。なぜなら、-Iは動詞派生接尾辞でありながら、外項を導入するものであるからである。すなわち、Rootは直接-Iとして具現化される使役主要部に付加し、自動詞を形成する主要部が存在しないということになる。

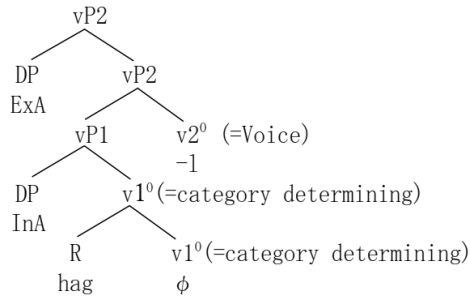
<sup>14</sup> InA は「内項」を意味する。

図 4. タイプ 1 (R>Vcaus) の派生 (1)



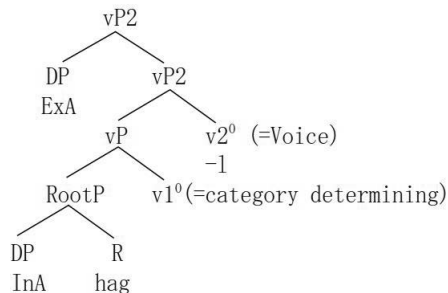
次に、上記の接近法に交替できるものを考える。外項と内項は別々の主要部によって導入されるとすれば、まず **Root** を  $v_2$  へ付加させ、その両者からなる複合主要部は内項を選択し、その後  $v_1$  が併合され、外項が導入される。<sup>15</sup>この場合は、 $v_2$  は音声内容を持たないと仮定しなければならない。しかし、非対格形態素-rが存在する限り、この仮定は成立しにくいであろう。

図 5. タイプ 1 (R>Vcaus) の派生 (2)



次に、第三の接近法を考える。この接近法は Harley (2008) の主張を支持するが、Embick (2021) の主張に反対する。Harley (2008) の主張に従えば、**Root** は内項をその補部として選択し、**RootP** を成す。その後、 $v_2$  と併合し、非対格自動詞の句を成す。その句は  $v_1$  と併合した後、外項が導入される。ここも  $v_2$  は音声内容を持たないと仮定しなければならない。しかし、同様に-rの存在が無視されることになる。

図 6. タイプ 1 (R>Vcaus) の派生 (3)

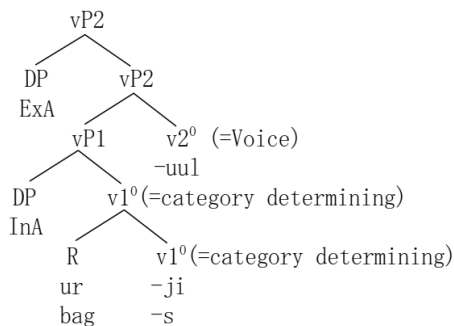


<sup>15</sup> ここで設ける  $v_1$  と  $v_2$  は基本的に先行研究 (Miyagawa (1998), Embick (2004) またはその他) で言及される  $v_{BECOME}$  と  $v_{CAUSE}$  にそれぞれ対応する。

ただし、タイプ1の派生を生成文法の項構造理論と Embick (2021) や Harley (2008) などの観察が合わさった環境において考えると次の問題が生じる。すなわち、非能格自動詞の外項と非対格自動詞の内項が同じ統語位置を占めることになる。このことは、モンゴル語の自動詞では非能格動詞と非対格動詞の区別が存在しないということを示唆する。確かに、英語や中国語のようなSVO言語と異なり、モンゴル語では非能格動詞と非対格動詞を明白に区別できる形態的、または統語的基準はまだ観察されていない。非能格 vs 非対格の区別をしようとするならば、英語などと並行的に考え、動詞の解釈に基づくしかない。しかし、ここで生じる問題として、モンゴル語の自動詞の項は内項として派生に入るか外項か入るかということである。この問題は次のように解決できる。上記の樹形図で示すように、Embick (2021) の主張が正しければ、自動詞の項は複合主要部<v2+Root>によって選択され、それと併合する。ここで、v2とRootのいずれも外項を導入する機能を持たず、内項のみを補部として取るということを考えて、自動詞の項は内項にしかなりえない。これは、まさにv1が外項を導入することに合致する。

次に、タイプ2とタイプ3の派生を考える。タイプ2とタイプ3の派生は、Rの範疇の指定以外は、ほぼ同様である。<sup>16</sup>

図7. タイプ2とタイプ3 (R>Vi>Vcaus) の派生



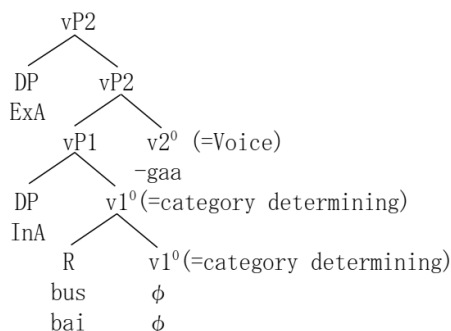
上記の樹形図で示すように、-uul または-lga は主要部 v2 を占め、vP2 の指定部に外項が導入される。v2 の補部は vP1 である。その主要部 v1 は動詞の範疇を決定するものである。内項は v1 の補部として選択されている。ここで注意すべき点としては、v1 は外項を導入するものではないため、vP1 は自動詞句であり、v1 自体は複合体<v1+Root>である。この分析は Embick (2021) による観察に従ったものである。Embick (2021) は英語の状態過去分詞や接頭辞の un- などに関する事実に基づき、Root は補部を取るものではなく、範疇を決定する主要部に付加する形で派

<sup>16</sup> 従来は R は範疇未決定の要素であると仮定されてきているが、議論中のデータはその仮定が例証できるものではない。ここでのデータによれば、R は上位の主要部に選択されていないものにすぎなく、その自体は範疇を持つことがあるということが分かる。この意味では、v<sup>0</sup> は範疇決定主要部ではなく、むしろ範疇変更主要部である。

生に導入されると主張する。Embick (2021) の主張はモンゴル語の語彙的使役形態素の振る舞いをうまく説明できる一方、モンゴル語の語彙的使役動詞の語形成は Embick (2021) の主張に経験的証拠を与える。V2 が vP1 と併合した後、複合主要部の v1 は主要部移動を通じて v2 へ上がる。

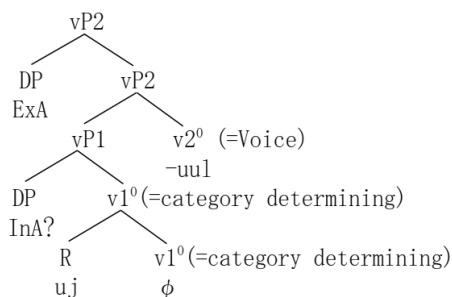
次に、語彙的使役形態素-gaa を考える。-gaa は-uul と-lga と異なる点として自動詞のみにつき、その自動詞は派生動詞ではない。最近の理論に従えば、その自動詞の語根は Root 位置を占め、動詞の範疇を決定する主要部 v1<sup>0</sup> は音声内容を持たないということになる。

図 8. タイプ 4 (Vi>Vcaus) の派生



タイプ 5 の派生は一見タイプ 4 の派生に似ている。ただし、前者において、内項は語幹の目的語であり、後者においてその項 (内項?) は語幹の主語である。前者において語幹の外項が統語派生に入る前に降格 (Demotion) を行い、後者においてそもそも外項がない。<sup>17</sup>

図 9. タイプ 5 (Vt>Vcaus) の派生



#### 4. 結語

本稿では生成文法の観点からモンゴル語の使役動詞のタイプと派生を明らかにすることを試みた。使役形態素の分部と機能に基づいて、統語的使役動詞は二つのタイプに、そして語彙的使

<sup>17</sup> 外項が統語派生に入る前に降格を行うという仮定は、Embick (2021) や Harley (2008) などの主張に対して、必要であろう。そう仮定しなければ、タイプ 5 のような事実は Embick (2021) や Harley (2008) などの主張に問題をもたらすであろう。

役動詞は五つのタイプに分けられ、その派生がそれぞれ示された。すべての統語的使役動詞の派生は二重節的であり、語彙的使役動詞は場合によって単節的な特徴と二重節的な特徴のいずれを持つことが指摘された。この点で、モンゴル語の（語彙的）使役構文は日本語のような言語の（語彙的）使役構文と異なるであろう。<sup>18</sup>本稿で検討した事実または検討できなかった事実を多重使役、項の降格、そして R と v の本質などを含む語彙的語形成と統語的語形成の多くの理論的側面に照らして考えると、モンゴル語の使役構文はさらに複雑であろうが、さらなる考察に将来の研究が集中することが期待される。

(内モンゴル財経大学外国語学院)

## 参考文献

- Chomsky, N. (2007) Approaching UG from Below. In U. Sauerland & H.-M. Gärtner (eds.). *Interfaces + Recursion = Language?*, 1-30. Berlin: De Gruyter.
- Chomsky, N. (2013) Problems of Projection. *Lingua* 130 : 33–49.
- Cinggeltei (1999) *Odo Uye-in Mongol Helen-ne Jui*. Hohhot: Өber Mongol-in Arad-in Heblel-in Horoo.
- Embick, David. (2004) On the Structure of Resultative Participles in English. *Linguistic Inquiry* 35(3): 355–392.
- Embick, David. (2021) Smaller Structures for Stative Passives. Available at: <https://aovivo.abralin.org/wp/wp-content/uploads/2021/05/abralin.pdf>.
- Halle, Morris, and Alec Marantz. (1993) Distributed Morphology and the Pieces of Inflection. *In the View from Building 20: Essays in Linguistics in honor of Sylvain Bromberger*, ed. Kenneth Hale and Samuel Jay Keyser, 111–176. Cambridge, Mass.: MIT Press.
- Harley, Heidi. (2008) On The Causative Construction, *The Oxford Handbook of Japanese Linguistics*, ed. Shigeru Miyagawa, Oxford: Oxford University Press.
- Janhunen, Juha A. (2012) *Mongolian*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins.
- Kratzer, Angelika. (1996) Severing the External Argument from Its Verb. In *Phrase Structure and the Lexicon*, ed. Johan Rooryck and Laurie Zaring, 109–137. Dordrecht: Kluwer.
- Kullmann, Rita, and D. Tserenpil. (1996) *Mongolian Grammar*. Hong Kong: Jenco Ltd.
- Miyagawa, Shigeru. (1998) (S)ase as an Elsewhere Causative and the Syntactic Nature of Words. *Journal of Japanese Linguistics* 16: 67–110.
- 塩谷茂樹. (2007) 『モンゴル語ハルハ方言における派生接尾辞の研究』大阪外国語大学.
- 橋本邦彦. (2019) 「モンゴル語の使役文の意味の違いについて」北海道言語文化研究, 第 17 号, 141-188.

---

<sup>18</sup> Harley (2008) では、日本語の語彙的使役動詞は単節的であり、統語的使役動詞は二重節的であると指摘する。



## モンゴル諸語統一表記 子音連結

Altan mongol bichig iin niilmel giigulegc

城吉 一徳 (Chimedseerenn)

**要旨:** モンゴル語の口語正書法を検討する為、モンゴル語音節末子音をソノリティ階層配列順に並べて、子音連結マトリックスを作成して見た。その結果、先ず、ソノリティ階層配列順が RL MNGBJHSX CDT になったのである。次に、ソノリティ階層配列順の場合子音連結が発生し、逆の場合挿入母音が発生し新音節になるのである。更に、ソノリティ階層順クラスターの途中、母音挿入の場合は別語句になるのである。モンゴル語音素配列制約と音節構造の論文はまだすくなく、ソノリティシーケンスの制約と複合分節音の制約について、更なる深堀研究が必要と考察している。

**キーワード:** 子音連結 ソノリティ階層 音節構造 自律分節 音素配列制約

### 1. はじめに

近代モンゴル語短母音の発音は、第一音節では常に明瞭に発音されるが、第二音節以降は著しく弱化和脱落が発生してしまうのである。この母音脱落によっていくつかの連続子音が発生して、発音音節の必要性に応じて新たに中舌母音を挿入し、音節を結成して発音されるのである。本稿でモンゴル語発音音節構造制約を掲示するが、制約は絶対に違反してはならないものではなく、制約間に優先順位があって、優先順位の制約に違反していないものだけ勝ち組になると考察している。制約は言語を問わず普遍的であり、その優先順位のみが言語によって異なるとされることが多いのである。

### 2. モンゴル語子音クラスター

モンゴル語音節のオンセット子音クラスターは半母音との連結になるので問題にならないが、音節末子音クラスターに対しいくつか違った取り方をしている。音節が始まる「挿入母音の発生時期」について；キリルモンゴル語は「7&9子音」説があって、チャハルモンゴル語は「6&8子音」子音連結説があるのである。本研究は音節末全子音のソノリティ階層配列順マトリックス作成する方法で音節末子音クラスターを検証したのである。その結果「子音連結数量」と「挿入母音の発生時期」が明確な回答を得られ、それにそのリアリティさに驚いている。

モンゴル諸語口語記述の正書法と音節構造の最適実例になるのではと考察している。

### 3. モンゴル語「子音連結」調査

調査資料 ①《蒙漢詞典》1999年

調査資料 ②МОНГОЛ КИРИЛ БИЧИЙН ЗӨВ БИЧИХЗҮЙН ТОЛЬ. МОНСУДАР, 2011.

C2	х	ᠵ	h	с	s	b	d	t
C1	ш	з ж	х	ц ч	с	в б	д	т
m	ᠮᠠᠮᠠ	ᠮᠠᠵᠠ	ᠮᠠᠬᠠ	ᠮᠠᠴᠠ	ᠮᠠᠰᠠ	ᠮᠠᠪᠠ	ᠮᠠᠳᠠ	ᠮᠠᠲᠠ
М	эмшгэр	харамж	хэмхлэх	эмч	өмсгөх	лимбэ	амьдрал	хамт
	emxger	haramj	hemhleḥ	emc	wemsguh	limb	aymdrirl	hamt
n	ᠨᠠᠨᠠ	ᠨᠠᠵᠠ	ᠨᠠᠬᠠ	ᠨᠠᠴᠠ	ᠨᠠᠰᠠ	ᠨᠠᠪᠠ	ᠨᠠᠳᠠ	ᠨᠠᠲᠠ
Н	зүүнш	сэнж	мөнх	онцгой	хүнс	танив	анд	гэнт
	jeunx	senj	mwunh	oncgoiy	huns	teynb	and	gent
g	ᠬᠠᠮᠠ	ᠬᠠᠵᠠ	ᠬᠠᠬᠠ	ᠬᠠᠴᠠ	ᠬᠠᠰᠠ	-	ᠬᠠᠳᠠ	ᠬᠠᠲᠠ
Г	багш	зэгзгэр	сэгэх	эгч	төгсгөлт	-	догдлох	агт
	bagx	jigiger	segh	egc	twegsgelt	-	dogdloh	agt
l	ᠯᠠᠮᠠ	ᠯᠠᠵᠠ	ᠯᠠᠬᠠ	ᠯᠠᠴᠠ	ᠯᠠᠰᠠ	ᠯᠠᠪᠠ	ᠯᠠᠳᠠ	ᠯᠠᠲᠠ
Л	тулш	аалз	салхи	илч	алс	тавь	илд	ахилт
	tulx	aalj	seylh	ilc	als	teylb	ild	ayhilt
s	-	-	-	ᠰᠠᠴᠠ	-	-	ᠰᠠᠳᠠ	ᠰᠠᠲᠠ
с	-	-	-	ууцац	-	-	насад	устрах
	-	-	-	vaosc	-	-	nasd	vostgah
h	ᠬᠠᠮᠠ	-	-	ᠬᠠᠴᠠ	ᠬᠠᠰᠠ	-	ᠬᠠᠳᠠ	ᠬᠠᠲᠠ
х	тохош	-	-	мэхч	ихэсгэх	-	захт	түүхт
	tohx	-	-	mehc	yhsgeh	-	jaht	teuht
b	ᠪᠠᠮᠠ	ᠪᠠᠵᠠ	ᠪᠠᠬᠠ	ᠪᠠᠴᠠ	ᠪᠠᠰᠠ	-	ᠪᠠᠳᠠ	ᠪᠠᠲᠠ
в	новш	жавж	хавх	навч	давс	-	сувд	шувт
	nobx	jaybj	habh	nabc	dabs	-	svobd	shvobt
ᠷ	ᠷᠠᠮᠠ	ᠷᠠᠵᠠ	ᠷᠠᠬᠠ	ᠷᠠᠴᠠ	ᠷᠠᠰᠠ	ᠷᠠᠪᠠ	ᠷᠠᠳᠠ	ᠷᠠᠲᠠ
р	харшлал	арз	тархи	гэрч	арьс	сорви	ард	эрт
	harxlirl	arj	teyrh	gerc	ars	soyrb	ard	ert

※ 赤は音素子音連結。

※ 青は口蓋化子音連結。

本調査表から気づくポイント：

- 多くの空欄があって、子音連結構成できない欄となるが、挿入母音発生欄でもあり、新規音節の発生ポイントになるのである。
- 文語表記では統一している同じ発音文字が両辞書では差異が存在している。これは正書法と発音認識の差異であると思われる。
- 子音ソノリテイ階層配列順の場合子音クラスターが発生しているが、子音ソノリテイ階層配列逆の場合空欄が発生している。

音韻論では音節内の音の並びが規則性あって、音節の中心にある母音が一番ソノリテイが高く、母音から遠くなるに従ってソノリテイが下がるように並んでいる。英語のソノリテイ配列順に上記表を並べ替えると下記表が得られる。英語ソノリテイ配列順：[a] [e o] [i u j w] [r] [l] [m n ŋ] [v ð z] [f θ s] [b d g] [p t k]はフリー百科事典に随う。

モンゴル語子音連結 英語子音ソノリティ配列順								
C2 \ C1	b	s	x	h	j	c	d	t
	в	с	ш	х	з ж	ц ч	д	т
s	-	-	-	-	-	ᠠᠭᠤᠰᠠᠨ	ᠨᠢᠰᠠᠳ	ᠶᠤᠰᠲᠠᠬ
c	-	-	-	-	-	уусац	насад	устрах
	-	-	-	-	-	vaosc	nasd	vostgah
h	-	ᠬᠢᠭᠢᠰᠭᠡᠬ	ᠲᠣᠬᠤᠰ	-	-	ᠮᠡᠬᠴ	ᠵᠠᠬᠲ	ᠲᠦᠶᠦᠬᠲ
x	-	ИХЭСГЭХ	ТОХОШ	-	-	МЭХЧ	ЗАХТ	ТҮҮХТ
	-	yhsgeh	tohx	-	-	mehc	jaht	teuht
b	-	ᠳᠠᠪᠰ	ᠨᠣᠪᠰ	ᠬᠠᠪᠬ	ᠵᠠᠪᠵ	ᠨᠠᠪᠴ	ᠰᠤᠪᠳ	ᠰᠤᠪᠲ
в	-	давс	новш	хавх	жавж	навч	субд	шубт
	-	dabs	nobx	habh	jaybj	nabc	svobd	shvobt
g	-	ᠲᠥᠭᠰᠭᠡᠯᠲ	ᠪᠠᠭᠰ	ᠰᠡᠭᠭᠡᠬ	ᠵᠡᠭᠭᠢᠭᠦᠷ	ᠡᠭᠴ	ᠳᠣᠭᠳᠤᠯᠤᠬ	ᠠᠭᠲ
г	-	төгсгөлт	багш	сэгэх	зэгзгэр	эгч	догдлох	агт
	-	twegsgelt	bagx	segh	jigiger	egc	dogdloh	agt
п	ᠲᠠᠨᠢᠪ	ᠬᠦᠨᠰ	ᠵᠦᠭᠨᠰ	ᠮᠥᠨᠬ	ᠰᠡᠨᠵ	ᠣᠨᠴᠢᠭᠣᠢ	ᠠᠨᠳ	ᠭᠡᠨᠲ
н	танив	хүнс	зүүнш	мөнх	сэнж	онцгой	анд	гэнт
	teynb	huns	jeunx	mwunh	senj	oncgoiy	and	gent
м	ᠯᠢᠮᠪᠡ	ᠣᠮᠰᠭᠡᠬ	ᠡᠮᠰᠢᠭᠦᠷ	ᠬᠡᠮᠬᠡᠯᠡᠬ	ᠬᠠᠷᠠᠮᠵ	ᠡᠮᠴ	ᠠᠮᠦᠳᠷᠠᠯ	ᠬᠠᠮᠲ
	limb	wemsguh	emxger	hemhleh	haramj	emc	aymdrirl	hamt
l	ᠲᠠᠪ	ᠠᠯᠰ	ᠲᠦᠯᠰ	ᠰᠠᠯᠬᠢ	ᠠᠠᠯᠵ	ᠢᠯᠴ	ᠢᠯᠳ	ᠠᠬᠢᠯᠲ
л	тавь	алс	тулш	салхи	аалз	илч	илд	ахилт
	teylb	als	tuix	scylh	aalj	ilc	ild	ayhilt
р	ᠰᠣᠷᠪᠢ	ᠠᠷᠰ	ᠬᠠᠷᠰᠢᠯᠠᠯ	ᠲᠠᠷᠬᠢ	ᠠᠷᠵ	ᠭᠡᠷᠴ	ᠠᠷᠳ	ᠡᠷᠲ
	soyrb	ars	harxlrl	teyrh	arj	gerc	ard	ert

※ 赤で表記子音連結音素子音。

※ 青で表記は口蓋化子音連結。

上記表から下記の3点が考察される。

- モンゴル語ソノリティ配列が英語ソノリティ配列と順序が異なっている。
- モンゴル語音節末子音が13子音なのに本マトリックス8子音マトリックスである。同一言語では音節構造が同じであることと複合分節音の発音も同じであることからモンゴル語音節末子音クラスターは13子音から成すべきである。
- 音節末13子音でマトリックスを作成する場合、ソノリティ配列順の場合でも多くの空欄が発生するが母音無声化子音組から子音クラスター認可できるので、実行可能と考察している。

下記表はモンゴル語音節末13子音で作成した子音クラスター表である。

子音クラスター配列から子音ソノリティ配列順の判断をできるので、モンゴル語子音ソノリティ配列順序はRL MNGBJHSX CDTになったのである。ソノリティ配列順の場合子音クラスター結成するので、子音クラスター表に実例が並んでいる。配列順と異なる場合挿入母音が発生するので、子音クラスター表に空欄が並んでいる。黄色セルは新規子音クラスター「認可」セルになる。モンゴル語音節末に同じ子音が並列の場合、必ず挿入母音が発生するので同子音並列欄は空欄にしている。

モンゴル諸語子音連結法						モンゴル語子音ソノリティ階層配列順							
C2 \ C1	t	d	c	x	s	h	j	b	g	n	m	l	r
	т	д	ч ц	ш	с	х	з ж	б в	г	н	м	л	р
r	ert	ard	gerc	harxlrl	ars	teyrh	hurj	soyrb	jerg	narn	teerm	gerl	rr
l	amjilt	ild	ilc	tulx	als	scylh	aalj	teylb	algc	oln	selm	ll	
m	hamt	aymd	emc	cmxger	jims	chimh	demj	limb	cmgnch	cmnleg	mm		
n	gent	and	onc	jeunx	huns	mwunh	senj	oync	ayong	nn			
g	agt	ogd	egc	bagx	vogsrirh	scgh	jigjger	elgbc	gg				
b	shobt	svobd	nabc	nobx	dabslirh	habh	jiybj	bb					
j	celjt	urgeljd	sajc	shiljx	aynjs	vaoljh	jj						
h	teuht	jahd	mehc	tohx	yhsgch	hh							
s	vost	nasd	vaosc	neursx	ss								
x	ext	hoiyxd	shagxc	xx									
c	nabct	malcd	cc										
d	hundt	dd											
t	tt												

※ 赤文字は音素子音連結。      ※ 青文字は口蓋化子音連結。      ※モンゴル語子音ソノリティ配列順 RL MNGBJHSX CDT

#### 4. モンゴル語子音連結法まとめ

モンゴル語子音連結に3つの自然法則が有備している。

- ① モンゴル語音節末13子音は均一に子音クラスター連結し、優先順位がソノリティ階層配列順のRL MNGBJHSX CDTになっている。
- ② ソノリティ配列順の場合子音クラスター結成し、配列順と異なる場合挿入母音が発生し、新規音節が発生するのである。
- ③ ソノリティ配列順の場合でもモンゴル語固有制約或いは方言制約により挿入母音が発生して別語句結成できるので、挿入母音も音素になるのである。

本子音連結法はモンゴル語文語正書法とマッチングした表記方法で、より簡単に文語表記と文語発音表記をできるのである。音節末子音クラスターは連続2～4文字の並列が発生するので、単子音文字表記が必須で、音節末子音は諸語ともに単文字子音音素表記になるのではと考察している。方言差異と発音差異も表記できるようにする為、本論文の第5部でモンゴル諸語頭子音表記案を掲示している。その他 音節末s子音が二つに分かれるので、各々sとx[ç]にしている。

本子音連結法は発音表記正書法へ適用できると考察している。その理由は上記マトリックス表にあって、より明確な子音連結ルール78点と挿入母音ルール91点あるからである。それにモンゴル語ソノリティ配列順を覚えるだけで全ての正書法をマスターできるので、その利便性もより優れている。それに音節が明確になることによって発音規範化が進み、文語教育、普及にもより優れた規則になるのである。

本子音連結法は英語表記システムで表記できるように設定しているので、モンゴル語で機械言語のプログラム作成、ソフトアプリの開発にもより便利になるのである。あらゆるパソコンあらゆる場所からモンゴル語入力応用できるようになるので、ネット生活SNSとも便利になっ

て、モンゴル語で SNS を楽しむ人が増えるのが間違いないことである。モンゴル語を守る一番有力な方法はモンゴル語使う人を増やすことである。

本子音連結法は全世界のモンゴル語を統一した一つの表記システムに格納できる非常に大事な規則となっている。モンゴル国は二言語体制実施すると文語の発音をキリル文字で表記と学校教育実施することができるが、内モンゴルはまだリアルな発音表記がなく、IPA 発音記号を使っていて研究者によって取り方が異なるのである。文語は諸語の共通語となっているので、文語の発音表記も諸方言の音素文字になって、本連結法は諸語発音表記の基本ルールになるのではと考察している。

### 5. モンゴル諸語子音発音表記について

モンゴル諸語の子音発音を纏めると下記子音表を得られる。IPA 表記文字で 36 文字もあるので非常に難しく見えるが、文語はすでに 16 音素子音表記にしているので、通常用語は音素表記で、術語特別名詞等を下記頭子音を使うことで、言語分弁率も上がるので、非常に便利なのである。すでに定着している術語 Bichig、Chakhar、khalh 等があつて、段々増えていくのではと考察している。

モンゴル諸語子音表記案												Sonority			
モンゴル語子音	両唇		歯唇		歯茎		硬口蓋		軟口蓋		口蓋垂		声門	last	
破裂音	無声	/p/	p		/t/	t			/k/	k	q	q	ʔ	hm	t
	有声	/b/	b		/d/	d			/g/	g	ɢ	gh			d
破擦音	無声				/ts/	tc	/tʃ/ /tʂ/	ch,c	/ʃç/	xc					c
	有声				/dʒ/	z	/dʒ/ /dʒ/	jh,j							
摩擦音	無声	/ɸ/	ph	/f/	f	/s/	s	/ʃ/ /ɕ/	sh,x	/x/	h	/χ/	kh	/h/	hsx
	有声	/β/	b		/ʒ/	sr			/ɣ/	gn	/ʁ/	gr			gbj
鼻音(有声)	/m/	m			/n/	n			/ŋ/	nn					mn
側面摩擦音					/l/	lh l									l
震え音(有声)					/r/	rh r									r
接近音(有声)	(β <sub>2</sub> )	v					/j/	y	/w/	w					

本子音表で文語、方言、異音等をリアルに一つのシステムで表記できるようにしているので、非常に使い易くなるのである。例えば 文語 caso ; chakhar 方言で jhas ; khalh 方言で tcas ; khorchin 方言で shas となるのである。文語 agodam の発音は vaodirm で、半母音 v 中舌母音 ir[ɶ]ともに明確化できるのである。

本子音表は自由百科事典で開示している諸語の発音を全て網羅しているので、諸語発音表記の設定をできると考察しているが精緻化が必要である。

## 6. モンゴル諸語統一表記

本誌第2号「モンゴル語の音素表記と発音表記」の論文で、モンゴル諸語を統一した一つの言語システムと見て、モンゴル語の母音発音表記方法を纏めている。その特徴はモンゴル語の3つの半母音を発音表記システムに取り入れていることである。その論点を抜粋すると下記3点に纏められる。

- ① モンゴル語には3つの接近音「硬口蓋接近音 y[j]」「両唇接近音 v[β]」「両唇軟口蓋接近音 w[w]」があって、子音特質で使うとき、必ず母音を伴うことである。
- ② モンゴル語の3つの接近音が[i]母音と一体化発音する時、母音特質で、y[ji] v[ɣ] w[ø]表記し、単独音節形成し母音扱いできるのである。
- ③ モンゴル語の口蓋化子音は必ず前舌母音に伴うので、母音追記 y 半母音で前舌母音表記することで、前舌母音と口蓋化子音を同時表記できて、一挙二得の効果が得られるのである。これは半母音も複合母音の特質で使えるとのことである。

文語ユニコードに登録している、モンゴル語方言にも使われている子音を頭子音に纏めると16子音が選られる。本稿13音素子音と接近音3子音と合わせ、モンゴル語常用子音群が得られるので、前論文の母音群と合わせて下記「モンゴル諸語統一表記」システムが獲られるのである。

Altan mongol bichig		モンゴル諸語統一表記システム																
a	ᠠ	a	ᠷ	ᠯ	ᠮ	ᠨ	ᠭ	ᠪ	ᠵ	q	gh	kh	gr	ch	jh	sh	rh	
ᠢ	ᠢ	ᠢ	ᠷ	ᠯ	ᠮ	ᠨ	ᠭ	ᠪ	ᠵ	ᠠ	ᠡ	ᠢ	ᠣ	ᠤ	ᠥ	ᠦ	ᠨ	
i	ᠢ	и	ᠷ	ᠯ	ᠮ	ᠨ	ᠭ	ᠪ	ᠵ	/q/	/g/	/x/	/β/	/tʃ/	/dʒ/	/ʃ/	/r/	
o	ᠣ	o	ᠵ	ᠬ	ᠰ	ᠬ	ᠴ	ᠳ	ᠲ	k	gn	p	f	tc	z	lh	nn	
v	ᠦ	y	ᠷ	ᠯ	ᠮ	ᠨ	ᠭ	ᠪ	ᠵ	ᠠ	ᠡ	ᠢ	ᠣ	ᠤ	ᠥ	ᠦ	ᠨ	
w	ᠦ	ø	ᠵ	ᠬ	ᠰ	ᠬ	ᠴ	ᠳ	ᠲ	/k/	/ɣ/	/p/	/β/	/ts/	/dʒ/	/ʃ/	/r/	
u	ᠦ	γ	MONGOL HEL IIN abiyaalirh BICHIG															
y	ᠢ	ji	a	c	i	o	o	u	u	y	v	w	iy	cy	ay	oy	uy	ir
v	ᠦ	γ	aa	cc	ii	oa	oo	ue	uu	yy	vyy	wyy	iyy	ciy	aiy	oiy	uiy	or
w	ᠦ	ø	ai	ci	oi	ui	vy	ia	ie	io	iu	yc	ao	eu	iv	ou	wy	ur

本システムのL字部が母音表記部で、左上が文語第一音節音素母音で、右下は口語音節母音となっている。短母音15個と長母音15個、複母音15個設定している。挿入母音を文語脱落

母音とリンクする為 ir,or,ur 三つに設定している。オレンジ色部は音素子音部で、水色部は頭子音部となっている。

本設定で文語入力も「唯一」に確定されるのである。下記実例で文語7母音理論がどのように継承されているかを確認できる。

「文語」表記	ᠠᠭᠣᠯᠠ ᠡᠭᠦᠯᠡ ᠶ᠋ᠢᠴᠢ ᠣᠳᠣᠬᠠᠨ ᠪᠣᠲᠠ ᠠᠩ ᠠᠭᠤᠨ ᠤᠨᠤᠰᠤ
「文語」入力	agola egule ilci odohan vtoga wnuhen unushu
「発音」表記	vaola uule ilc odoahan votaa wunuehen unsurh

本システムの前舌母音表記をできるだけ IPA 発音に近づける為、文語表記の男性前舌母音が無声子音に付いてくるときは女性前舌母音と表記にしたのである。

#### 実例

IPA	[æ]	[æ:]	[ɛ]	[ɛ:]	[e]	[e:]	[œ]	[œ:]	[y]	[y:]
表記	ay	aiy	ey	eiy	iy	iiy	oy	oiy	uy	uiy

「蒙漢詞典」実例	文語入力	キリル表記	本音声表記	訳文
ᠠᠮᠢ [æm]	ami	амь	aym	命
ᠠᠶᠢᠮᠠᠭ [æ:mõg]	aiimag	аймаг	aiymirg	アイマダ
ᠲᠠᠪᠢ [tæb]	tabi	тавь	teyb	五十
ᠲᠠᠶᠢᠪᠤᠭᠤ [tæ:bu:]	taiiboo	тайвуу	teiybuu	穏やか
ᠨᠢᠯᠬᠠ [nɪlx]	nilha	нялх	niylh	幼い
ᠨᠠᠶᠢᠮᠠᠨ [næ:mõn]	naiiman	найман	niiymirn	第八
ᠣᠷᠭᠢᠯ [œrgɪl]	orgil	оргил	oürgil	頂上
ᠣᠶᠢᠷᠢᠳ [œ:rd]	oiirad	Ойрд	oiyrird	オイラト
ᠨᠠᠳᠤ [nud]	nidu	нүд	nuyd	目
ᠬᠤᠶᠢᠲᠡᠨ [xuitə̃n]	huiten	хүйтэн	huiyten	寒い

実例の teyb 表記のように、ey は女性前舌母音 b は口蓋化子音である。本システムの正書法は文語正書法を伝承し発音音節内の子音連結を明確化した正書法となるのである。従来明確になっている音節はそのまま継承しているので、上記前舌母音実例では長母音に子音連結が付着してなく、母音無声化子音組が母音挿入し新規音節を結成している。これをルール化できないかの研究は今後の課題となるのである。方言にも音節制約の理由で、ソノリティ順配列でも子音連結にならない言葉があると思うので、その自然法則を見つかりルール化することが今後の研究で解決できることと考察している。

本システムの表記方法でモンゴル語に語り切れない変化をもたらすことと考察している。特にAI時代今日、音声制御、ロボット制御、ドローン制御、機械プログラムの作成等で、この表記方法の素晴らしさを検証できると思うのである。

モンゴル語の縦書き文語はモンゴル文化の源、モンゴルの伝統と歴史ともになるので、モンゴル語の世界は二言語体制が避けられないのである。世界の科学技術文献と経済活動書類数量から見ても、この第二言語は英語表記になるのではないかと思われる。この第二言語の活躍こそ縦書き文語が末永く立っている護衛になるのではと思われる。

## 参考文献

- 服部四郎 (1951) 「蒙古語チャハル方言の音韻体系」『言語研究』 19/20: 68-103.
- 一ノ瀬恵 (1992) 「モンゴル語の複合語の音韻的特徴」『北方文化研究』 21: 105-119.
- 一ノ瀬恵 (1992) 「内蒙古語チャハル方言における I 音について」『北大文学部紀要』 40:2,pp. 169-188.
- 城生佰太郎 (1976) 「モンゴル語の母音調和」『言語』 5 (6): 53-61.
- 角道正佳 (1974) 「ハルハ方言の正書法」『日本モンゴル学会会報』 5: 29-35.
- 栗林均 (1982) 「『\*i の折れ』再説」『モンゴル研究』 13: 37-55.
- 栗林均 (1992) 「モンゴル語」『言語学大辞典第4巻世界言語編』 501-517. 東京：三省堂 .
- 小沢重男 (1986) 『増補 モンゴル語四週間』 東京：大学書林
- 植田尚樹 (2018) 「モンゴル語の母音に関する総合的研究」(博士論文) Kyoto University
- 道布 (1983) 『蒙古語簡誌』 北京：民族出版社.
- 藤田淑子(2009) 『モンゴル語の研究』 東京女子大学言語文化研究 18 P39-55



## 中国・内モンゴルにおける乳製品の購入分析

—シリングル盟正藍旗の事例を中心として—

ホロワ (HURIWA)

### はじめに

中国での乳製品の利用は、かつては伝統的に消費習慣を持つ牧畜地域の少数民族や老人、病人、障害者及び妊婦など栄養剤として利用する人々に限られていた。しかし現在では、乳製品はこれまでに消費習慣がなかった人々にもカルシウムやビタミンなどの栄養源として受け入れられ、乳製品の消費需要が急増している。それとともに、乳製品産業も飛躍的に発展している。ちなみに、内モンゴル自治区は現在も中国のなかで乳製品の主な産地となっている。内モンゴルでは乳製品は日常生活に不可欠な食物であり、乳業は牧畜を営んでいるモンゴル民族にとって経済的な面でも重要な産業となっている。

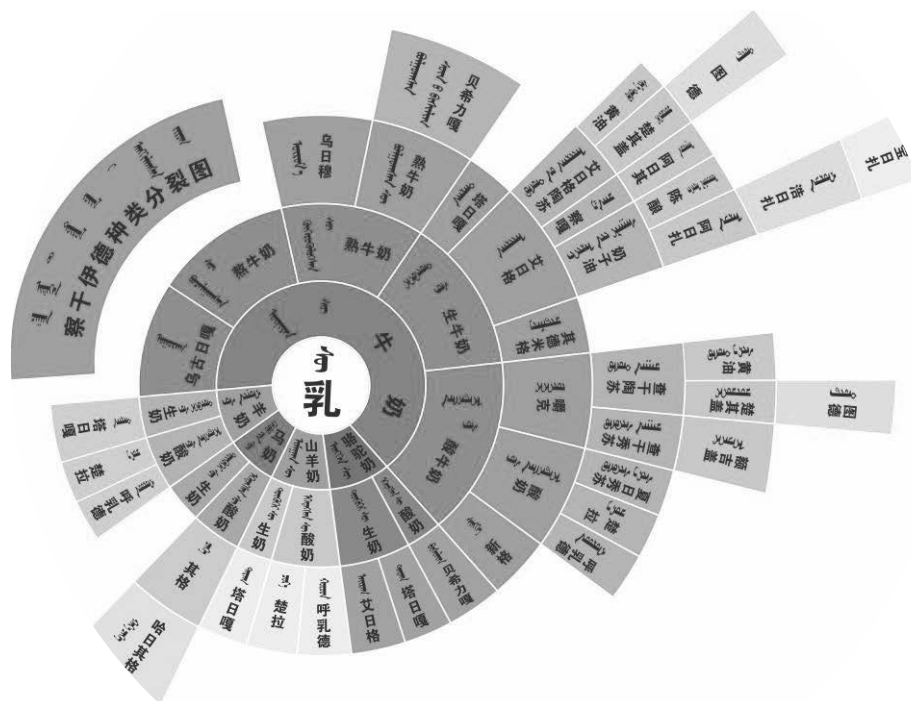
内モンゴルの乳製品についての先行研究は多数にわたる。那木拉(2009)は、シリングル盟の生態移民を対象に、インタビューと観察調査を行い、「生態移民政策」と酪農業がどのように関連しあっているのか、また、現在の酪農業がどのような状況に置かれているのかを解明した。長命洋佑(2013年)は統計資料と先行研究に基づいて中国における酪農生産の現状を概観したうえで、急速に成長している内モンゴルの酪農生産の現状およびその生産構造の特徴を明らかにした。達古拉(2007年)は現地調査、統計資料と文献利用に基づき、シリングル盟ソニトユチ旗で現地調査を行い、酪農振興による貧困対策の現状と課題を明らかにした。彼は貧困の発生要因に関する計量経済分析を行い、酪農振興による貧困対策の問題点を明らかにした。長命洋佑(2011年)は統計資料と聞き取り調査に基づき、内モンゴルにおける酪農の流通構造を明らかにした。彼は乳業メーカーとの契約相手である農家への聞き取り調査を行い、酪農生産の実態を明らかにした。烏雲塔娜・福田普・森高正博(2012年)は、統計資料と聞き取り調査に基づき、メラミン問題発生の重要な要因が生乳取引構造の情報の非対称性にあるとの反説に基づき、モラルハザードを生む取引メカニズム、そして、新制度による生乳取引構造の変化及びその期待される成果を情報の経済学の視点から明らかにした。小長谷有紀(1992年)はモンゴルの乳製品の加工原理を「静置による脱脂」「加熱攪拌による脱脂」「攪拌による発酵を経た脱脂」の3種類に分類できるとした。梅棹忠夫(1955年)は内モンゴルの現地調査を踏まえ、家畜の種類、搾乳方法と乳製品の製造方法を記録し、乳製品の加工体系を大きく3種類に分類した。

このように、既存の先行研究の多くは、酪農の生産構造や流通構造、生態移民の動態および酪農加工技術の分析を中心としてきた。ミルクと乳製品の消費構造を消費者の乳製品に対する意

識変化を踏まえて位置付ける研究は、ほとんど行われてこなかった。

本研究では、内モンゴル自治区シリングル盟正藍旗を事例に、乳製品の消費構造の変化を消費者の職業、収入、年齢、民族、学歴などの属性を購入調査分析の関係を中心に検討を行う。その際、乳製品の安全問題や自身の健康に関する意識や感覚についても考察を行い、乳製品の生産加工と販売に存在する問題点を記事することである。

図1 乳製品の種類



2020年 ウリニレトより作成

## 研究方法

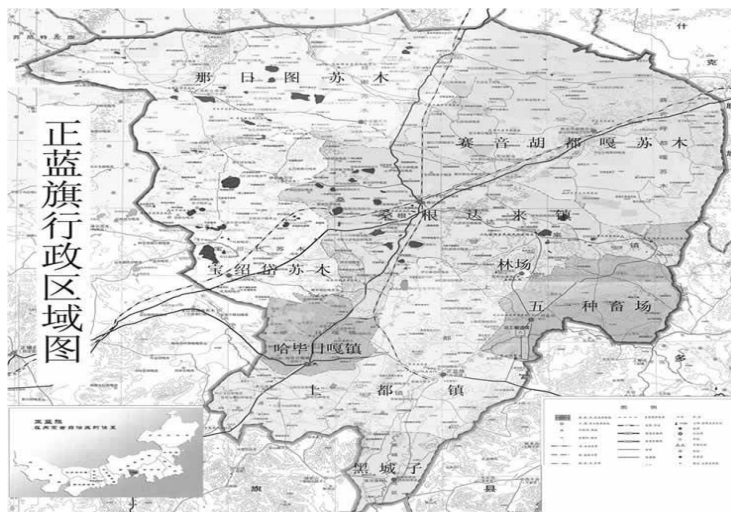
### 1、調査地域の概要

本研究の調査対象地は内モンゴル自治区シリングル盟チャハル地域である。正藍旗は内モンゴル・シリングル盟チャハル八旗のうちの一つであり、シリングル盟の東南部に位置し、北京から西に180Km離れており、海拔約1200m~1600m、年間降水量は平均360mm、最高気温は35.9度、最低気温は零下36.0度、年平均気温は1.5度である。総面積は10182Km<sup>2</sup>、そのうち草原と砂漠の比率は8対2である。総人口は約8万人、そのうち都市人口は2.92万人(33%)、牧畜民は5.28万人(67%)である。

正藍旗の地方政府は上都鎮にある。正藍旗の管轄に3鎮、8ソム、103ガチャー、1国営牧場がある。正藍旗はモンゴル帝国元の時代から皇家の乳製品を作っていたので、蒙元乳製品文化

の発祥地、チャハル民俗文化の代表である。現在では、伝統乳製品の加工史上独特な位置を占めており、中国「乳製品文化の故郷（チャガンイデ）」となっている。また、正藍旗の上都地域が2012年の7月に世界遺産に登録され、内モンゴルの唯一の世界遺産地域になっている。

図2 正藍旗の行政地図



（出典：百度图片搜索 - 锡林郭勒盟正蓝旗地图的搜索结果；URL, <http://image.baidu.com/i?ct=503316480>、2017年11月25日アクセス）

## 2、調査方法

現地調査は、2020年2月から12月まで中国内モンゴル自治区シリングル盟チャハル地域で実施した。調査方向には、（1）乳製品に関するアンケート調査、（2）乳製品店と工場からの聞き取り調査、（3）乳製品の種類調査の3種類があった。

### （1）乳製品に関するアンケート調査

正藍旗で現地の住民と牧畜民を対象者としてアンケート調査を実施した。インターネット調査を主に活用し、607人から有効回答を得た。アンケート内容は、日本酪農乳業協会が2012年から毎年実施している「牛乳・乳製品に関する食生活動向調査」を参考にした。ただし、一部の質問項目は内モンゴルの状況に適合するように改変した。

アンケート結果は統計ソフトで加工して、アンケート回答者の諸種の属性と回答内容との関連を分析するための作業を進めている。アンケート回答者の属性として、性別、民族、学歴、世帯収入、職業、婚姻状態、世帯人数などの指標を活用し、消費者の乳製品に関する購入頻度や購入量、利用頻度と増減、乳製品に関する意識や感覚の変化など、また酪農業をめぐる安全問題や話題について分析を行っている。

## (2) 乳製品店と工場からの聞き取り調査（メモ、写真、録音など）

正藍旗にある乳製品店と工場から聞き取り調査を行った。

調査地である正藍旗では現在、伝統的乳製品加工及び販売経営企業が 125 戸、そのなかで生産企業（長虹、西貝、蒙元都）は 3 戸、小規模な乳製品店が 61 戸であった。全旗で 20 年以上経営している企業が 7 戸、10 年～20 年ほど経営している企業が 19 戸、5 年から 10 年ほど経営しているのが 29 戸、5 年以内の経営が 70 戸であることから、近 5 年以内に調査地の乳製品の生産に携わる企業が急速に増加していることがわかる。乳製品産業の従業員は 1500 人、その中で国内乳製品加工資格を持っている人が 426 人であった。現在全旗の乳牛（ホルスタイン）総頭数は約 3493 頭、肉と乳兼用乳牛は約 15 万頭、生牛乳日生産量が約 15 トンであった。2019 年販売総額は 5892 万元、その中で販売年額が 100 万元を超えたのが 14 戸、50 万～100 万元は 15 戸、20 万～50 万元は 21 戸、20 万元以内が 75 戸であった。

## (3) 乳製品の種類調査

正藍旗乳製品の種類はホロート（チーズ）、ウルム、チョラ、ジョゲイ、シャル・トス、（バターオイル）、トウデ、ジョチゲイ、チーズ条、乳清糖、ミルクディー粉、乳酒など 20 以上の種類により構成されていた。その中で、ホロート、ウルム、チョラ、チーズ条などの商品は地方標準と国家標準を持ち、SC を申請できるようになった。全旗で乳製品商品マークを登録した乳製品店は 20 戸あり、ホロートとウルムが国家保護する商品になった。近年、チーズピーサ、乳清ドリンク、乳清糖類、チーズ糖、チーズケーキ、乳製料理などの新たな商品が度々出ている。乳製品販売価格は、ホロートが 25 元～40 元、ウルムが 20 元～50 元（一枚）、ジョゲイ 10 元（0.5kg）、シャル・トス 25 元～35 元（0.5kg）、干したホロートとチョラが 60 元～70 元（0.5kg）、チーズ条 20 元（0.5kg）、乳清糖 30 元（0.5kg）、トウデ 40 元（0.5kg）であった。乳製品の主な販売地域は、内モンゴル自治区では、呼和浩特、包头、鄂尔多斯、シリンホート、集宁、フルンボイル、通遼、兴安盟などの地域であった。内モンゴル自治区外、中国国内では、北京、天津、深圳、上海、広東、河北などの大都市が主体であった。内モンゴル自治区内消費量の方が多く、その中でも正藍旗内が最も多く、自分で食べるかお土産が主な消費となっていた。80%以上の乳製品が包装なく、または簡単な包装で販売されていた。商品のマーク、生産者の情報や専属包装がある商品は非常に少なかった。

## 乳製品に関するアンケート調査者と属性分析

アンケート調査の対象者とその属性について検討する。属性は、年齢、性別、民族、職業、学歴、世帯収入、婚姻状況と世帯人数に分類した。

図3 n = 607 (単位 : 人)

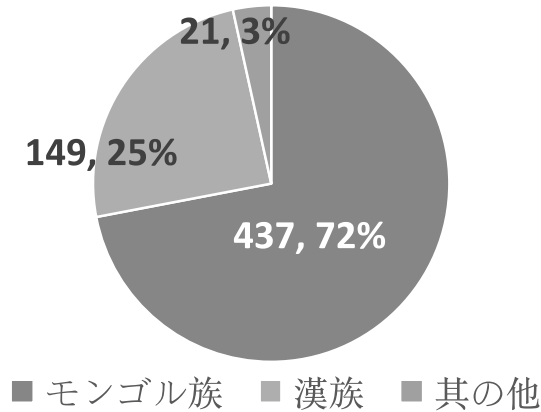


表1と図1から見るとように、今回の全回答者の比率を見ると607人の内、モンゴル族が437人であり、72%を占め、漢民族が149人で、25%を占めている。其の他が21人で3%を占めている。其の他の少数民族は、満州族、回族、朝鮮族、ダブール族、チベット族、とウイグル族である。

2010年の全旗正藍旗の総人口が81967人で、モンゴル族が全旗総人口の41.3%を占め、漢民族が56.57%を占め、その他の少数民族が2.13%を占めている。今回の調査では筆者がモンゴル人のためモンゴル族の回答者が非常に多かった。

表2 対象者の基本属性と乳製品の購入頻度のクロス表

	毎日	月1回	月2-3回	週1回	週2-3回	購入なし	合計
年齢							
10-20	12	5	3	5	8	7	40
	30.0%	12.5%	7.5%	12.5%	20.0%	17.5%	100.0%
	6.7%	6.3%	3.5%	5.3%	6.3%	17.5%	6.6%
	2.0%	0.8%	0.5%	0.8%	1.3%	1.2%	6.6%
20-30	51	36	37	38	44	14	220
	23.2%	16.4%	16.8%	17.3%	20.0%	6.4%	100.0%
	28.3%	45.0%	43.0%	40.0%	34.9%	35.0%	36.2%
	8.4%	5.9%	6.1%	6.3%	7.2%	2.3%	36.2%
30-40	29	14	15	16	33	5	112
	25.9%	12.5%	13.4%	14.3%	29.5%	4.5%	100.0%
	16.1%	17.5%	17.4%	16.8%	26.2%	12.5%	18.5%
	4.8%	2.3%	2.5%	2.6%	5.4%	0.6%	18.5%
40-50	42	7	15	15	22	8	109
	38.5%	6.4%	13.8%	13.8%	20.2%	7.3%	100.0%
	23.3%	8.8%	17.4%	15.8%	17.5%	20.0%	18.0%
	6.9%	1.2%	2.5%	2.5%	3.6%	1.3%	18.0%
50-60	26	13	12	16	11	2	80
	32.5%	16.3%	15.0%	20.0%	13.8%	2.5%	100.0%
	14.4%	16.3%	14.0%	16.8%	8.7%	5.0%	13.2%
	4.3%	2.1%	2.0%	2.6%	1.8%	0.3%	13.2%
60歳以上	20	5	4	5	8	4	46
	43.5%	10.9%	8.7%	10.9%	17.4%	8.7%	100.0%
	11.1%	6.3%	4.7%	5.3%	6.3%	10.0%	7.6%
	3.3%	0.8%	0.7%	0.8%	1.3%	0.7%	7.6%
合計	180	80	86	95	126	40	607
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%
性別							
男	88	32	30	38	61	20	269
	32.7%	11.9%	11.2%	14.1%	22.7%	7.4%	100.0%
	48.9%	40.0%	34.9%	40.0%	48.4%	50.0%	44.3%
	14.5%	5.3%	4.9%	6.3%	10.0%	3.3%	44.3%
女	92	48	56	57	65	20	338
	27.2%	14.2%	16.6%	16.9%	19.2%	5.9%	100.0%
	51.1%	60.0%	65.1%	60.0%	51.6%	50.0%	55.7%
	15.2%	7.9%	9.2%	9.4%	10.7%	3.3%	55.7%
合計	180	80	86	95	126	40	607
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%
民族							
モンゴル民族	147	57	62	63	86	22	437
	33.6%	13.0%	14.2%	14.4%	19.7%	5.0%	100.0%
	81.7%	71.3%	72.1%	66.3%	68.3%	55.0%	72.0%
	24.2%	9.4%	10.2%	10.4%	14.2%	3.6%	72.0%
漢民族	30	18	22	25	38	16	149
	20.1%	12.1%	14.8%	16.8%	25.5%	10.7%	100.0%
	16.7%	22.5%	25.6%	26.3%	30.2%	40.0%	24.5%
	4.9%	3.0%	3.6%	4.1%	6.3%	2.6%	24.5%
その他	3	5	2	7	2	2	21
	14.3%	23.8%	9.5%	33.3%	9.5%	9.5%	100.0%
	1.7%	6.3%	2.3%	7.4%	1.6%	5.0%	3.5%
	0.5%	0.8%	0.3%	1.2%	0.3%	0.3%	3.5%
合計	180	80	86	95	126	40	607
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%
職業							
公務員	37	24	32	28	29	3	153
	24.2%	15.7%	20.9%	18.3%	19.0%	2.0%	100.0%
	20.6%	30.0%	37.2%	29.5%	23.0%	7.5%	25.2%
	6.1%	4.0%	5.3%	4.6%	4.8%	0.5%	25.2%
会社員	21	12	16	17	18	5	89
	23.6%	13.5%	18.0%	19.1%	20.2%	5.6%	100.0%
	11.7%	15.0%	18.6%	17.9%	14.3%	12.5%	14.7%
	3.5%	2.0%	2.6%	2.8%	3.0%	0.8%	14.7%
牧畜民	39	6	5	10	19	8	87
	44.8%	6.9%	5.7%	11.5%	21.8%	9.2%	100.0%
	21.7%	7.5%	5.8%	10.5%	15.1%	20.0%	14.3%
	6.4%	1.0%	0.8%	1.6%	3.1%	1.3%	14.3%
自営業	24	5	9	10	21	3	72
	33.3%	6.9%	12.5%	13.9%	29.2%	4.2%	100.0%
	13.3%	6.3%	10.5%	10.5%	16.7%	7.5%	11.9%
	4.0%	0.8%	1.5%	1.6%	3.5%	0.5%	11.9%
その他	59	33	24	30	39	21	206
	28.6%	16.0%	11.7%	14.6%	18.9%	10.2%	100.0%
	32.8%	41.3%	27.9%	31.6%	31.0%	52.5%	33.9%
	9.7%	5.4%	4.0%	4.9%	6.4%	3.5%	33.9%
合計	180	80	86	95	126	40	607
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	29.7%	13.2%	14.2%	15.7%	20.8%	6.6%	100.0%

筆者の現地調査 (2020年2月~12月)

消費者の購入頻度に関する質問（あなたご自身は普段家族で食べるものを含めて、どれくらい乳製品を購入していますか）に対する回答の選択肢として、民族と性別に購入なし、毎日、月1回、月2-3回、週1回、週2-3回という六つを設定した。

表に見るように、回答者全体に占める多消費者の毎日購入する消費者（180人）が一番多く、少消費者の購入なし（40人）の消費者が一番少ないことから、消費者の購入頻度は概して高いと言える。乳製品専門店の人たちによると、近年からは漢民族の消費者が急増し、漢民族とモンゴル民族の比較はほぼ同じになっている。特に祝日と夏になると、漢族の購入が増加した。これは、自分で食べるだけではなく、モンゴル民族と同様に、親戚にお土産として贈る漢民族が増え、夏旅行季節にはとくに増えたため漢民族の消費者が増加したと考えられる。

回答者の年齢を10歳から60歳以上に6段階分類した。年齢から4段分析すると、まず、回答者の中で回答率が一番多いのが20~30歳の若者であり、220人が回答し、36.2%を占めている。理由が、第一に、彼らは大学卒業収入源があって購入する人。第二に、就職しても家族で住んでいる人が世帯用購入に頼まれている人。第三に、筆者が20代なので20歳~30歳の回答者が多い。次に、30歳~50歳の回答者である。彼らは生産人口の中心であり、乳製品を含む個人消費量も多い、買物は、個人用だけではなく世帯用に購入することも多い。時間と収入の面でも自由を保っている。そして、10~20歳の若者の回答数は一番少なく、607人のうちで40人が回答し、6.6%を占めている。彼らは大体の時間学校に通い、実際に自分で乳製品を購入する機会が少ない。主に購入するのが牛乳とヨーグルトだけなので、乳製品そのものに対する関心と理解が低い。最後に、60歳以上の回答者で、回答者数が46人で7.6%を占めている。60歳以上の回答者自分で働けないので安定した収入が少ない、あとは子供達が世帯用に購入してくれるのが多いので自分で購入する機会が少ない。そして今回の調査はネットで回答するので60歳以上の回答者がパソコンやスマホ使えない人が多い。今回のアンケート調査はインターネットを活用したため、若者の比率が全体的に多い。

性別の構成では女性回答者が338人で、55.7%を占めて、男性回答者が269人で、44.3%を占めている。回答者の女性の比率が男性より多いことをわかる。この性別の差には3つの理由があると考えられる。一つ目は、民族に関わらず乳製品の消費者が主に女性であるのが専業主婦や母親が多いからである。二つ目は、女性はダイエットや美容に役に立つ食品である。三つ目は、筆者が女性であるため、女性回答者が多いと考えられる。

民族別で見ると、モンゴル民族の20~30歳（の購入頻度が漢民族より多いのですか、30~50歳の漢民族の平均購入頻度がモンゴル民族を上回っている。民族別購入頻度の年齢構成からは、モンゴル民族は20~30歳、漢民族は30~50歳が主体となっている。消費者の様々な職業を正確わかりやすく分類するために、消費者の職業を公務員、会社員、牧畜民、自営業とその他などに分類した。

表から見るように、国家公務員は主に、総合管理類、専門技術や行政執法類などに分別する。

例えば、裁判所、検察院、公安局、財務局、税務局、環境保護局、国務院、県政府、省政府、司法建設、教育管理、外交の仕事や経済管理など各類職業。会社員は主に、一般的財務、人事専員、生産管理、品質保証、出納する、倉庫管理、購買する、事務員、研究開発、企画、エンジニア、環境安全エンジニアなどの色々な職業。牧畜民は主に、牧畜を飼育している人。自営業は自分でお店をレストランやっている人たちである。調査地では主に乳製品店、モンゴルレストラン、モンゴル伝統的日用品、牧場、観光スポットなどの職類である。また、その他には主に、学生、専業主婦、無職、カメラマン、歌手、インフルエンサー、内装、シッターから構成されている。以上の職業が調査地では主な職類である。

同表見るように、職業から購入頻度を見ると其の他の職業が(34%)、一番高いのですが、その他の職業の中ではいろんな職業があるため、次の公務員 (27%) の比率がもっと高いと考える。近年、社会・経済発展に伴って、モンゴル族の都市化が進み、職業も大きく変化が出ている。特に、若者たちが牧畜業を辞め、都市に移り、自営業や公務員を目指す人が徐々に増えている。特に、公務員が一番人気の職業となっている。



表3 対象者の基本属性と乳製品の購入量のクロス表

	0.5kg-2.5kg	0.5kg未満	10kg以上	2.5kg-5kg	5kg-10kg	合計
年齢						
10～20	15	10	3	6	6	40
	37.5%	25.0%	7.5%	15.0%	15.0%	100.0%
	5.0%	8.0%	6.8%	6.1%	15.0%	6.6%
	2.5%	1.6%	0.5%	1.0%	1.0%	6.6%
20～30	115	43	14	36	12	220
	52.3%	19.5%	6.4%	16.4%	5.5%	100.0%
	38.3%	34.4%	31.8%	36.7%	30.0%	36.2%
	18.9%	7.1%	2.3%	5.9%	2.0%	36.2%
30～40	47	22	10	24	9	112
	42.0%	19.6%	8.9%	21.4%	8.0%	100.0%
	15.7%	17.6%	22.7%	24.5%	22.5%	18.5%
	7.7%	3.6%	1.6%	4.0%	1.5%	18.5%
40～50	47	31	8	18	5	109
	43.1%	28.4%	7.3%	16.5%	4.6%	100.0%
	15.7%	24.8%	18.2%	18.4%	12.5%	18.0%
	7.7%	5.1%	1.3%	3.0%	0.8%	18.0%
50～60	51	12	5	8	4	80
	63.8%	15.0%	6.3%	10.0%	5.0%	100.0%
	17.0%	9.6%	11.4%	8.2%	10.0%	13.2%
	8.4%	2.0%	0.8%	1.3%	0.7%	13.2%
60歳以上	25	7	4	6	4	46
	54.3%	15.2%	8.7%	13.0%	8.7%	100.0%
	8.3%	5.6%	9.1%	6.1%	10.0%	7.6%
	4.1%	1.2%	0.7%	1.0%	0.7%	7.6%
合計	300	125	44	98	40	607
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%
性別						
男	127	61	23	43	15	269
	47.2%	22.7%	8.6%	16.0%	5.6%	100.0%
	42.3%	48.8%	52.3%	43.9%	37.5%	44.3%
	20.9%	10.0%	3.8%	7.1%	2.5%	44.3%
女	173	64	21	55	25	338
	51.2%	18.9%	6.2%	16.3%	7.4%	100.0%
	57.7%	51.2%	47.7%	56.1%	62.5%	55.7%
	28.5%	10.5%	3.5%	9.1%	4.1%	55.7%
合計	300	125	44	98	40	607
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%
民族						
モンゴル民族	241	84	21	70	21	437
	55.1%	19.2%	4.8%	16.0%	4.8%	100.0%
	80.3%	67.2%	47.7%	71.4%	52.5%	72.0%
	39.7%	13.8%	3.5%	11.5%	3.5%	72.0%
漢民族	54	32	22	24	17	149
	36.2%	21.5%	14.8%	16.1%	11.4%	100.0%
	18.0%	25.6%	50.0%	24.5%	42.5%	24.5%
	8.9%	5.3%	3.6%	4.0%	2.8%	24.5%
その他	5	9	1	4	2	21
	23.8%	42.9%	4.8%	19.0%	9.5%	100.0%
	1.7%	7.2%	2.3%	4.1%	5.0%	3.5%
	0.8%	1.5%	0.2%	0.7%	0.3%	3.5%
合計	300	125	44	98	40	607
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%
職業						
公務員	94	25	5	22	7	153
	61.4%	16.3%	3.3%	14.4%	4.6%	100.0%
	31.3%	20.0%	11.4%	22.4%	17.5%	25.2%
	15.5%	4.1%	0.8%	3.6%	1.2%	25.2%
会社員	34	16	12	20	7	89
	38.2%	18.0%	13.5%	22.5%	7.9%	100.0%
	11.3%	12.8%	27.3%	20.4%	17.5%	14.7%
	5.6%	2.6%	2.0%	3.3%	1.2%	14.7%
牧畜民	42	15	8	12	10	87
	48.3%	17.2%	9.2%	13.8%	11.5%	100.0%
	14.0%	12.0%	18.2%	12.2%	25.0%	14.3%
	6.9%	2.5%	1.3%	2.0%	1.6%	14.3%
自営業	39	19	5	8	1	72
	54.2%	26.4%	6.9%	11.1%	1.4%	100.0%
	13.0%	15.2%	11.4%	8.2%	2.5%	11.9%
	6.4%	3.1%	0.8%	1.3%	0.2%	11.9%
その他	91	50	14	36	15	206
	44.2%	24.3%	6.8%	17.5%	7.3%	100.0%
	30.3%	40.0%	31.8%	36.7%	37.5%	33.9%
	15.0%	8.2%	2.3%	5.9%	2.5%	33.9%
合計	300	125	44	98	40	607
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	49.4%	20.6%	7.2%	16.1%	6.6%	100.0%

筆者の現地調査 (2020年2月～12月)

表 3 は対象者の基本属性（年齢、性別、民族、職業）と乳製品の購入量の分析クロス表である。質問票では、乳製品の一回あたりの購入量を 0.5kg 未満、0.5kg-2.5kg、2.5kg-5kg、5kg-10kg と 10kg 以上の 5 グループに分類した。

購入量から見ると、乳製品の一回あたりの購入量は 0.5kg-2.5kg が最も多い。購入量が 5kg-10kg は一番少ない。乳製品の中では、牛乳やヨーグルトを外して、伝統的乳製品は添加物が入ってないため、保存期間が短い。伝統的な乳製品の種類たくさんあるが、乾燥していない、もしくは乾燥できない乳製品は冷蔵庫や冷凍庫に保存する必要があるため、消費者は乳製品を購入する際には購入量を把握して購入している。

購入量の年齢から見ると、購入量が一番高い 0.5kg~2.5kg グループでは、20-30 歳の若者の消費者が高く、10-20 歳の消費者が非常に少ないことをわかる。全体的に見ても、20-30 歳の消費者の比率が非常に高い。20-30 歳の農村戸籍の若者たちは、都市部に住んでいる人が多くなった。結婚も遅くなっている現在社会では、都市戸籍の 20-30 歳の若は両親と一緒に住む人も多いので、家族に頼まれ、世帯購入している。それに対して、10-20 歳の消費者の中では学生が多いため、学寮に住むし、収入の面でも、自由の面では他のグループより低い。

乳製品購入量の民族別で見ると、モンゴル民族の 20-30 歳の若い消費者がより高く 43.7%でモンゴル民族の消費者の半分ぐらいを占めている。漢民族の面では、漢民族の 30-50 歳の消費者が 49%で、漢民族の消費者の半分を占めている。それに対して、乳製品を一回あたりで 10kg 以上購入している漢民族もより多く、モンゴル民族の消費者を上回っている。特に、40-50 歳の一回あたりの購入量が高い。

性別では、女性の購入量が 338 人で、55.7%を占めて、男性購入量が 269 人で、44.3%を占めている。購入量の女性の比率が男性より多いことをわかる。

民族別で見ると、漢民族の男性の購入量がモンゴル民族の男性の購入量より高くなっている。モンゴル民族は昔しいから乳製品を生活の中で利用してきたが、現在、漢民族も乳製品についての意識が高くなり、平均消費量も段々増えてきた。以前と比較すれば、大きな変化が現在生じている。乳製品の一回あたりの購入量が 10kg 以上の漢民族がモンゴル民族より多い。

乳製品の購入量でも職業別に公務員、会社員、牧畜民、自営業とその他の 5 つに分類した。

表から見るように、一回あたりの購入量の高い順 0.5kg~2.5kg グループでは、購入量が一番高い職業が公務員であることをわかる。購入量が一番少ない 5kg~10kg グループからは牧畜民の一回あたりに購入量が多い。公務員は都市で生活しているので、一回で多めに購入しなくても便利なのでいつでも購入することができる。牧畜民は月三回ぐらいしか都市にはいけないので、乳製品だけではなくて、他の物でも多めに購入する。

職業からは、一回あたりの購入量が最多は公務員であり、最低には、自営業である。牧畜民の一回あたり購入量もより多いことを見える。牧畜民は自分で乳製品を作るのですか、最近購入する人も多し、購入量も多くなってきた。その理由は二つあると考える。一つ目は、環境問題

と関連している、砂漠化が進むと草が少なくなり、乳牛以外の牛は搾乳できない。二つ目は、現在牧畜して人たちが老人化し、労働力が足りなくなり、牧畜している少数の若者たちが搾乳とか乳製品を作れなくなっている。

表4 対象者の基本属性と乳製品の購入場所のクロス表

	酪農家	乳製品専門店	商店	スーパーマーケット	合計
年齢					
10-20	14	13	11	2	40
	35.0%	32.5%	27.5%	5.0%	100.0%
	6.1%	6.0%	13.1%	2.5%	6.6%
	2.3%	2.1%	1.8%	0.3%	6.6%
20-30	85	98	17	20	220
	38.6%	44.5%	7.7%	9.1%	100.0%
	37.3%	45.4%	20.2%	25.3%	36.2%
	14.0%	16.1%	2.8%	3.3%	36.2%
30-40	36	39	15	22	112
	32.1%	34.8%	13.4%	19.6%	100.0%
	15.8%	18.1%	17.9%	27.8%	18.5%
	5.9%	6.4%	2.5%	3.6%	18.5%
40-50	48	20	21	20	109
	44.0%	18.3%	19.3%	18.3%	100.0%
	21.1%	9.3%	9.3%	25.3%	18.0%
	7.9%	3.3%	3.5%	3.3%	18.0%
50-60	28	35	8	9	80
	35.0%	43.8%	10.0%	11.3%	100.0%
	12.3%	16.2%	9.5%	11.4%	13.2%
	4.6%	5.8%	1.3%	1.5%	13.2%
60歳以上	17	11	12	6	46
	37.0%	23.9%	26.1%	13.0%	100.0%
	7.5%	5.1%	14.3%	7.6%	7.6%
	2.8%	1.8%	2.0%	1.0%	7.6%
合計	228	216	84	79	607
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%
性別					
男	103	80	46	40	269
	38.3%	29.7%	17.1%	14.9%	100.0%
	45.2%	37.0%	54.8%	50.6%	44.3%
	17.0%	13.2%	7.6%	6.6%	44.3%
女	125	136	38	39	338
	37.0%	40.2%	11.2%	11.5%	100.0%
	54.8%	63.0%	45.2%	49.4%	55.7%
	20.6%	22.4%	6.3%	6.4%	55.7%
合計	228	216	84	79	607
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%
民族					
モンゴル民族	199	175	31	32	437
	45.5%	40.0%	7.1%	7.3%	100.0%
	87.3%	81.0%	36.9%	40.5%	72.0%
	32.8%	28.8%	5.1%	5.3%	72.0%
漢民族	25	34	50	40	149
	16.8%	22.8%	33.6%	26.8%	100.0%
	11.0%	15.7%	59.5%	50.6%	24.5%
	4.1%	5.6%	8.2%	6.6%	24.5%
その他	4	7	3	7	21
	19.0%	33.3%	14.3%	33.3%	100.0%
	1.8%	3.2%	3.6%	8.9%	3.5%
	0.7%	1.2%	0.5%	1.2%	3.5%
合計	228	216	84	79	607
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%
職業					
公務員	60	63	13	17	153
	39.2%	41.2%	8.5%	11.1%	100.0%
	26.3%	29.2%	15.5%	21.5%	25.2%
	9.9%	10.4%	2.1%	2.8%	25.2%
会社員	26	22	21	20	89
	29.2%	24.7%	23.6%	22.5%	100.0%
	11.4%	10.2%	25.0%	25.3%	14.7%
	4.3%	3.6%	3.5%	3.3%	14.7%
牧畜民	43	19	17	8	87
	49.4%	21.8%	19.5%	9.2%	100.0%
	18.9%	8.8%	20.2%	10.1%	14.3%
	7.1%	3.1%	2.8%	1.3%	14.3%
自営業	25	31	7	9	72
	34.7%	43.1%	9.7%	12.5%	100.0%
	11.0%	14.4%	8.3%	11.4%	11.9%
	4.1%	5.1%	1.2%	1.5%	11.9%
その他	74	81	26	25	206
	35.9%	39.3%	12.6%	12.1%	100.0%
	32.5%	37.5%	31.0%	31.6%	33.9%
	12.2%	13.3%	4.3%	4.1%	33.9%
合計	228	216	84	79	607
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	37.6%	35.6%	13.8%	13.0%	100.0%

筆者の現地調査（2020年2月～12月）

表 4 見るように、購入場所の中で人気のは酪農家と乳製品専門店であることがわかる。酪農家が 37%を占め、乳製品専門店が 36%占めてほぼ一緒。酪農家の乳製品製造は主に牧畜民であり、牧畜民たちが実家で作り、ウィーチャットや紹介で販売している。乳製品専門店の多くは、牧畜民が都市部に移住し、乳製品を製造し、乳製品専門店を営んで販売しているケースも多い。

酪農家や乳製品専門店を営んでいる彼らは牧畜民であるため、伝統的乳製品の製造に熟練しており、作られた乳製品の味も良いので、消費者から評価が高い。さらに、彼らが作られた伝統的な乳製品は無添加で製造し、安全性が高いから、地元の消費者たちには信頼を得ている。商店やスーパーマーケットから購入する商品は牛乳、日常的に食べるヨーグルトとミルクティーの粉などを主に購入している。

調査地である正藍旗では現在、伝統的乳製品加工及び販売経営企業が 125 戸、そのなかで生産企業（長虹、西貝、蒙元都）は 3 戸、小規模な乳製品店が 61 戸であった。

年齢では、多消費グループの酪農家から購入する 20～30 歳の若者数が多く、10～20 歳が一番少ない。多消費グループでも乳製品専門店から購入する 20～30 歳の消費者の方がより多い。でも、購入少ないのが 60 歳以上の購入者である。少消費グループの商店から多く購入するのが 40～50 歳の消費者で、スーパーマーケットから購入する消費者は 30～40 歳の人で、少消費グループでは一番少ないのが 10～20 歳の消費者である。

性別で見ると、酪農家や乳製品専門店から購入する女性消費者の比率が男性消費より高い、商店やスーパーマーケットから購入する男性消費の比率女性消費者より高いことがわかる。女性消費者は家族中では、家事や料理の中心であるから、普段日常生活に食べる乳製品を購入するのが多いと考えられる。

民族の面から見ると、モンゴル民族の購入場所が酪農家と乳製品専門店の方がより高いことをわかる。それと逆に、漢民族の購入場所が商店とスーパーマーケットの方が高い。酪農家と乳製品専門店がモンゴル民族の日常食品である伝統的な乳製品を主に販売しているから、モンゴル民族の消費者に人気があると考えられる。

購入場所の職業では、まず、多消費グループの公務員の消費者の比較が高い。次に、多消費グループの酪農家から購入する牧畜民消費者も公務員の次に入る。最後には、多消費グループの乳製品専門店から購入する自営業の消費者の比率も高い。前も論じたように、公務員は現地では一番人気の職業である。公務員の中ではモンゴル民族の公務員も大勢いるから多消費グループでは一番高い比率を占めている。酪農家は実家で乳製品を製造しているので、牧畜民の消費者が都市部に行かなくても近いところから購入できる。自営業の消費者は都市部に生活をしているため、乳製品専門店の方がより便利と考えられる。

購入場所の民族面では、多消費グループの酪農家や乳製品専門店から購入するモンゴル民族の消費者の比率が高い。逆に、漢民族の消費者が少消費グループの商店やスーパーマーケットから購入するのが多く、モンゴル民族の消費者を上回っている。

## 乳製品の生産加工と販売に存在する問題

現地調査の結果、調査対象地域の酪農業が直面している生産加工と流通・販売の主要な問題、課題として以下が指摘できる。

### (1) 生産加工に存在している問題

①伝統乳製品の80%以上が小規模で個人が経営している企業の製品なので、SC認証条件が備わっていないので、大型スーパーマーケットやネット販売には入れない。それが伝統的乳製品産業の発展に大きく抑制する要因になっていた。さらに、現在持っている地方標準では乳製品産業の発展需要を満たすことはできなかった。

②伝統的乳製品の加工発展が加速化していた。しかし、牛乳の供給量が需要に追い付かず、大きなギャップを生んでいた。また、牛の品種も乳役兼用種に移行していた。乳搾りの機械がいまだ少なく、搾乳労働力を手配するのが難しくなってきた。牧畜民は高齢化してきており、若者たちはこうした仕事を避けるようになっていた。この結果、牛乳の供給量が減少したのであった。

### (2) 販売に存在する問題

①商品の品質が安定しておらず、価額が混乱していた。また、消費の満足度が低かった。質の劣る牛乳で乳製品作る事例や外地の人が正藍旗の名義で質の悪い乳製品を販売する事例があり、伝統的乳製品の信頼性が損なわれていた。

②伝統的乳製品は商品になってまだ20年も経ってないので、国内の消費者が伝統的乳製品についての歴史や栄養価などについて理解していなかった。また、伝統的乳製品についての宣伝も足りなかった。

③伝統的乳製品の賞味期限が短く、冷蔵しないといけないのだが、統一した運送や販売パターンが確立できていなかった。

④伝統的乳製品を活用して飲食したり、料理を作るノウハウが普及していないために販路がなかなか拡大できずにいた。

⑤伝統的乳製品の伝統基準を改善し、現代社会に適応する品質に上げる必要と、内モンゴル自治区だけではなく全国の消費者向け（特に若者向け）の食べやすい乳製品を開発する必要があることを痛感した。

## 終わりに

本論文の乳製品アンケート調査分析では、まず、購入頻度では、毎日購入する消費者が多い。モンゴル民族の女性消費者が男性消費より高いですが、漢民族では、男性消費者の方が高い。次に、購入量では、1回あたり0.5kg-2.5kgまで購入する消費者が半分をしている。一回あたりの購入量が普通量(0.5kg-2.5kg)まで購入するモンゴル民族の消費者が多いのですが、一回あたりの購入量が10kg以上購入する漢民族の方が高い。最後に、購入場所では、乳製品専門店と酪農

家から購入する消費者の一番多い。しかし、スーパーマーケットや商店から購入する漢民族の数が多。

乳製品の種類が以前より多くなり、販売額は高くなり、販売地域も広がっている。そして、乳製品の生産加工と販売には、様々な問題が存在している。現時点で伝統的乳製品を食べっている消費者はモンゴル民族が多い。しかし、元々乳製品を食べる習慣がなかった漢民族がモンゴル民族の影響を受け乳製品購入が徐々に増えている。

(大東文化大学大学院・アジア地域研究科・アジア地域研究専攻・博士後期課程)

## 参考文献

- 那木拉 (2009)「牧畜民から世帯移民へ—内モンゴル・シリーンゴル盟を事例として」『人文社会学科研究』第 18 号千葉大学大学院人文社会学科研究 pp.111-128。
- 長命洋佑 (2011)「中国内モンゴル自治区における酪農生産の現状と課題」日本地域学会第 48 回 (2011 年) 年次大会、8-2、和歌山市。
- 長命洋佑 (2013)「中国の酪農生産構造における内モンゴルの特徴」河村能夫 (編著) 龍谷大学国際社会文化研究所叢書『経済成長のダイナミズムと地域格差—内モンゴル自治区の産業構造の変化と社会変動』第三章、晃洋書房、pp.40-55。
- 達古拉 (2007)『中国・内モンゴルにおける酪農振興による貧困対策』博士学位申請論文 新潟大学大学院自然学科研究科。
- 烏雲塔娜・福田普・森高正博 (2012)「メラミン問題を契機とした内モンゴルにおける生乳取引構造の変化」『農業市場研究』、第 20 巻第 4 号、pp.24-30。
- 小長谷有紀 (1992)「モンゴルの乳製品」『乳利用の民族誌』中央法規出版、pp.218-232。
- 梅棹忠夫 (1955)「モンゴルの乳製品とその製造法—乳を巡るモンゴルの生態 3」『ユーラシア学会研究報告』ユーラシア学会、pp.217-296。
- (出典：百度图片搜索-锡林郭勒盟正蓝旗地图的搜索结果、  
URL、[4http://image.baidu.com/i?ct=503316480](http://image.baidu.com/i?ct=503316480)、2017 年 11 月 25 日アクセス)





## ウラーンムチル芸術歌舞団の創新期における上演作品

—中国内モンゴル自治区赤峰市オンニュート旗を事例に—

T.アルタンバガナ

## 要旨

本稿の目的は、内モンゴル自治区におけるウラーンムチル (*Ulayan möcir*)<sup>1)</sup> 芸術歌舞団の実態を探り、創新期における上演作品の特徴を明らかにすることである。ウラーンムチルは1957年に創立された文学と芸術の宣伝団体である。当時は、内モンゴル自治区の主席であったウラーンフーの指導で作られたものであるが、既に64年の歳月が経過している。ウラーンムチルのこの発展については、草創期・文革期・回復期・改革期・創新期・繁栄期など6つの段階に分けることができる。本稿ではウラーンムチルのこうした発展の中から、創新期を中心に上演作品の特徴を解明したい。研究方法は、主にウラーンムチルの文献資料と聞き取り調査を利用する。

キーワード：ウラーンムチル、歌舞団、演目、文化館、社会主義社会、地域性

## 1. はじめに

ウラーンムチルとはモンゴル語で、ウラーンは赤い、ムチルは枝<sup>2)</sup>で、ウラーンムチルで「赤い枝」<sup>3)</sup>を意味する。赤色はモンゴル語で革命を象徴する。漢語では「紅色文化工作隊」という。紅色は革命を象徴し、文化工作隊とは文化の活動を行う団体を指す。ウラーンムチルはまた、「烏蘭牧騎 (*wu lan mu qi*)」とも表記する。烏蘭はウラーンの音訳であるのに対して、牧騎は「ムチル」の音を表すと同時に、「牧畜民」と「騎馬」の意味も含む。馬に乗って社会主義を实践する牧畜民というのが「烏蘭牧騎」の字義になろう。さらにウラーンムチルは馬や馬車、或いは徒歩



図1 内モンゴル自治区の行政区画図 (筆者作成)

<sup>1)</sup> モンゴルの「ウラーン」(赤い)は、人によっては「オラーン」、「ウラーン」などと表記されることもある。先行研究では、ウラーンムチルを「オラーンムチル」や「ウランムチ」と表記している。ウランムチは中国語の音読みである。本稿ではオラーンムチルや、ウランムチに対してウラーンムチルを使うようにした。ただし、先行研究を引用する場合は原文通り「オラーンムチル」や「ウランムチ」と表記し、オリジナルの意味を保持することにした。また、「赤い」と「紅い」については、日本語訳と借用語として使うときは「赤い」を使い、オリジナルの漢字を使う場合は「紅」を用いる。

<sup>2)</sup> ムチルについて漢語訳では新芽と表記されてきた(内モンゴル自治区文化庁編1997:80)。しかし、これは誤訳である。

<sup>3)</sup> これは毛澤東の『文芸講話』(1942)にもとづく。毛澤東はこの講話において、中国のプロレタリア革

で、少人数で行動する性質から「社会主義文芸軽騎兵」とも呼ばれている（シンジルト 2010 : 185）。

ウラーンムチルは内モンゴル自治区の旗・県における芸術歌舞団体である。中国には 5 つの自治区があるが、内モンゴル自治区での行政区画の名称は図 1 に示した通りである。モンゴル語では盟をアイマク (*aimag*)、旗をホシヨール(*qoshiyul*)、郷をソム(*sumu*)、村をガチャ (*yača*) と表記する。このモンゴル語表記<sup>4)</sup> は実際にも使われているが、ここでは便宜的に漢字 (中国語) 表記を用いる。

ウラーンムチルは、政府の政治宣伝の担い手でありながら、文化教育活動を行う役割を果たしている。ここでいう政治宣伝とは、中国の国家政策として政治のことを指す。内モンゴル自治区のレベルにおいては、内モンゴル自治区直属ウラーンムチルを含むモンゴル青年合唱団、京劇団などモンゴル族<sup>5)</sup> や漢族を中心に少なくとも 9 つの歌舞団<sup>6)</sup> があるが、これに対して旗・県のレベルではウラーンムチル以外のほかの国立芸術歌舞団体はほとんど存在しない。1980年代まで、ウラーンムチルは内モンゴル自治区の首府フフホト市以外のいくつかの都市にもおかれていたが、のちに都市の拡大や人口の増加によりウラーンムチルは民族歌舞劇院に、或いは盟・市歌舞団に変更され、その規模が大きくなっていった。

上述したようにウラーンムチルは名前とその意味からモンゴル族や漢族が作ったものと思われるが、それはソ連やモンゴル人民共和国、中華民国時代に創られた文化施設の影響を受けている。ソ連では、1920～1930年代に政治と文化教育を行うため、基層機関・工場・住宅地・団地内に農村文化館や紅角 (赤いコーナー)<sup>7)</sup> という文化や教育に関する施設が設けられていた (王編2000 : 172)。モンゴル人民共和国にも、モンゴル人民革命党のイデオロギーを普及するため「*Ulaanger*」(ウラーンゲル) が設けていた。ウラーンゲルは「赤いゲル」というモンゴル語であり、モンゴル・ゲルにおける文化施設である (Marsh2006 : 292)。当時、中国の共産党軍にも以上のような施設として文工団が設置されていた (松浦2000 : 41-42)。内モンゴル自治区では、

---

命事業を「大樹」と例え、文芸・文化工作はその中の一つの「小枝葉」であるとした (内モンゴル自治区文化庁編 1997 : 80)。

<sup>4)</sup> 本稿では、必要なモンゴル語の表記はモンゴル文字のラテン文字転写で表現する。

<sup>5)</sup> 本稿では、人を中国国内の民族分類に従い、漢族、モンゴル族というように族で表記する。但し、引用やインフォーマントの情報をそのまま使う場合は、族に限らず、人を使う場合がある。

<sup>6)</sup> 内モンゴルでは、歌舞団は内モンゴル文工団として、1946年4月1日に張家口で創設されている。1953年に内モンゴル歌舞劇院に、1956年に内モンゴル歌舞団に改名された。2000年に内モンゴル歌舞団をベースに内モンゴル民族歌舞団が誕生した (シンジルト 2010 : 190)。2014年に内モンゴル民族芸術劇院と改名され、管轄下に 9 つの歌舞団体を持つようになった。文工団とは、歌、ダンス、芝居など様々な手段で宣伝活動を行う総合的な文芸団体のことをいう (貴志 2000 : 241)。中国では文学と芸術の工作団体を略して文工団という。中国共産党には、政治宣伝の担い手として文工団が作られていた (松浦 2000)。

<sup>7)</sup> 『角』は工作する部屋を指し、『赤』はソ連の社会主義制度に関する革命性質的な文化教育活動を指す (王編訳 2000 : 212)。

ウラーンムチルは文化館をもとに創立された。しかし、文化館は旗の中心町にあり、固定された場所なので移動できない。ウラーンムチルは、小規模で移動性があり、かつ総合的な歌舞団として活躍した(T.アルタンバガナ2020)。ウラーンムチルの隊員<sup>8)</sup>は創立当時、約10人であったが、2010年から正式隊員が一般的に35人であることを定めている(達・他編2017:80)。

## 2. ウラーンムチルの時期区分と創新期以前の上演作品の特徴

### 2.1 時期区分

紅桂蘭(2019)はウラーンムチルの発展について4つの時期に区分している。紅は、1957年-1965年は草創期で、1966年-1976年は停止期(文革期)と言い、1977年-2001年は回復と改革期で、2002年-現在<sup>9)</sup>まではウラーンムチルのブランド化期と指摘した(紅2019:50)。だが、『ウラーンムチル-赤峰市60年図誌(烏蘭牧騎-赤峰市60年図志)』(2017)によれば、1957年-1976年まではウラーンムチルの草創期であるという。つまり、紅桂蘭の区分する草創期に、中国文化大革命期をプラスし、草創期とした。また、『ウラーンムチル-赤峰市60年図誌』では、1977年-1996年を区切りに発展期と言い、1997年-現在までは創新期<sup>10)</sup>と時期区分した(郭・周編2017:29-57)。以下は紅桂蘭と『ウラーンムチル-赤峰市60年図誌』の時期区分を参考に、内モンゴルにおけるウラーンムチルの発展とその社会背景を検討する。

1957-1965年はウラーンムチルの草創期で、毛澤東の時代である。ウラーンムチルは、中国の反右派闘争の真中である1957年に創立された。その翌年の1958年に、集団所有制として人民公社が設立した。また1958年から大躍進<sup>11)</sup>という政策が実施された。

1966-1976年はウラーンムチルの停止期で、毛澤東の時代とともに中国の文化大革命時期(以下は文革、文革期)である。文革中にあらゆる歌舞団が一時的に活動を停止したものが、のちに「毛澤東思想宣伝隊」として活躍した。

1977年-1989年はウラーンムチルの回復期である。この時期、1978年から鄧小平が権力を握り、改革開放政策を打ち出した。改革開放政策の路線により経済が急速に発展したことを讃えた。1976年に中国文化大革命が終結するとともに、文革期において批判されたものが徐々に回復した。文化活動が再組織され、破壊された文化事業も徐々に回復した。

1990-2001年はウラーンムチルの改革期である。1990年からなる江澤民の時代は社会主義市場経済や、「三つの代表」が主題になった。あらゆるものが市場化され、文化事業にも市場向けの改革が重要視された。ウラーンムチルは企業と連記し、改名して活動を続けたのである。例え

<sup>8)</sup> 本稿では、歌舞団の構成員を団員とし、ウラーンムチルの構成員を隊員とする。ウラーンムチルは中国語で「紅色文化工作隊」と言うからである。

<sup>9)</sup> 紅桂蘭が論文を書いた時期は2018年のことである。

<sup>10)</sup> 社会主義文化の強い国を作る政策により新たな作品が強調されたことをいう。

<sup>11)</sup> 「毛澤東は大躍進運動推進の一環として大々的な民歌・民謡の創作と収集を提案した」という(ミンガド2016:114)。

ば、内モンゴル自治区直属ウラーンムチルは水利部と連携し、「水利部ウラーンムチル芸術団」に改名した。

2001-2012 年はウラーンムチルの創新期である。2002 年に胡錦濤は中国共産党中央委員会総書記に抜擢され、翌年から国家主席になった。胡錦濤は科学的發展觀や和諧社会（調和社会）という政策を打ち出した。胡錦濤は、社会主義現代化を新たな段階に移すため、新農村、新牧畜地域の建設及び新型城鎮化建設<sup>12)</sup> を実現する政策が打ち出された（郭・周編 2017 : 46）。この時期は、『ウラーンムチル-赤峰市 60 年図誌』（2017）に基づけば、創新期に区分され、また、紅桂蘭の区分方法では、ウラーンムチルのブランド化時期に当たる。本稿は『ウラーンムチル-赤峰市 60 年図誌』に基づき、創新期を使う。創新とは、胡錦濤の実施した政策である新農村、新牧畜地域の建設及び新型城鎮化建設と並んで文芸に時代を反映した新たな作品を求めた用語である。

2013-現在はウラーンムチルの繁栄期である。2012 年末から第五世代の中国共産党中央委員会の総書記には習近平が抜擢され、翌年に中華人民共和国の主席になった。この時代は習近平の提唱する偉大なる「中国の夢」と「偉大なる中華民族の復興」を賛美する。具体的にはオンニュード旗ウラーンムチルの 2016 年の公演文芸プログラムでは「中国の夢を共築する」や、「復興に向かう」が主題になった。特に 2017 年、習近平がウラーンムチル創立 60 周年を機に手紙<sup>13)</sup> を送ったことがウラーンムチルのブームを招いた。この時期は、つまりウラーンムチルの繁栄期になろう。

## 2.2 創新期以前の上演作品の特徴

本稿は、ウラーンムチルのこれまでの時期区分から創新期における上演作品（演目）の特徴を分析する。従って、筆者は「千葉大学大学院人文公共学府研究プロジェクト報告書」である『環境変動下における先住民の文化芸術・継承活動とその変遷』（2020）及び『千葉大学ユーラシア言語文化論集』21 号において、草創期・文革期・回復期の上演作品を分析した。改革期の上演作品については、『千葉大学人文公共学研究論集』第 42 号で述べている。本稿はこれら論文の続編として述べる。

---

<sup>12)</sup> 農民・労働者（工業雇用者）に都市戸籍を与え、都市戸籍保有者と同等の教育や社会保障などの基本的な公的サービスを提供する政策を指す。

<sup>13)</sup> スノド右旗ウラーンムチルの隊員たちへ：あなた達の手紙からウラーンムチルの発展と党と人民に対する愛や事業に対する並々ならぬ熱心が伝わってきて、たいへんうれしく思う。ウラーンムチルは全国文芸戦線の旗印である。第一ウラーンムチルがあなた達の故郷に誕生して、60 年以来、ウラーンムチル隊員は、風雪をもともせず、寒暑をいとわず、長くゴビや草原を転々跋涉して、天をテントと為し、地を舞台と為し、広大なる農牧民たちに歓楽と文明をもたらし、党の声と配慮を伝えてきた。ウラーンムチルが絶えず明らかにしてきたことは、人民は芸術を必要とし、芸術もまた人民を必要とすることである。新たな時代、あなたたちに希望することは、党の十九大精神を手本に、ウラーンムチルの優秀な伝統を継承し、生活の土壤に根差し、牧畜民大衆に奉仕する。新たな文芸を創作し、地域に根差した文芸創作にさらに努め、継承に値する優秀な作品を作り、永遠に草原の「紅色文芸輕騎兵」たらんことである。 習近平（自署）2017 年 11 月 21 日

草創期では、上演作品について創立当時は、オリジナル作品がなかったことから、ほかの歌舞団の作品を模倣し、改変し、また多くの作品を導入していた。5年後には隊員が作品を制作するようになっている。さらに、上演作品は当時の政策を反映したもので、共産党革命、民族解放、社会主義思想、毛澤東崇拜、国防兵士、民族団結、大躍進政策、階級闘争など政策宣伝が重要視されていた。民族文化はむしろその目的のために利用されたといえるかもしれない。オンニュート旗という地域性はまったく無かった (T.アルタンバガナ 2020a)。

文革期では、ウラーンムチルの活動は2年ほど停止され、1968年に再開した。さらに、ウラーンムチルは一時的に「毛澤東思想の宣伝ステージ」(毛泽东思想宣传站)に変更され、専ら毛澤東の思想を宣伝していた。こうしたことから、ウラーンムチルには、演目の数や種類は少ない。また演目「収穫の踊り」、「子羊の出産踊り」以外のほとんどの演目は、政治イデオロギーを反映している (T.アルタンバガナ 2020b)。

回復期においては各種類の演目が注目され、演目の数が何倍も増えている。演目の種類として改革開放政策、模範人物、環境問題、牧畜技術、教育、自然、愛情をテーマにした様々なジャンルの演目が制作された。さらに、回復期では、モンゴル民歌(民謡)、オペラ、戯劇という演目の種類にモンゴルという修辭語を使い、モンゴル固有、民族固有の演目として特徴付けている (T.アルタンバガナ 2020b)。

改革期では、回復期を続いて、演目のジャンルが多い。共産党の事業や民族団結の演目、社会主義や国防兵士や労働者の革命精神を讃えた演目、模範的な人物及び教育事業を讃えた演目、ラブソング、医者、精神、環境問題、地域の特徴を表現した演目がメインになっている。改革期は、先行研究の指摘通り主にウラーンムチルの「管理運営」(紅 2019)に改革がみられるが、演目から明確な改革は見られない。「管理運営」の改革というのは、主にウラーンムチルは財政難問題を巡り、地域内外の大手企業と連携し、活動を維持したことを指摘していると考えられる。隊員たちを他地域に行かせ、他団体や企業と連携し公演を行っていた。つまり、ウラーンムチルの組織・制度における改革である (T.アルタンバガナ 2021 : 96-97)。

### 3. オンニュート旗ウラーンムチルの概要

#### 3.1 オンニュート旗の概要

赤峰市は内モンゴル東部地域に位置し、オンニュート旗は赤峰市の中央部に位置している(図2)。面積は11.88万km<sup>2</sup>である。オンニュート旗誌(地方誌)によると1953年における中国の第1回人口センサスでは全旗の人口は約19万人で、漢族が17.1万人と圧倒的に多く、約9割(89.88%)を占めていた。次いで多いのがモンゴル族で1.9万人、約1割(9.92%)を占めた。その他に、回族が221人で、朝鮮族が125人、満洲族が36人、チベット族が1人いた。

文革期における正確なデータはないが、文革期前の 1964 年の中国の第 2 回人口センサスでは、全旗の人口は約 27.6 万人で、第一回人口センサスより 8.6 万人増加している。その内訳は、漢族が 24.6 万人（90.05%）で、7.5 万人も増加している。モンゴル族人口は 2.7 万人（9.65%）で、8 千人増加している。他に、回族が 359 人、満洲族が 240 人、朝鮮族が 125 人、チワン族が 14 人とチベット族、ダウール族、シェ族が各 1 人である。

回復期における人口は、1982 年の中国の第 3 回人口センサスによるものである。この年、全旗の人口は約 40.2 万人である。第 3 回人口セ

ンサスには民族の内訳については記録がないが、その代わりに 1985 年の人口センサスでは民族内訳について詳細に記録されている。オンニュート旗における 1985 年の全旗の人口は 41.7 万人である。その内訳は漢族が 36.7 万人（87.88%）で、第 2 回人口センサスより 12.1 万人増加している。モンゴル族人口は 4.7 万人（11.31%）で、2 万人増加している。その中、満洲族が 2724 人（0.65%）、回族が 501 人（0.12%）、朝鮮族が 117 人、チワン族が 39 人、チベット族が 5 人、ミョウ族が 3 人である（翁牛特旗志編委員会編 1993 : 178）。

改革期の初期である 1990 年には、中国の第四回人口センサスが行われている。しかし、1993 年に出版されたオンニュート旗地方誌には、1990 年以降の人口統計について記録されていない。そのため、本稿では、1985 年の人口統計を参考にすることにした。以上のことから、オンニュート旗では以上の民族を対象にウラーンムチルが創立され、活動が行われていたと言える。

### 3.2 オンニュート旗ウラーンムチルの概要

オンニュート旗ウラーンムチルの創立当時の隊員はわずか 4 名で、隊長 1 人と隊員 3 人から構成されていた。隊長は包文儒、隊員は烏国政、宝音、英格であった（内蒙古自治区文化庁編 1997 : 83）。さらに、辛吉勒図、徳力根の 2 人がいたという記録もある（劉・張編 2012 : 55）。すべてモンゴル族であった。包文儒と烏国政は文化館出身である（劉・張編 2012 : 121、125）。そのほかの隊員も文化館出身である可能性はあるが、資料に掲載されておらず、不明である。オンニュート旗ウラーンムチルは人口のわずか 1 割にも満たないモンゴル族だけで結成されてい

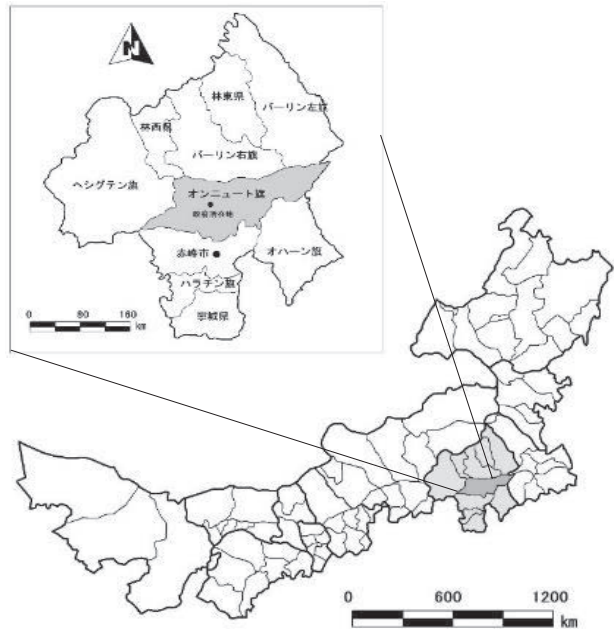


図2 調査地域の赤峰市  
オンニュート旗（筆者作成）

た。ウラーンムチル隊員の数は、文革期や回復期から徐々に増えていた。

設備は馬車1台、ガス灯1つ、幻灯機1つ、民族楽器4つ、12着以上の民族衣装であった。

使用楽器は四胡、二胡、低音胡<sup>14)</sup>、バイオリン、馬頭琴であった。

リハーサル室は約20m<sup>2</sup>の文化室を使用していた。

上演は馬車を利用し、旗内の各村を巡回上演する形で実施された。また他地域のウラーンムチルと連携し、中国中央宣伝部、文化部の指示に従って、中国全土を巡回して上演していた。

#### 4. 資料および実地調査について

近年、中国においてウラーンムチルの歴史資料（内蒙古自治区文化庁編1997；鳥編2002；達・朱編2007；劉・張編2012；達・朱・洪編2017など）やウラーンムチル隊員に関する回想録などが出版されるようになってきている（朱・吉編2018；王・刑編2018など）。

本稿はこれらの資料に依拠しているが、なかでも大きく依拠したのは『オンニュート旗ウラーンムチル誌（翁牛特旗烏蘭牧騎志）』（2012年）である。ウラーンムチルの演目については、最近のものはパンフレット化されており、入手することができるが、昔の演目に関するパンフレットはほとんど手に入らないため、『オンニュート旗ウラーンムチル誌』（2012）を参考とする。本誌はオンニュート旗ウラーンムチルの創立から2012年までの組織の構成、上演作品、上演活動、奉仕<sup>15)</sup>、隊員について中国語でまとめられたものであり、主編集者は劉増軍と張仲仁である。劉増軍はオンニュート旗の文化・体育・ラジオ局・テレビ局局長で、張仲仁はオンニュート旗地方誌事務局の元主任であり、両氏ともに漢族である。また副編集として、オンニュート旗の文化・体育・ラジオ局・テレビ局副局長の王立柱・倣特根・李想・趙国新の4人と文化・体育・ラジオ局・テレビ局における紀律検査委員の隊長董華、ウラーンムチルの元隊長である張成富が参加している。倣特根のみモンゴル族で、他はすべて漢族である。また、筆者はこの資料にもとづき、ウラーンムチル隊員や関係者に対し聞き取り調査<sup>16)</sup>を行っている。

#### 5. インフォーマント情報

本稿の演目の内容や制作者、演者について、5人のオンニュート旗ウラーンムチル隊員及びウラーンムチル定年退職者、内モンゴル民族芸術学院の団員に聞き取り調査を行った。個人のプライバシーを守る配慮からすべてのインフォーマントを匿名で表示する。インフォーマントについてインタビューした演目の順番に基づき、アルファベット順に並べる。民族について、モンゴル人の場合「モンゴル」と表記し、漢人の場合「漢」と示す。インフォーマントに確認した演

<sup>14)</sup> 構造は二胡と似ている。二胡より大きく、音色が小さくて柔らかい。

<sup>15)</sup> 牧畜民や農民を手伝い、労働することをいう。農村、遊牧地域に入り、遊牧民、農民に生活、生産サービスを行う。例えば、図書の代理販売、撮影、散髪などである（紅2013：172）。

<sup>16)</sup> 2018年9月にフィールド調査も行った。フィールド調査後、電話やSNSを通じても確認している。

目については、カッコの中で匿名と日付を入れる。

表1 創新期におけるインフォーマントの情報

名前	民族	生年	性別	元職	現職
A	モンゴル	1964	女性	オンニユート旗ウラーンムチル	文化局（文化館）
B	モンゴル	1963	女性	オンニユート旗ウラーンムチル	文化局（文化館）
C	モンゴル	1944	男性	内モンゴル歌舞団	内モンゴル民族芸術学院
D	モンゴル	1977	男性	—	オンニユート旗ウラーンムチル
E	モンゴル	1969	男性	—	オンニユート旗ウラーンムチル

出典：筆者作成

表1はインフォーマントの匿名、民族、生年、性別、元職、現職に関する情報である。ウラーンムチルの草創期の演目はほとんど文献資料に依拠し、説明しているが、文革期からはインフォーマントの聞き取り調査と文献資料も利用している。インフォーマントに確認した演目について、カッコの中で匿名と日付を入れ、この（A氏 2020.2.8）ように表示する。

## 6 創新期の上演作品

赤峰市文化新聞出版広電局編の『ウラーンムチル-赤峰市 60 年図誌』では、1997 年-現在までは創新期<sup>17)</sup>と時期区分した（郭・周編 2017：29-57）。本論では、2012 年以降、さらに詳細に分析するため、2002 年-2012 年を区切りに創新期とした。

表2は創新期における上演作品のリストである。

表2 創新期（2002 年～2012 年）の演目

年	種類	上演作品名	由来	制作（所属：民族）/導入元
02	ダンス	ジャスミン	オリジナル	振付：ハス図雅（隊員：モンゴル）
		天国	オリジナル	振付：ハス図雅
		緑の春	オリジナル	振付：ハス図雅
03	歌	忘れない貴方の微笑み	オリジナル	作詞：王玉民（？） 作曲：張成富
		一番可愛い人	オリジナル	作詞・作曲：張成富
	サックス演奏	ゴーイング・ホーム	導入	作曲：ケニー・G
		ダンス	モンゴル族の結婚式	オリジナル
	天使賛		オリジナル	振付：ハス図雅
	草原の春	オリジナル	振付：ハス図雅	
04	歌	辺境兵士を見る	オリジナル	オンニユート旗ウラーンムチル
		服を洗う	オリジナル	オンニユート旗ウラーンムチル
	ダンス	吉祥の草原	？	？

<sup>17)</sup> 社会主義文化の強い国を作る政策により新たな作品が強調されたことをいう。



05	歌	お祝い	?	?
		チンギス・ハーン	?	?
	馬頭琴曲	草原は北京と連なる	導入	作曲：チ・ボラグ (団員：モンゴル)
		初めて昇った太陽	導入	作曲：チ・ボラグ
	ダンス	草原を祝福する	オリジナル	振付：ハス図雅 ボラグ (隊員：モンゴル)
		キタイの狩人	オリジナル	振付：李玉珍 (隊員：漢) ハス図雅 作曲：宋滙林 (隊員：漢)
		鳳凰の踊りと龍の声	オリジナル	振付：ハス図雅 作曲：宋滙林
赤い刺繍の踊り		オリジナル	振付：斯琴巴特爾 (隊員：モンゴル)	
草原人民の挨拶		オリジナル	振付：李玉珍 ハス図雅	
扇子踊り	オリジナル	振付：李玉珍 ハス図雅		
06	ダンス	少女のカバン	オリジナル	振付：陳玉華 (文化館職員：漢) ハス図雅 作曲：宋滙林
		母乳を飲む歌	オリジナル	振付：ハス図雅 作曲：宋滙林
		横立ちの兄嫁	改変	振付：ハス図雅 作曲：宋滙林
		吉祥の三つの宝	改変	振付：ハス図雅 作詞：布林・バヤル (歌手：モンゴル) 作曲：布林・バヤル
		喜び祝う	オリジナル	振付：ハス図雅
		帰る	オリジナル	振付：ハス図雅 作曲：宋滙林
07	ダンス	マランホワー	オリジナル	振付：ハス図雅
08	ダンス	八匹馬の賛	オリジナル	振付：鮑青海 (隊員：モンゴル) 巴特爾 (隊員：モンゴル) 作曲：多建平 (?)
	歌	四渡の赤水に強い兵士がいる	導入	作詞：賀緑汀 (音楽家：漢) 作曲：賀緑汀
		内モンゴルを喝采する	導入	作詞：孫義勇 (会社員：漢) 作曲：張宏光 (院長：朝鮮)
09	ダンス	刺繍	オリジナル	振付：扎那 (内モンゴル歌舞団：モンゴル人) 作曲：宋滙林
10	歌	兄弟姉妹と一緒に暮らす	オリジナル	作詞：秦錦屏 (作家：漢) 作曲：烏恩 (隊員：モンゴル)
		大愛と大善の大中国	オリジナル	オンニユート旗ウラーンムチル
		満足だから楽しい	オリジナル	オンニユート旗ウラーンムチル
		美しい	オリジナル	作詞：色・烏日吉巴音 (教師：モンゴル) 作曲：烏恩 (隊員：モンゴル)

		私の根は草原にある	導入	作詞：催富（広東省作家協会：モンゴル） 作曲：趙金宝（団員：モンゴル）
	マジック	変身する人間	導入	パフォーマンス：徐国梁（赤峰市群衆芸術館：漢） 張燕（赤峰市群衆芸術館：漢）
		刀剣が通る身体	導入	パフォーマンス：同上
	ダンス	心の声	オリジナル	振付：巴特爾 作曲：岱欽（？：モンゴル）
		祈願	オリジナル	振付：ハス図雅 巴特爾 作曲：岱欽
11	歌	復興に向かう	導入	歌詞：李維福（教育部：漢） 作曲：印青（中共政治部歌舞団：漢）
	快板	タバコ製造者の心は共産党に向かう	導入	作詞；タバコ製造会社 指導：盧艷萍（隊員：漢） 卒武華（隊員：漢）
	ダンス	鷹（生命の歌）	改変	振付：ハス図雅、 巴特爾
		草原の娘	オリジナル	オンニユート旗ウラーンムチル
		太陽の頌	オリジナル	振付：ハス図雅
12	歌	オンニユートは私の可愛い故郷	オリジナル	作詞：張濤（退職者：漢） 郭秀英（退職者：漢） 作曲：張成富（隊員：漢）
		草原は我が美しい故郷	オリジナル	作詞：宝星（？） 作曲：張成富
		私の馬頭琴	オリジナル	作詞：白立平（団員：満洲） 作曲：烏恩
		遠方の親戚	？	？
		歌おう我が祖国	オリジナル	作詞：孫岫嶺（？：漢） 作曲：張成富
		龍の故郷の歌	オリジナル	作詞：高明朱（？） 張濤 作曲：張成富
	合奏曲	白塔	導入	作曲：岱欽
		黒い駿馬	導入	作曲：岱欽
	ダンス	お母さん、私が行くよ	改変	？
	馬頭琴曲	遠征	？	？

出典：『オンニユート旗ウラーンムチル誌』（2012）により、筆者作成

表 2 の項目は種類、上演作品名、由来、制作者／導入元からなる。演目の種類にはダンス、歌、サックス演奏、馬頭琴曲、マジック、快板、合奏曲などである。この時期、以前の時期と比べ、新たに増えた演目の種類は、サックス演奏、馬頭琴曲、マジック、快板と合奏曲である。サックス演奏はサックス楽器を演奏することを指す。馬頭琴曲は馬頭琴による演奏を指す。マジックはマジックをするパフォーマンス術を指す。

快板は、竹板を鳴らしながら語り謡う漢人の民間芸能である（愛知大学中日大辞典編集部 2010：981）。合奏曲は、さまざまな楽器の演奏である。

由来にはオリジナル、導入、改変、由来不明の4つがある。

## 6.1 創新期の各年の上演作品

### (1) 2002年の上演作品

2002年に記録された上演作品は3作品で、ダンス「ジャスミン」、「天国」、「緑の春」である。

ダンス「ジャスミン」は、江蘇省の民謡（民謡）「ジャスミン」をもとに作ったダンスである。人生と花を連想し、花咲く人生を描いたものである。民謡の制作者は不明である。ダンス「ジャスミン」の振付はオンニユート旗ウラーンムチルの隊員ハス図雅である。ハス図雅は1983年から2012年までオンニユート旗ウラーンムチルの隊員である。ハス図雅は回復期の1984年にダンス「延安を愛する」を振付している。

ダンス「天国」は、歌「天国（天堂）」に振付したダンスである。歌の作詞・作曲はモンゴル族の歌手テンゲル（騰格爾）である。歌は草原の美しさと静かな生活、羊の群れ、山水を賛美し、放牧する少女を描いた。同時に故郷への思いを描いた作品である。テンゲルは1960年生まれのモンゴル人男性で、音楽家であるとともに俳優である。1997年に歌「天国」を発表し、中国で有名になった。ダンスの振付は「ジャスミン」と同じ隊員ハス図雅である。

ダンス「緑の春」は草原の春の様子を讃えた作品である。春の緑と川の音が詩的で、人々に希望を与える目的で制作した作品であるという（A氏 2020.2.17）。振付は「ジャスミン」、「天国」と同じ隊員ハス図雅である。作曲は不明である。

### (2) 2003年の上演作品

2003年に記録された作品6作品で、歌「忘れない貴方の微笑み」、「一番可愛い人」とサクソ演奏「ゴーイング・ホーム」、ダンス「モンゴル族の結婚式」、「天使賛」、「草原の春」である。

歌「忘れない貴方の微笑み」は、医者や看護師を讃えた作品である。当時、中国ではサーズ（SARS）が流行していた。サーズの中、最前線で働いていた医療従事者を忘れないという歌である（B氏 2020.2.8）。作詞は王玉民で、作曲は張成富である。王玉民について所属と民族は不明である。張成富は漢族男性で、1971年～2012年までオンニユート旗ウラーンムチルに41年の経験を経た隊員である。

歌「一番可愛い人」もサーズで戦っていた医者や看護師を讃えた作品である（B氏 2020.2.8）。作詞と作曲は「忘れない貴方の微笑み」と同じく隊員張成富である。

サクソ「ゴーイング・ホーム」は、1990年にアメリカのサクソミュージシャンのケニー・Gが制作した曲で、ウラーンムチルは1980年の後半からこうした歌舞演目を積極的に取り入れている。この曲は中国全土に広まった曲で、特に長距離バスや鉄道など交通機関で流されていた。演奏者はウラーンムチルの隊員であるが、誰かは不明である。

ダンス「モンゴル族の結婚式」は、モンゴルの伝統結婚儀礼を基に制作された作品である（A氏 2020.2.17）。振付は「ジャスミン」、「天国」、「緑の春」と同じく隊員ハス図雅である。

ダンス「天使賛」は2003年のサーズで戦っていた医師のことを天使として讃えた踊りである（A氏 2020.2.17）。振付は「ジャスミン」、「天国」、「緑の春」、「モンゴル族の結婚式」と同じく隊員のハス図雅である。

ダンス「草原の春」は、草原に春が来て、雪が解け植物が繁茂し、花が咲き、動物や人間に喜びを与えたという内容である（A氏 2020.2.17）。振付は、「ジャスミン」、「天国」、「緑の春」、「モンゴル族の結婚式」、「天使賛」と同じく隊員ハス図雅である。

### (3) 2004年の上演作品

2004年に記録された演目は3作品で、歌「辺境兵士を見る」と「服を洗う」、ダンス「吉祥の草原」である。

歌「辺境兵士を見る」は、内容は不明である。タイトルから辺境地域にいる国防兵士の奉仕精神を讃えた作品であると考えられる。制作はオンニュート旗ウラーンムチルであるが、詳細は不明である。

歌「服を洗う」は、共産党の解放軍の功労を讃えた作品である。解放軍が人民にとって救い星であるとし、人民は感謝の気持ちを表すために兵士の服を洗っている。この歌は、「辺境兵士を見る」と共にウラーンムチルの元々からあった演目である（劉・張編 2012：88）。作詞と作曲は不明である。この二つの演目は1992年にも上演されている。

ダンス「吉祥の草原」は内容不明である。この作品はオンニュート旗が初めて「龍鳳の文化旅行祭」を行ったことを祝うために制作されたという（劉・張 2012：103）。制作者は不明である。

### (4) 2005年の上演作品

2005年に記録された演目は10作品で、歌「お祝い」、「チンギス・ハーン」、馬頭琴曲「草原は北京と連なる」、「初めて昇った太陽」、ダンス「草原を祝福する」、「キタイの狩人」、「鳳凰の踊りと龍の声」、「赤い紬の踊り」、「草原人民の挨拶」、「扇子踊り」である。

歌「お祝い」は、オンニュート地域の鉱山の開鉱を祝いして制作された作品である（B氏 2020.2.8）。制作者は不明である。

歌「チンギス・ハーン」は、内容不明である。タイトルからモンゴル帝国を築き上げた偉人チンギス・ハーンの実業を讃えた作品であると考えられる。制作者は不明である。

馬頭琴曲「草原は北京と連なる」は、モンゴル人は元朝時代に北京を大都とし、首都をおいていたことを讃えた作品である。この曲の作曲はチ・ボラグである。チ・ボラグは1944年生まれのモンゴル族男性で、1958年に内モンゴル実験劇団（のちに内モンゴル歌舞団に改名）に入り、現在は内モンゴル民族芸術劇院の副院長である。文革中の1968年に内モンゴル人民革命党や民族分裂主義者として刑務所に入られていた。この曲の由来は「私が文革中牢獄の中で制作した

作品である。モンゴル人は元朝時代から北京を大都とし、北京を離れとはしない。なぜ私を内モンゴル人民革命党とし、私が北京を裏切ったというのか」とC氏は語っている(C氏 2020.2.15)。チ・ボラグのこの曲をオンニュート旗ウラーンムチルが上演作品として導入した。演奏者は不明である。

馬頭琴曲「初めて昇った太陽」は、草原で朝一番に昇る太陽の静かで美しい動きを描いた作品である。この馬頭琴曲の作曲はチ・ボラグである。チ・ボラグが1970年代、文化大革命が終わる時、フルンボイル盟で制作した作品である。チ・ボラグがフルンボイル盟にいた時、ある日朝起きると、イミンという川に昇る太陽の赤い光に魅了されて嬉しく感動して即興で作曲した。C氏は「こうして昇る美しい太陽をこれまでどこでも見てない。私がこの曲を即興で作った。メロディーはブリヤートのある民謡の基にアレンジして制作した」という(C氏 2020.2.15)。この曲をオンニュート旗ウラーンムチルが導入した。演奏者は不明である。

ダンス「草原を祝福する」は、草原の安楽で穏やかな生活が永遠に続くことを祝福する内容であるという(A氏 2020.2.17)。振付はオンニュート旗ウラーンムチルの隊員ハス図雅とボラグである。ボラグはモンゴル族女性で1983年から2012年までオンニュート旗ウラーンムチルで隊員であった。

ダンス「キタイの狩人」は、1984年に制作したダンス「ホジャの狩猟曲」を改名したものである。ダンスの名を改名した理由は、当時このダンスを制作する際、古代のモンゴル人を対象にモンゴル人の狩猟技術を讃えるためであった。しかし、その後「ホジャの狩猟曲」の由来である狩猟技術はモンゴル帝国時代ではなく、キタイ人の遼朝(916~1125年)時代のものであったことが分かり、「ホジャの狩猟曲」を「キタイの狩人」と改名した(A氏 2020.7.13)。振付はオンニュート旗ウラーンムチルの隊員李玉珍とハス図雅で、作曲は宋滙林である。李玉珍は草創期でダンス「草打ち歌」「羊毛を刈る」を振付している。李玉珍とハス図雅は回復期からダンス「緑葉の情け」「運命」「出征」を協力し振り付けている。宋滙林は漢族で赤峰市バーリン右旗ウラーンムチルの隊員である。

ダンス「鳳凰の踊りと龍の声」は、オンニュート旗のシンボルの龍を讃えた作品である。オンニュート旗で紅山文化期にある龍の形の玉が発見された。そのため、オンニュート旗は龍をシンボルにしている(A氏 2020.2.17)。振付はオンニュート旗ウラーンムチルの隊員ハス図雅で、作曲はダンス「キタイの狩人」を作曲した宋滙林である。

ダンス「赤い刺繍の踊り」は、新年を迎える人々の喜びを讃えた作品である。「オンニュート旗は刺繍が有名で、刺繍に関する文化が根強い。私はこの演目以外に最近、もう一つの刺繍に関する踊りを振付している」とD氏は語った(D氏 2018.8)。振付は斯琴巴特爾である。斯琴巴特爾は、モンゴル族男性で、1995年からオンニュート旗ウラーンムチルで隊員として働いている。

ダンス「草原人民の挨拶」は、オンニュート旗を宣伝するため、観光客向けに制作した作品である。このダンスは大型広場舞踏として600人の学生が踊った(劉・張 2012:104)。大型広場舞踏の広場舞踏とは、中国で定年退職者を中心に広場で集まり、ダンスをすることをいう。大型

広場舞踏は、少なくとも数百人の参加者がある。このダンスの詳細内容は不明である。振付はオンニュート旗ウラーンムチルであるが、詳細は不明である。

ダンス「扇子踊り」は、踊り子は扇子を使い、雉や孔雀の姿を模倣し、自由自在な生活や収穫を象徴したものである（A氏 2020.7.13）。このダンスも大型広場舞踏として 600 人の学生が踊った（劉・張 2012 : 104）。振付はオンニュート旗ウラーンムチルであるが、詳細は不明である。

#### (5) 2006 年の上演作品

2006 年に記録された演目は 6 作品で、ダンス「少女のカバン」、「母乳を飲める歌」、「横立ちの兄嫁」、「吉祥の三つの宝」、「喜び祝う」、「帰る」である。

ダンス「少女のカバン」は、モンゴルの少女が作ったカバン (*Qabtayai*) が大変立派で数多くの青年男性を魅力したことを表現している。このカバンは誰でも持つと考え、争いを始めたところ、少女自らが自分の好きな青年に渡すという物語である（A氏 2020.2.17）。振付は陳玉華とハス図雅で、作曲はダンス「キタイの狩人」を作曲した宋滙林である。ハス図雅は 1997 年のダンス「香港の帰還」と「綺麗な故郷のオンニュート」及び「ジャスミン」、「天国」、「緑の春」、「モンゴル族の結婚式」を振付している。陳玉華は漢族でオンニュート旗文化館職員である。

ダンス「母乳を飲める歌」は、仔羊に乳をのませる歌を基に制作した作品で、モンゴル人の家畜を養う技術を讃えたものである（A氏 2020.2.10）。振付は前作品と同じくハス図雅で、作曲も前作品と同じく宋滙林である。

ダンス「横立ちの兄嫁」は、青年男女の恋愛物語である。具体的には、青年男性が恋愛相手の両親に結婚が反対され、結婚できなかった。女性は両親に強制的にお金持ちの男性と結婚させられた。女性と結婚できなかった青年が 2 人の結婚式に参加し、女性を両親の家から出られないように阻止したことが村人を感動させたという物語である。モンゴル結婚式における伝統文化に基づいて作ったものである（A氏 2020.2.10）。振付と作曲は、前作品と同じくハス図雅と宋滙林である。

ダンス「吉祥の三つの宝」は、歌「吉祥の三つの宝（吉祥三宝）」をもとに制作されたダンスである。歌の内容は自然を大切にすることと家族を大事することを表現したものである。歌の作詞と作曲はモンゴル族の歌手布林・バヤルである。布林・バヤル（1960-2018 年）は 2005 年に「吉祥三宝」を制作し、有名になった。ダンスの振付はハス図雅である。

ダンス「喜び祝う」は、1997 年に制作された作品である。当時、香港がイギリスから中国へ返還された。この年は、また内モンゴル自治区の成立 50 周年でもある。ウラーンムチルはこれを記念して「喜び祝う」を制作した（B氏 2020.2.8）。振付はハス図雅である。作曲は不明である。

ダンス「帰る」は、一人の牧畜民青年が都会で労働収入を稼ぎ、実家に戻ったストーリーに基づいて制作した作品である（A氏 2020.2.17）。振付はハス図雅で、作曲は宋滙林である。

#### (6) 2007 年の上演作品

2007 年に記録された演目は 1 作品のみで、ダンス「マランホワー」である。

「マランホワー」は、アヤメ科・アヤメ属のアイリスである。A 氏によると、この花は「私が小さいころ放牧していた時、草原の当たるところまで広がっていたものが現在はあまり見当たらない。環境問題と深く関わっているだろう。当時はこの花をみて力と喜びをもらっていた。この花は根が強い。水がないところでも咲いたりする。この花の性質から学ぶことが多い」と作品を制作した意図について語った (A 氏 2020.2.17)。ダンスの振付はハス図雅である。作曲は不明である。

#### (7) 2008 年の上演作品

2008 年に記録された演目は 3 作品で、ダンス「八匹馬の賛」と歌「四渡の赤水に強い兵士がいる」と「内モンゴルを喝采する」である。

ダンス「八匹馬の賛」は、漢人に人気な八匹馬の図案を基に制作された作品である。その内容は馬を讃えたものである (A 氏 2020.2.17)。振付は鮑青海と巴特爾である。鮑青海はモンゴル族男性で、1995 年から 1998 年まで、オンニュート旗ウラーンムチルの隊員である。鮑青海は、この時点でウラーンムチルを離れながら、ウラーンムチルの活動に携わっていた。巴特爾の全名称は斯琴巴特爾と言い、モンゴル族男性で、1995 年からオンニュート旗ウラーンムチルで隊員として働いている。作曲は多建平である。多建平について詳細は不明である。

歌「四渡の赤水に強い兵士がいる」は、紅軍 (中国解放軍) 賛歌である。その内容は、紅軍がさまざまな苦難を乗り越え長征することができたが、それは毛澤東の正しい指導によるものであると讃える作品である。長征とは 1934 年から 1936 年にかけて、中華ソビエト共和国の「首都」江西省瑞金から陝西省北部まで、紅軍が国民党軍と戦闘を交えながら 1 万 2500 キロメートル (2 万 5 千里という) を歩いて移動した遠征のことを指す。作詞と作曲は賀緑汀である。賀緑汀 (1903-1999 年) は音楽家で教育家である。上海音楽学院の院長や中国音楽協会の副主席などを歴任している。

歌「内モンゴルを喝采する」は、内モンゴルの発展を讃えた歌である。この歌では、新世紀における内モンゴルの発展は素晴らしいと讃え、各民族が団結し、内モンゴルを祝福するという共産党政策を讃えた歌である。この歌は、2002 年に制作され、2003 年の内モンゴル・テレビ局の新年会 (春節晚会) にて披露されている。作詞は孫義勇で作曲は張宏光である。孫義勇は漢族男性で作詞・作曲家として中国人民解放軍の総政治部文工団を経て、現在は北京の勇者善歌文化メディア会社で働いている。張宏光は朝鮮族の男性で、作曲家である。現在は北京電影学院の中国电影音楽研究院院長である。2 人の生年は不明である。

#### (8) 2009 年の上演作品

2009 年に記録された演目は 1 作品のみで、ダンス「刺繡」である。

ダンス「刺繍」は、オンニュート旗は、刺繍が有名なため、刺繍の技術を讃えたダンスである。複数の舞者が長いスカーフを持ち表現する（A氏 2020.2.17）。振付は扎那で、作曲はダンス「キタイの狩人」を作曲した宋滙林である。扎那は内モンゴル歌舞団の団員で、名前からモンゴル族と考えられるが、ほか詳細は不明である。

#### (9) 2010 年の上演作品

2010 に記録された演目は 9 作品で、歌「兄弟姉妹と一緒に暮らす」、「大愛と大善の大中国」、「満足だから楽しい」、「美しい」、「私の根は草原にある」、マジック「変身する人間」、「刀剣が通る身体」、ダンス「心の声」、「祈願」である。

歌「兄弟姉妹と一緒に暮らす」は災害支援の歌である。2010 年 4 月に青海省玉樹チベット自治州で地震が起こり、大きな災害をもたらした。歌の内容は被災者に対する文芸界からの慰めを描いたものである。その主旨は歌を通し、被災者を応援する気持ちである（劉・張 2012 : 43）。作詞は秦錦屏で、作曲は烏恩（呉恩・ウエン）である。秦錦屏は漢族の作家で、中国詩歌学会の理事である。烏恩は 1969 年生まれの本モンゴル族男性で、1987 年からオンニュート旗ウラーンムチルの隊員として参加し、2012 年にウラーンムチルの隊長になっている。

歌「大愛と大善の大中国」と「満足だから楽しい」は、モンゴルと漢民族の団結、中国の発展、人民の豊かな生活を讃えた作品である（劉・張 2012 : 114）。この 2 つの歌の制作者はオンニュート旗ウラーンムチルであるが、詳細は不明である。

歌「美しい」は、モンゴル少女の素朴な性格を描いた作品である。作詞は色・烏日吉巴音である。彼はモンゴル族男性で、オンニュート旗中学校のモンゴル語教師である。作詞者の色・烏日吉巴音がシリントウ盟で詩のコンクールに参加する際、車でモンゴル少女に迎えられ、その美しさと素朴な性格に魅了されて作詞した（劉・張 2012 : 43）。作曲は歌「兄弟姉妹と一緒に暮らす」作曲した烏恩である。

歌「私の根は草原にある」は、モンゴル人が故郷を懐かしく思い制作した作品である。歌詞はモンゴル人の根は草原にあり、どこに行っても草原が一番美しくて忘れられないことを描いている。作詞は催富で、作曲は趙金宝である。催富は 1952 年生まれの本モンゴル族男性で、出身は吉林省松原市（元郭爾羅斯モンゴル族自治州）である。モンゴル名はテムルバガナという。現在は広東省作家協会の会員である。趙金宝は 1962 年生まれの本モンゴル族男性で、郭爾羅斯歌舞団の副団長を務めている。

マジック「変身する人間」は、人間を木箱に入れて変身させるマジックである。このマジックは赤峰市群衆（大衆）芸術館の徐国梁と張燕の制作である。オンニュート旗ウラーンムチルは 2 人からこのマジックを導入し演じた（劉・張 2012 : 114）。徐国梁と張燕に関するほか詳細は不明である。演技者について不明である。

マジック「刀剣が通る身体」は、箱の中の人間を刀で切り離す演技である。このマジックは同様赤峰市群衆（大衆）芸術館の徐国梁と張燕の制作である。演技者について不明である。



ダンス「心の声」は、親子の感情を描いた作品で、生活が貧しく息子が出稼ぎに出かけることになり、親と会えなくて悲しく思う心を描写した作品である（A氏 2020.2.17）。振付は2008年のダンス「八匹馬の賛」を振付した巴特爾で、作曲は岱欽（ダイチン）である。岱欽はモンゴル族でシリンゴル盟出身の音楽制作者である（劉・張 2012 : 116）が、所属は不明である。

ダンス「祈願」は、牧畜民の生活や生業が順調であることをお祈り、将来的に健康で豊かになることを願って制作された作品である（A氏 2020.2.17）。振付はハス図雅と巴特爾で、作曲はダンス「心の声」を作曲した岱欽である。

#### (10) 2011 年の上演作品

2011年に記録された演目5作品で、歌「復興に向かう」、快板「タバコ製造者の心は共産党に向かう」、ダンス「鷹」、「草原の娘」、「太陽の頌」である。

歌「復興に向かう」は、中国の経済的かつ文化的な繁栄を讃えた作品である。この歌は中華人民共和国が成立60周年を祝って2009年に制作された。作詞は李維福で、作曲は印青である。李維福は漢族男性で深圳市出身である。現在は教育部の管理の下である『中国情報技術教育』雑誌社の社長を務めている。生年は不明である。印青は1954年生まれ、漢族男性で北京市の出身である。現在は中国共産党中央軍事委員会の政治工作部歌舞団の団長を務めている。

快板「タバコ製造者の心は共産党に向かう」は、煙草会社の社員が共産党に謝意を表すために制作された作品である。つまり、煙草会社が共産党のお陰で順調に経営されているという主旨の作品である（A氏 2020.2.17）。作詞はタバコ製造会社で、指導は盧艷萍と卒武華で、演者は不明である。タバコ製造会社とはオンニユート旗のタバコ製造会社を指す。盧艷萍と卒武華の2人は漢族女性で、2007年からオンニユート旗ウラーンムチルの隊員として働いている。

ダンス「鷹」は、2000年の舞劇「生命の歌」の別名である。舞劇「生命の歌」をダンスに改変した作品である（A氏 2020.2.17）。内容は草原の鷹を描いた作品で、このダンスでは、卵から生まれた小鷹が成鷹まで成長した過程を表現している。草原では鷹が多かったが、近年は環境が悪化し、鷹は少なくなっている。ひとえに環境の保護意識を高めるために作ったという。制作者は内モンゴル直屬ウラーンムチルであるが、詳細は不明である。振付はダンス「祈願」を振付したハス図雅と巴特爾である。

ダンス「草原の娘」は、オンニユート旗ウラーンムチルが制作した（劉・張 2012 : 118）が、内容は不明である。タイトルから草原の少女の勤勉さや優しさを讃えた作品であろう。具体的な制作者の詳細は不明である。

ダンス「太陽の頌」は、中国共産党を太陽と例えて讃えた作品である。この作品は中国共産党が建党90周年を祝うために制作された（A氏 2020.2.17）。中国共産党は1921年7月に組織された。2011年は中国共産党の建党90周年である。振付はハス図雅である。

(11) 2012年の上演作品

2012年に記録された演目は10作品で、歌「オンニユートは私の可愛い故郷」、「草原は我が美しい故郷」、「私の馬頭琴」、「遠方の親戚」、「歌おう我が祖国」、「龍の故郷の歌」、合奏曲「白塔」、「黒い駿馬」、ダンス「お母さん、私が行くよ」、馬頭琴曲「遠征」である。

歌「オンニユートは私の可愛い故郷」は、オンニユート地域を賛美した作品である。歌詞は、オンニユートは中華文明が発見された地域で、紅山文化が盛んだ地域であることと、山川が豊富で、响水の滝が有名であるという内容である。紅山文化とは、赤峰市のオンニユート地域で、1935年に紅山遺跡が発見され、考古学者により1954年に紅山文化と命名されたことに由来する。さらに1971年に大量のC型の龍の形に似た玉が発見され、中国の玉に関する彫刻文化発祥の地と認められた。歌の作詞は張涛と郭秀英で、作曲は張成富である。張涛と郭秀英は夫婦で、張涛はオンニユート旗文化館を定年退職し、郭秀英はオンニユート旗図書館を定年退職した。2人は漢族である。張成富は漢族男性で、1971年～2012年までオンニユート旗ウランムチルの隊員である。

歌「草原は我が美しい故郷」は、草原にある羊、モンゴル・ゲル、花、湖など自然環境に溢れた豊かさを讃えた作品である（A氏2020.2.17）。この歌の作詞は宝星で、作曲は歌「オンニユートは私の可愛い故郷」を作曲した張成富である。宝星について詳細は不明である。

歌「私の馬頭琴」は、馬頭琴はモンゴル人にとって本や道のように大切な存在であると褒め讃えた作品である。作詞は白立平で、作曲は烏恩である。白立平は1958年生まれの満洲族男性で、赤峰市民族歌舞団の副団長を務めている。

歌「遠方の親戚」は、遠いところに出かけた息子と娘が長い歳月を経て、親のことを懐かしく思い歌った歌である（A氏2020.2.17）。この歌の制作者の詳細は不明である。

ダンス「お母さん、私が行くよ」は、歌「遠方の親戚」を改変して制作された作品である（A氏2020.2.17）。ダンスの内容は、歌「遠方の親戚」と同じものである。制作者は不明である。

馬頭琴曲「遠征」の内容と制作者は不明である。

歌「歌おう我が祖国」の内容は不明である。タイトルから祖国の中国の繁栄を讃えた作品であると考えられる。作詞は孫岫嶺で、作曲は歌「オンニユートは私の可愛い故郷」と歌「草原は我が美しい故郷」を作曲した張成富である。孫岫嶺について詳細は不明である。

歌「龍の故郷の歌」は、オンニユート地域のシンボルである龍をもとに制作された作品である。オンニユート旗は龍の故郷である（E氏2020.2.17）。作詞は高明朱と歌「オンニユートは私の可愛い故郷」を作詞した張涛である。作曲は張成富である。高明朱について詳細不明である。

合奏曲「白塔」の内容は不明である。制作者はダンス「心の声」を作曲した岱欽である。

合奏曲「黒い駿馬」の内容は不明である。タイトルから馬を讃えた作品と考えられる。制作者は同じく岱欽である。

## 6.2 創新期の上演作品の総括

創新期におけるウラーンムチルの上演作品を以下の4つに着目して検討する。

### ① 上演作品数とその種類

資料から判明した作品は57作品である。その中では、ダンスが28作品、歌は20作品、馬頭琴曲が3作品、マジックが2作品、合奏曲が2作品、サクソ演奏が1作品、快板が1作品である。

上述の作品数と種類から創新期の作品は、回復期・改革期と同じように演目のジャンルが多様であることが分かる。この時期は、前期と比べ戯劇、ホルボー、話劇、評劇、オペラ、舞劇がなくなり、新たに馬頭琴曲、マジック、合奏曲、サクソ演奏が加わった。

### ② 上演作品の由来

上演作品の由来はオリジナルと導入と改変、及び由来不明の4種類がある。オリジナルには36作品があり、導入が12作品である。改変が4作品と由来不明は5作品である。

オリジナルはウラーンムチルの隊員が自ら積極的に作った作品である。草創期からあったものであるが、より活発に創作されている。オリジナル作品が60%を超えている。

導入では具体的に、2003年にサクソ演奏「ゴーイング・ホーム」を他国のアメリカから、2005年に内モンゴル歌舞劇団から馬頭琴曲「草原是北京と連なる」、「初めて上った太陽」を導入している。2008年の歌「四渡の赤水に強い兵士がいる」と「内モンゴルに喝采する」は漢人が制作した作品を導入したものである。2010年の歌「私の根は草原にある」はモンゴル族創作の歌で、ほかの歌舞団から導入している。2010年のマジック「変身する人間」、「刀剣が通る身体」は赤峰市群衆芸術館から導入している。2011年の歌「復興に向かう」は中国共産党中央軍事委員会の政治工作部歌舞団から導入し、快板「タバコ製造者の心は共産党に向かう」をオンニェート旗タバコ製造会社から導入した。2012年の合奏曲は「白塔」と「黒い駿馬」はシリントン盟音楽制作者から導入した。

改変した作品は元々あった作品のジャンルを変える、或いは内容を変えるものである。2006年のダンス「横立ちの兄嫁」はモンゴル民歌をダンスとしてアレンジした作品である。2006年のダンス「吉祥の三つの宝」は歌「吉祥の三つの宝」をダンスに改編した。2011年の「鷹」は2000年の舞劇「生命の歌」をダンスとして改編した。2012年のダンス「お母さん、私が行くよ」は歌「遠方の親戚」にダンスを付けたものである。

由来不明は制作者や導入元が不明の作品である。2004年のダンス「吉祥の草原」、2005年の歌「お祝い」と「チンギス・ハーン」及び2012年の歌「遠方の親戚」と馬頭琴曲「遠征する」である。

演目の導入や改変から、馬頭琴曲が多く導入されたことが分かった。またアメリカからサクソ演奏「ゴーイング・ホーム」が導入されたことはオンニェート旗ウラーンムチルにグローバ

ル化の影響が広がったことが見て取れる。

### ③ 上演作品の制作者

制作者について、振付、作詞、作曲、指導、パフォーマンスで分類する。

#### (1) 振付

振付はハ斯図雅、ボラグ、李玉珍、斯琴巴特爾、陳玉華、鮑青海、扎那の7人である。この中で、ハ斯図雅、ボラグ、李玉珍、斯琴巴特爾、鮑青海の5人はオンニュート旗ウラーンムチルの隊員である。

ハ斯図雅はモンゴル族で、ダンス「ジャスミン」、「天国」など17の作品に振付をしている。

ボラグはモンゴル族で、ダンス「草原を祝福する」をハ斯図雅と共に振付している。

李玉珍は漢族で、2005年のダンス「キタイの狩人」と「草原人民の挨拶」、「扇子踊り」の3作品をハ斯図雅とともに振付している。

斯琴巴特爾はモンゴル族で、2005年のダンス「赤い紬の踊り」を振付している。2008年のダンス「八匹馬の賛」、2010年のダンス「心の声」、「祈願」の4作品を鮑青海とハ斯図雅とともに振付している。

鮑青海はモンゴル族で、ダンスの「八匹馬の賛」をバ特爾と共に振付している。

陳玉華は文化館退職者の漢族で、2006年ダンス「少女のカバン」をハ斯図雅と共に振付している。

扎那は内モンゴル歌舞団の所属で、2009年のダンス「刺繍」を振付している。

#### (2) 作詞

作詞は王玉民、張成富、布林・バヤル、賀緑汀、孫義勇、秦錦屏、色・烏日吉巴音、催富、李維福、張涛、郭秀英、宝星、白立平、孫岫嶺、高明朱の15人と1つの機構としてタバコ製造会社がある。この中で、張成富だけがオンニュート旗ウラーンムチルの所属である。

王玉民は所属不明で、2003年の歌「忘れない貴方の微笑み」を作詞している。

張成富は漢族で、2003年の歌「一番可憐人」を作詞・作曲している。

布林・バヤルはモンゴル族の歌手で、2006年のダンスの歌である「吉祥の三つの宝」を作詞・作曲している。

賀緑汀は漢族の音楽家で、2008年の歌「四渡の赤水に強い兵士がいる」を作詞・作曲している。

孫義勇は漢族の会社員で、2008年の歌「内モンゴルに喝采する」を作詞している。

秦錦屏は漢族作家で、歌2010年の歌「兄弟姉妹と一緒に暮らす」を作詞している。

色・烏日吉巴音はオンニュート旗中学校の所属のモンゴル族で、2010年の歌「美しい」を作詞している。

催富はモンゴル族の作家で、2010年の歌「私の根は草原にある」を作詞している。

李維福は教育部の『中国情報技術教育』雑誌社所属の漢人で、2011年の歌「復興に向かう」を作詞している。

張涛はオンニユート旗文化館の定年退職者の漢族で、2012年の歌「オンニユートは私の可愛故郷」を郭秀英とともに作詞している。

郭秀英はオンニユート旗図書館の定年退職者の漢族で、2012年の歌「オンニユートは私の可愛故郷」を張涛とともに作詞している。

宝星は所属と民族は不明で、2012年の歌「草原は我が美しい故郷」を作詞している。

白立平は赤峰市民族歌舞団所属の満洲族で、2012年の歌「私の馬頭琴」を作詞している。

孫岫嶺は所属と民族は不明で、2012年の歌「歌う我が祖国」を作詞している。

高明朱は所属と民族は不明で、2012年の歌「龍の故郷の歌」を作詞している。

タバコ製造会社は、2011年の快板「タバコ製造者の心は共産党に向かう」を作詞している。

### (3) 作曲

作曲は張成富、ケニー・G、チ・ボラグ、宋滙林、布林・バヤル、多建平、賀緑汀、張宏光、烏恩、趙金宝、岱欽、印青の12人である。張成富と烏恩のみオンニユート旗ウラーンムチルの隊員である。

張成富は漢族で、歌「忘れない貴方の微笑み」、「一番可愛人」など5つの作品を作曲している。

烏恩はモンゴル族で、2010年の歌「兄弟姉妹と一緒に暮らす」と「美しい」の2作品を作曲している。

ケニー・Gはアメリカ人で、2003年のサクソ演奏「ゴーイング・ホーム」を作曲している。

チ・ボラグはモンゴル族で、2005年の馬頭琴曲の「草原是北京と連なる」と「初めて上った太陽」を作曲している。

宋滙林はバーリン右旗ウラーンムチルのモンゴル族隊員で、ダンス「キタイの狩人」や「鳳凰の踊りと龍の声」など6作品に作曲している。

布林・バヤルはモンゴル族の歌手で、2006年のダンスの歌である「吉祥の三つの宝」を作詞・作曲している。

多建平は所属と民族は不明で、2008年のダンス「八匹馬の賛」を作曲している。

賀緑汀は漢族の音楽家で、2008年の歌「四渡の赤水に強い兵士がいる」を作詞・作曲している。

張宏光は中国电影音楽研究院の所属の朝鮮族で、2008年の歌「内モンゴルに喝采する」を作曲している。

趙金宝は元郭爾羅斯歌舞団所属のモンゴル族で、2010年の歌「私の根は草原にある」を作曲している。

岱欽はモンゴル族の音楽制作者で、2010年のダンス「心の声」と「祈願」、及び2012年の合奏曲「白塔」と「黒い駿」の4作品を作曲している。

印青は中国共産党中央軍事委員会の政治工作部歌舞団所属の漢族で、2011年の歌「復興に向かう」を作曲している。

#### (4) 指導

指導は盧艷萍と卒武華の2人の漢人で、オンニュート旗ウラーンムチルの隊員である。2人はタバコ製造会社の作った快板「タバコ製造者の心は共産党に向かう」を指導している。

#### (5) パフォーマンス

パフォーマンスは徐国梁と張燕の漢族の2人で、赤峰市群衆芸術館の職員である。2010年のマジック「変身する活人」、「刀剣が通る身体」を創作し、パフォーマンスしている。

#### まとめ

創新期における上演作品の制作者と作品から、ウラーンムチルはオリジナル作品だけでなく、多くの人気作品を導入し、演じていたことが分かる。

#### ④ 上演作品のテーマとその変遷

上演作品の内容について、様々なテーマの作品が見られる。この時期は、政治性がない作品はほとんどである。例えば、2002年のダンス「ジャスミン」、「天国」、「緑の春」、2003年のサックス演奏「ゴーイング・ホーム」、ダンス「モンゴル族の結婚式」、「草原の春」、2005年の「チンギス・ハーン」、馬頭琴曲「初めて上った太陽」、ダンス「草原を祝福する」、「キタイの狩人」、「鳳凰の踊りと龍の声」、2006年のダンス「少女のカバン」、「母乳を飲み進める歌」、「吉祥の三つの宝」、2007年のダンス「マランホワー」、2008年のダンス「八匹馬の賛」、2009年のダンス「刺繍」、2010年の歌「美しい」、「私の根は草原にある」、マジック「変身する人間」、「刀剣が通る身体」、2012年の「草原は我が綺麗な故郷」、「私の馬頭琴」、合奏曲「白塔」、「黒い駿馬」、ダンス「お母さん、私が行くよ」である。以下はテーマごとに分類する。

共産党や兵士を讃えた作品として、2004年の歌「辺境兵士を見る」、「服を洗う」、2008年の歌「四渡の赤水に強い兵士がいる」、「内モンゴルに喝采する」、2011年の快板「タバコ製造者の心は共産党に向かう」と歌「太陽の頌」などがある。

社会主義社会とその政策、民族の団結を讃えた作品として、2010年の歌「兄弟姉妹と一緒に暮らす」、「大愛と大善の大中国」、2011年の歌「愛する中華」、「復興に向かう」、2012年の歌「歌おう我が祖国」などである。

続いて、政治性のない作品は以下である。

地域・故郷・草原を賛美した作品は、2002年のダンス「天国」、2004年のダンス「吉祥の草

原)、2005年のダンス「草原を祝福する」、ダンス「鳳凰の踊りと龍の声」、2009年の歌「私の根は草原にある」、2011年のダンス「草原の娘」、2012年の歌「オンニユートは私の可愛い故郷」、「龍の故郷の歌」である。

医者 of 事業を讃えた作品は、2003年の歌「一番可憐人」、ダンス「天使賛」である。

季節・植物・動物・大地・自然を讃えた作品は、2002年のダンス「緑の春」、2003年のダンス「草原の春」、2007年のダンス「マランホワー」、2010年の歌「美しい」、ダンス「鷹（生命の歌）」、2012年の歌「草原は我が綺麗な故郷」である。

家庭・親戚・生活を讃えた作品として、2003年のダンス「モンゴル族の結婚式」、2006年のダンス「吉祥の三つの宝」、2010年のダンス「心の声」、2012年の歌「遠方の親戚」、ダンス「お母さん、私が帰るよ」である。

モンゴル歴史や伝統・文化・技術・民俗を賛美した作品として2005年の歌「チンギス・ハーン」、馬頭琴曲「初めて上った太陽」、2006年のダンス「少女のカバン」、「母乳を飲み進める歌」、2009年ダンス「刺繍」、2012年の歌「私の馬頭琴」である。

家畜を讃えた作品は2008年のダンス「八匹馬の賛」と2012年の合奏曲「黒い駿馬」である。

グローバル化の影響を受け、2003年にサックス演奏「ゴーイング・ホーム」が導入されている。

全く新たな演目ジャンルとして2010年にマジック「変身する人間」、「刀剣が通る身体」が導入された。

ウラーンムチルの上演作品のテーマとその変遷から、創新期における演目の特徴は、草創期・文革期・回復期・改革期の継続であるとともに、地域の特徴プラスモンゴル人の伝統・文化・技術・家庭・生活を表現した作品を多く制作するようになったことが分かる。

## おわりに

上演作品については、演目の種類は増えている。馬頭琴演奏やサックス演奏のような楽器及びマジックなどの新たなプログラムが取り入れた。さらに、「チンギス・ハーン」や「キタイの狩人」など歴史人物や伝統文化の要素を積極的に取り入れている。まさしく、胡温の提唱する社会の各分野の「全面的」で、かつ「持続可能な発展」観によるものと考えられる。ウラーンムチルは胡錦濤の行ってきた政策を確実に実行している。また、サックス演奏「ゴーイング・ホーム」はアメリカのサックスミュージシャンのケニー・Gの作った曲であり、ウラーンムチルは1980年の後半からこうした作品を積極的に取り入れている。さらに、「綺麗な故郷オンニユート」、「オンニユートは私の可愛い故郷」というようにオンニユート旗の地域性を表現し、作品化している。モンゴル人の伝統・文化・歴史・民俗・技術を讃えた作品が注目される。

(千葉大学大学院・人文公共学府・博士後期課程)

## 参考文献

### 【日本語】

愛知大学中日大辞典編集所

2010『中日大辞典』（第三版）大修館書店

貴志俊彦

2013『東アジア流行歌アワー』岩波書店

紅桂蘭

2013「中国内モンゴル自治区における民族文化活動に関する考察—通遼市のウランムチを事例にして—」筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻『教育学論集』9,pp.155-175

2019「中国における少数民族文化活動に関する研究：モンゴル族にみる民族文化と国民統合」、筑波大学 12102 甲第 9102 号,pp.1-153

松浦恒雄

2000「宣伝の担い手—文工団とその役割」牧陽一,松浦恒雄,川田進編『中国のプロパガンダ芸術』岩波書店 pp.35-64

ミンガド・ボラグ

2016『「スーホの白い馬」の真実』風響社

シンジルト

2010「オランムチル現象に 見る内モンゴル・インパクト」小長谷有紀・川口幸大・長沼さやか編『中国における社会主義的近代化—宗教・消費・エスニシティ』勉誠出版 pp.185-217

T.アルタンバガナ

2020a「ウランムチル芸術歌舞団の草創期における上演作品—中国内モンゴル自治区赤峰市オンニュート旗の事例から—」児玉香菜子（編）『環境変動下における先住民の文化芸術・継承活動とその変遷』千葉大学大学院人文公共学府,pp.5-27

2020b「ウランムチル芸術歌舞団の文革期と回復期における上演作品—中国内モンゴル自治区赤峰市オンニュート旗の事例から—」千葉大学ユーラシア言語文化論講座、『ユーラシア言語文化論集』,第 22 号,pp.273-296

2021「ウランムチル芸術歌舞団の改革期における上演作品—中国内モンゴル自治区赤峰市オンニュート旗の事例から—」『人文公共学府研究論集』第 42 号,pp.83-98

### 【中国語】

達・阿拉坦巴干・朱嘉庚（編）

2007『民族文化品牌烏蘭牧騎贊』内モンゴル自治区烏蘭牧騎学会編集出版

達・阿拉坦巴干・朱嘉庚・洪涛編



- 2017『烏蘭牧騎發展史』內蒙古自治區藝術研究院  
郭玉峰・周金柱
- 2017『烏蘭牧騎-赤峰市60年圖志』赤峰市文化新聞出版廣播局  
劉增軍・張仲仁（編）
- 2012『翁牛特旗烏蘭牧騎志』內蒙古文化出版社  
內蒙古自治區文化庁（編）
- 1997『烏蘭牧騎之路-紀念烏蘭牧騎建立四十周年1957-1997』內蒙古人民出版社  
王慧琴・刑野（編）
- 2018『烏蘭牧騎精神』方志出版社  
王保士（編）
- 2000『前蘇連文化藝術辭典』長江文芸出版社  
翁牛特旗志編委員會（編）
- 1993『翁牛特旗志』內蒙古人民出版社  
烏國政（編）
- 2002『芸苑輕騎』內蒙古人民出版社  
夏立民（編訳）
- 1950『蘇連紅軍歌舞團』萬葉書店（原著：1939 Red army song and dance ensemble of the U.S.S.R.  
Moscow, Foreign Languages Pub. House）  
朱嘉庚・吉日嘎拉（編）
- 2018『烏蘭牧騎回想録』內蒙古人民出版社

### 【英語】

Peter K. Marsh

2006 Beyond the Soviet Houses of Culture: Rural Responses to Urban Cultural Policies in Contemporary Mongolia. In Ole Bruun and Li Narangoa (eds.) MONGOLS FROM COUNTRY TO CITY Floating Boundaries, Pastoralism and City Life in The Mongol lands Nordic Institute of Asian Studies Studies on Asian Topics. No.34. pp.290-304



## 蒙古東部占領期、都邑と居留民の研究(王爺廟)

池田 健雄

### 【要旨】

筆者は1930年代から1940年代を中心に日本が中国大陸に進出し、居留民社会研究を続けている。今回から満洲国期、東部蒙古の都邑と居留民の研究に着手した。その初稿として、1935年9月1日に日興安四省の中心であった興安南省公署が置かれた王爺廟を取り上げる。王爺廟は清末に喇嘛僧五六百人に達して、佛殿は宏壮であったが、1912年に兵火に罹り、蒙古の疲弊とともに廟の財政も困難に陥り、1920年から1925年にかけては9月と5月に廟会が開かれたが、参拝者は僅かに200~300人に過ぎず、開廟中の市も閑散していた。1935年を境に王爺廟はモンゴル東部の政治、文教の中心地となっていく。特に文教においてモンゴル族の中等教育機関が少なくとも12校があり、特筆される。日本人も1934年1月には705人であったが、1937年4月1日には1,095人と増加した。

キーワード：蒙古、興安南省、政治・文教の中心

### (1) 王爺廟の変遷概要

王爺廟(ワンギーン・スム)は1947年5月1日、内モンゴル自治政府が王爺廟で設立され、同年12月に現在の烏蘭浩特市に変更された。烏蘭浩特はモンゴル語で「赤色の城」を意味する。王爺廟は中国内モンゴル自治区(ヒンガン)盟に位置し、満洲国時代、興安南省の省都になった。

王爺廟は内モンゴル東部における中等教育の中心地であったばかりでなく、内モンゴル東部の政治的、文化的な中心地となっていた。王爺廟には1934年に興安陸軍軍官学校、1935年に興安学院、1937年に興安女子国民高等学校、1939年に育成学院国民高等学校、1940年に王爺廟学校などのモンゴル人向けの学校があった<sup>1</sup>。モンゴル人行政を掌握する統治機関が置かれていた為、同地域は当時の内モンゴル東部の中心地であった。

王爺廟は清末に喇嘛僧五六百人に達して、佛殿は宏壮であったが、1912年に兵火に罹り、蒙古の疲弊とともに廟の財政も困難に陥った。喇嘛僧は四散して、達喇嘛僧二人「トムチ」喇嘛僧は四人以下で全部の喇嘛僧は二百四十人に過ぎなかった<sup>2</sup>。1920年から1925年にかけては9月

<sup>1</sup> 娜荷芽「王爺廟におけるモンゴル人中等教育」—国立興安学院の事例を中心に—、2012年、1頁。

<sup>2</sup> 関東軍都督府民政部『満蒙調査復命書』3、関東軍都督府民政部、1916年、287頁。ここでは僅か60人となっていた。

15日と5月15日に廟会を開いたが、参拝者は僅かに200～300人に過ぎず、開廟中の市も閑散していた。王爺廟の財産は廟地として土地約二百方地を有し、可能耕地は八割に及ぶが、既墾地は僅か20～30%に過ぎず、家畜は牛700～800頭、馬は50～60頭、羊は凡そ3,000頭を有しており、葛根廟に比較すれば甚だ裕福であるといわれた<sup>3</sup>。

1935年9月1日、鄭家屯から王爺廟に興安南省の公署が移転された9月5日に付け組織では省長に博彦滿都、参興官に白浜晴澄、総務庁理事官に富凌阿、総務科事務官に小野豊和、経理科事務官に領嘉、民生庁地方科理事官に烏力圓、勸業科事務官に包尼雅巴斯爾、文教科事務官に額爾赫護、警務庁警正に甘珠爾札布、警務科警正に福原二一、保衛科事務官に達敖斯爾が任命された<sup>4</sup>。満洲国の人事方針で所属長は現地人を任命し、サポート陣には必ず日本人官吏が登用された。当時、王爺廟は西科前旗（原科爾沁右翼前旗）に属していた。西科前旗の総戸数は3,562戸、総人口は46,539人で、蒙古族は4,405戸の38,450人、漢満人が3,562戸の32,290人であった。旗長は拉哈 扎布、参事官代理に五十嵐浩太郎、属官に小西京太郎と宮城義広、主席警務指導官に太田義雄、総務科長に富格晋、内務科長に鵬蘇克がそれぞれ任命されていた<sup>5</sup>。

その後、1936年7月現在、西科前旗（王爺廟）でも満漢人で1,700戸、人口8,433人、次いで蒙古族で222戸、人口880人であった<sup>6</sup>。1939年8月には、蒙古族208戸、1,103人（男710人、女393人）、満漢族1,954戸、9,493人（男6,143人、女3,350人）<sup>7</sup>。1940年5月末になると、現地人は2,419戸、19,757人に増加した<sup>8</sup>。

- ・1936年12月には王爺廟火力発電所が完成している。発電容量は15万ワットを具えていた<sup>9</sup>。
- ・1938年10月17日に、満洲国の王侯が所有していた蒙地を満洲国に開放返還されることになった。これを「蒙地奉上」と称した。
- ・1939年5月28日、満洲国開放蒙地奉上を記念して、王爺廟に「財団法人蒙民厚生会」を設立。教育その他文化事業ならびに経済厚生事業、衛生並びに保護事業の各経営および助成を目的に<sup>10</sup>設立された。尚、理事長にはマニバトラ氏が就任した。

この蒙地奉 upperは興安四省及び省外蒙旗以外の解放蒙地において従来蒙旗が有した地理権の一切を奉上した。これにより、蒙租徴収（蒙租、漁利租、税捐、津貼その他）一切の租税が廃止された。蒙民の厚生と蒙族の開発を図るために蒙旗津貼（1939年以降毎年三百万円）が支給され

<sup>3</sup> 南満州鉄道『洮南満州里間調査報告書』南満州鉄道、1925年、50頁。

<sup>4</sup> 興安南省総務科『興安南省概覧』興安南省1935年、24頁。

<sup>5</sup> 同上、29頁。

<sup>6</sup> 満洲国治安部警務司『主要都市市街地人口戸数統計表』満洲国治安部警務司、1937年。

<sup>7</sup> 科爾沁右翼前旗公署「西科前旗事情」康德6年11月。

<sup>8</sup> 満洲事業案内所『満洲国地方誌』満洲事業案内所、1940年、530頁。

<sup>9</sup> 興安盟誌地方誌編纂委員会『興安盟誌』内蒙古文か出版社、1997年、27頁。

<sup>10</sup> 春日行雄『日本とモンゴルの一〇〇年』モンゴル会館、1993年、113頁。

た。政府は開放蒙地奉 upper を記念するため、蒙族に対し 50 万円を交付することとした。旧蒙古王公に対し、生計と体面を維持させるため、津貼(手当)を支給した。旗側が運営の万全を期すため、公益団体・蒙民厚生会を設立した。蒙民厚生会は康德 5 (1938) 年 5 月 12 日、500,600 円を基本財産として政府と地方自治体が出資して設立された。毎年 150 万円を政府が拠出することも確認された。本部を興安南省の王爺廟に置かれ、興安南省長が理事長に就任した。本部の外に新京そのたに支部を置いた。多くの事業を営み、(A) 教育文化方面では育生学院国民高等学校の経営、産業技術学院の経営、王爺廟蒙民習熟所、満洲里蒙民習熟所の経営を行った。また、蒙民裕生会との共同で蒙文翻訳館の経営を行った。補助事業として、蒙古実務学院の補助、哈爾濱蒙古学生宿泊所への補助、蒙文学会への補助、東亜育英会への補助、初等教育の奨励、貧国学生への学資補助、留学生への学資貸与を行い、蒙文普及事業の経営なども行った。(B) 産業方面では厚生牧場の経営に加えて、開墾の助成や羊実務訓練生への補助も行った。(C) 社会方面では助産士養成の経営、助産所の経営、健康優良児の表彰、貧民の救助や軍事救護・喇嘛補助など各方面に行っていた<sup>11</sup>。

1943 年 10 月には興安総署が設けられ、興安四省(南省、西省、東省、北省)を統括する興安総署公署が王爺廟に設置され、政治の中心地となった<sup>12</sup>。王爺廟は、清朝時代は仏教・喇嘛姜の中心地で都市機能はほとんど整備されていなかった。1920 年から 1925 年に年 2 回の廟会を開いたが、参拝者は僅かに 200~300 人に過ぎず、開廟中の市も閑散していた。その後、満洲国が成立すると王爺廟は興安南省公署が設置され、その後も興安総省の公署が設置され、蒙古族の政治の中心地となった。

## (2) 現地(王爺廟) 社会の教育・文化・商工業など

### 学校教育

#### 1. 満洲国の蒙古民族教育制度

1932 年の建国以来、蒙古人教育の制度を注力した結果、就学児童は驚異的に増加し、文盲者の多かったが刮目すべき効果を挙げつつあり、中等教育も信仰されてきた。特に興亜総省の中心である王爺廟は蒙古開発の指導者を養成する実務教育機関として興亜学院を設置し、その他分野でも中等教育機関を設立していた<sup>13</sup>。

<sup>11</sup> 帝国協和会調査部「興安蒙古」満洲事情案内所刊、1943 年、103~105 頁。

<sup>12</sup> 興安盟誌地方誌編纂委員会『興安盟誌』内蒙古文か出版社、1997 年、29 頁。

<sup>13</sup> 満洲日報社『満洲国年鑑 1945 年度』満洲日報社、1944 年、269 頁。

## 2. 現地の初等教育

1932年に蒙古族小学校が王爺廟に開校された。児童生徒は全校で120名であった<sup>14</sup>。満洲国政府は1936年より「日系教師全滿配置5か年計画」を実施し、「外地教員試験」に合格した者を採用し、国民優級学校の主事などを担当させていた<sup>15</sup>。

・西科前旗（王爺廟はその一部）の旗立小学校は全部で3校あり、教員は11名、8学級にて生徒は男280人、女28人の男子優先社会であった<sup>16</sup>。また、私塾小学校は18校あり、熟生が240人と報告されていた<sup>17</sup>。一方で、初等教育概況表には、官立3、私立1、塾18の22校で就学児童が671人おり、未就学児童が1,521人もおり、就学率は30%だったと報告していた<sup>18</sup>。興安南省全体では就学率が27%であり、西科前旗は多少高多かったと言えよう<sup>19</sup>。

## 3. 現地の中等教育機関

国立興安学院は1935年9月1日に王爺廟に開校され、10月に第1期生の学生50名が入学した。第1期の50名は所属する旗の推薦によって入学したが、第2期から推薦と入試の両方を行い、1936年の時点で100名の学生が在学してした。興安学院は1935年～1945年の閉校の10年間に約1,000名の募集し、450名ほどの卒業生を送り出した。興安学院の卒業生は優遇され、満洲国による中等教育は卒業生の就職先と結びついた。彼らは教師、実業者、行政職、大学進学と分けられ、進学先は南滿州医科大学、吉林師道大学、新京政法大学、ハルビン大学、建国大学、大同大学、吉林大学など優秀大学に、また、日本に留学した数は70～80名に上り、主な学校は第二高等学校、山口高等学校などであった。中国の中央政府機関および内モンゴル自治区の重要なホストに着いた<sup>20</sup>。興安学院には1942年1月現在、21名の教師が教鞭をとっていたが、その内、日本人教師が11名、モンゴル人教師が7名、漢人教師が2名の内訳であった。大学卒業生は12名、中高師範学校、教師養成所修了者7名などであった。1942年度の運営経費は129,492円で給与その他人件費が52,759円、事務所経費が76,733円となっていた<sup>21</sup>。

・興安開拓医学院は開拓国策遂行の基調として現地開拓衛生の完璧が要請されている関係上、医師供給の円滑化を図るために、現地開業医の短期講習に依る開拓医学院を王爺廟に開設した

<sup>14</sup> 興安盟誌地方誌編纂委員会『興安盟誌』内蒙古文か出版社、1997年、27頁。

<sup>15</sup> 満洲帝国協和会調査部「興安蒙古」満洲事情案内所刊、1943年、5～6頁。

<sup>16</sup> 興安南省総務科『興安南省概覧』興安南省1935年、114頁。

<sup>17</sup> 同上、116頁。

<sup>18</sup> 興安南省総務科『興安南省概覧』興安南省1935年、118頁。

<sup>19</sup> 同上、119頁。

<sup>20</sup> 娜荷芽「王爺廟におけるモンゴル中等教育」富士ゼロックス小林節太郎記念基金、2012年、3～4頁。

<sup>21</sup> 満洲国民生部編『満洲帝国教育概況』満洲国帝国教育会、1942年7月、35頁。

22. 基礎医学修了者を入学させ2年間臨床医学と実地を修得させるものであった<sup>23</sup>。

・興安女学院（後の興安女子国民高等学校）は1937年4月、通遼蒙古軍の金川耕作少佐の提案で興安女学院が通遼に設立され、教授に田中公子らを起用し、13名でスタートした<sup>24</sup>。1938年に興安南省に移管され、省立興安実業女学校となった。その後、1941年王爺廟に移転して興安女子国民高等学校となった<sup>25</sup>。女子教育の殿堂として強化され、日本にも女子留学生を出した。教授に堂本修らも加わり良妻賢母の教育を進められた<sup>26</sup>。

・育成学院国民高等学校は蒙民厚生会設立の私立学校で1940年に設立された。1941年には、3学級、生徒数145名を有していた<sup>27</sup>。

・満洲国軍興安陸軍軍官学校は1934年に1月に鄭家屯仮校舎にて1934年7月に開校し、1935年7月1日に正式に興安軍官学校として成立し、第1期生は72名が入学した<sup>28</sup>。王爺廟の本校舎落成と共に1938年8月1日移転した。1939年10月に陸軍興安学校に改称され、満洲国陸軍蒙古人部隊に服務する軍官、軍士を養成し、既成の軍官、軍需を招集して所要の教育を施す教育部と各部隊に普及かつ蒙古軍に必要な典範令、諸規則の編纂および軍事所學術の研究調査を行う研究部が増設された<sup>29</sup>。1945年8月9日、満洲国軍陸軍興安学校教導団の一部が反乱を起こし、日本人に犠牲者を出した<sup>30</sup>。日本人の日頃の蒙古人に対する態度に見かねて反乱を起こしたと言われている。

・興安医学院は1939年に誕生の王爺廟陸軍病院は1940年に興安医学院となり、陣容を整え、1941年には蒙系医師の養成を目的に開校されて、1学年30名、4年の修業年限であった<sup>31</sup>。同校は民生部直轄の国立学校であり、モンゴル地方で活動する医師を養成し、地域医療の中心拠点としてモンゴル地域の人々の健康を守り、健康意識を普及し高めることを旨とした。学費は不要、食費・寮費は学院が支給した。1942年2月、興安医学院官制規定にもとづき、石渡忠太郎が興安南省医院長兼興安医学院長に就任した<sup>32</sup>。当初、学習期間2か年として開校し。省立病院を附属病院として開校。学生は蒙古系。卒業後は蒙地限定の医師免許を与え、蒙古地方の医業に

---

<sup>22</sup> 満洲日報社『満洲年鑑』満洲日報社、1944年、263頁。

<sup>23</sup> 満洲通信社『満洲現勢』康徳9年度版、満洲通信社、1942年、513～514頁。

<sup>24</sup> 春日行雄『日本とモンゴルの一〇〇年』モンゴル会館、1993年、97頁。

<sup>25</sup> 山本一生「日本植民地教育史研究年報」第21号、皓星社、2020年9月、135頁。

<sup>26</sup> 蘭星興安会編集委員会『私達の興安回想』蘭星会、1999年、20頁。

<sup>27</sup> 満洲国興安局調査科『満洲帝国蒙政十年史』1942年、35頁。

<sup>28</sup> 善隣協会『蒙古大観』善隣協会、1838年、267～268頁。

<sup>29</sup> 同上、267頁。

<sup>30</sup> 春日行雄『日本とモンゴルの百年』モンゴル館、1993年、156頁。

<sup>31</sup> 白楊会『満洲国陸軍軍医学校』白楊会、1980年、170頁。

<sup>32</sup> 満洲通信社『満洲現勢』康徳9年度版、満洲通信社、1942年、258頁。

従事をさせた<sup>33</sup>。

・王爺廟師道学校は初級小学校への児童の入学率の向上とともに小学校児童数が増加し、教える教師を緊急に要請するために主要都市に師道学校が開設され、1930年代後半から、王爺廟に王爺廟師道学校も開校していた。蒙地奉上がきっかけに1939年に財団法人蒙民厚生会、財団法人蒙民裕生会が、1942年に財団法人蒙民振興会などの財団法人が設置され、満洲国におけるモンゴル文化教育関係の事業は財団法人として道を歩み始めた。

・蒙古系初等教員養成学校は1941年12月の調査では2学級、男子教員4名、学生100名であった。

・王爺廟育成学院は1940年に、蒙民厚生会康德7年度文化・教育事業の一環として設立された4年制の中等教育機関であり、蒙民厚生会から毎年約10万円の運営費交付金が交付された。同学院は、募集対象を国民優級学校卒業者か、貧困家庭出身者や経済的理由による中学校中退者に限定した。本格的な中等教育機関を目指した。募集範囲は、興安南、西、北、東4省と熱河省、錦州省で、興安学院と同じであった。蒙民厚生会による育成学院の赤レンガ校舎は、1939年に新築された。学校の敷地面積は4万5千平方メートルであった。その中に、教室8棟、学生寮<sup>m</sup>、図書室と理化実験室、教師事務室、教師宿舍、厨房倉庫などがあった。学校の敷地内には、大きな農業実験場、運動場が設置された。育成学院は1939年の秋に学生募集を行い、翌年にも30数名を追加募集した。学力診断試験を行い、試験結果をもとに新入生は1年次と2年次、二つのクラスに分けられた。1943年からは募集を拡大し、2つのクラスを設置した。

1940年の開校から1945年終戦による閉校まで、全部で7期生10クラス、500名あまりのモンゴル人、エヴェンキ人学生を募集した。2期から生徒の人数も増えて、同学院は、卒業生を順調に社会へ送り出した。同学院は、1944年までの約4年間に3期の卒業生を送り出した。この学院には前後約50名の教師が務めており、モンゴル人が24名、日本人が16名、漢人が8名いた。かれら教師の出身校は、京都帝国大学、早稲田大学、東京帝国大学、玉川学園、大阪外国語学校、北京師範大学、燕京大学、瀋陽農業大学、哈爾濱医科大学、吉林師範大学などの都会の有名大学であった。

育成学院の特色について、その卒業生は四つの特徴をあげている。(イ)学校運営の自主権を持つこと、(ロ)高給で質の高い教師を招いたこと、(ハ)在學生や卒業生たちの民族意識が高いこと、(ニ)学生自治会という自発的団体があって、学生たちは自己管理をしていた。ただし、興安学院と比較してみれば、第1点目を除き、教師の質の高さ、民族意識の高さ及び学生自治会の設立などは、両校の共通点でもあると言える。

教師の質の高さは、興安学院は育成学院と共通性をもつが、興安学院の教師は多くが日本人であるのに対して、育成学院はモンゴル人教師が大多数を占めていた。育成学院の運営費用は蒙民厚生会から支出され、学費は全額免除され、食費、寄宿舎料、教科書代などの無料化制度

<sup>33</sup> 春日行雄『日本とモンゴルの一〇〇年』 モンゴル会館、1993年、141頁。



が実施されていた。育成学院は、貧困層向けの新規募集を行っていたほか、中途入学できる編入制度を導入していた。中学校の中退者にも広く門戸を開いていた。育成学院は田舎の民衆の指導を開校の目的としていたため、人々により広く門戸を開いていた。先輩や親戚に憧れて、育成学院を志望した学生たちも少なくなかったと言われた。

- ・興安南省立巴彥塔拉国民高等学校は国民優級学校の卒業生を受け入れ、修業年限は4年で、6学級があった。また、科爾沁左翼中旗に農業科1学級もあった<sup>34</sup>。

- ・興安南省立巴彥塔農業高等学校は国民優級学校の卒業生を受け入れ、修業年限は3年で、2学級、康德9（1942）年に廃校となった<sup>35</sup>。

- ・西科中旗立西科中旗農業学校は国民優級学校の卒業生を受け入れ、修業年限は2年で、2学級で運営されていた。

- ・東科前旗立東科前旗農業学校は国民優級学校の卒業生徒を受け入れ、修業年限は2年で、2学級で運営されていた<sup>36</sup>。

- ・私立甘旗卡職業学校産業技術学校は国民優級学校の卒業生を受け入れ、修業年限は3年で、4学級で運営されていた<sup>37</sup>。

- ・その他の学校として次のような学校、訓練所があった。(1) 王爺廟地方範道学校 (2) 興安南省地方警察学校 (3) 興安南省地方職員訓練所 (4) 興安実業女学校などが開校していた。

- ・助産師学校は各地に設立された。興安4省の全てに助産所が設置された。興安南省だけでも7か所に設けられた<sup>38</sup>。

#### 4. 現地宗教

興安南省は蒙系指導者であるラマ僧に護国興法の神髄を徹底させようと、1942年3月11日～3日間、有力な活仏並びに大ラマを王爺廟に招致した。更に3月15日に国都・新京にも同行し、宮廷府、協和会、弘報処、民生部青旗社を16日に建国忠霊廟、満映、仏教各団体を視察した<sup>39</sup>。また、満洲国は喇嘛教工作の一環として1942年6月1日付で、西科前旗葛根廟に岩見暁観を喇嘛研究生として派遣し、研究並びに工作に当たらせた<sup>40</sup>。

---

<sup>34</sup> 満洲国民生部編『中卒程度以上各種教育施設一覧』満洲国民生部 1941年6月、27頁。

<sup>35</sup> 同上、37頁。

<sup>36</sup> 満洲国民生部編『中卒程度以上各種教育施設一覧』満洲国民生部 1941年6月、41頁。

<sup>37</sup> 満洲国民生部編『中卒程度以上各種教育施設一覧』満洲国民生部 1941年6月、47頁。

<sup>38</sup> 鉄鋼「満洲国興亜地域における医療衛生事業の展開」OUFC 大阪大学、2015年、118～119頁。

<sup>39</sup> 同上、127～128頁。

<sup>40</sup> 満洲帝国協和会調査部「興安蒙古」満洲事情案内所刊、1943年、200頁。

## 5. 医療衛生

・興安医院は、興安医学院の附属病院で、1943年12月19日に設立された。内科、外科、眼科、産婦人科が完備していた<sup>41</sup>。

・通遼軍政部病院王爺廟分院は1937年1月15日に開設された。（軍政部令第6号に依る）1937年軍政部が治安部と改称され、通遼治安部病院王爺廟分院となった<sup>42</sup>。1940年には王爺廟治安部病院となり、1940年10月1日発行の『軍医団雑誌』<sup>43</sup>36号には同病に落成式の記事が掲載された<sup>44</sup>。

## 6. 娯楽施設として現地娯楽映画館

王爺廟電影院（満洲電影総社：満映の子会社<sup>45</sup>）が王爺廟街に国友駒夫が経営していた<sup>46</sup>。現地人も日本人も娯楽映画は彼らにとっての息抜きであったようだ。

## 7. 官庁街として王爺廟

王爺廟の官公庁の諸機関が置かれていた。例えば、興安南公署、科爾沁右翼旗公署、警察署、税捐局、電話局、区検察局、郵政局、電報局、中銀支店、師道訓練所、国際運輸、官立王爺廟農事試験場などが置かれていた。

## 8. 現地に於ける商工業

1936年9月現在齊齊哈爾領事館と大阪市哈爾濱貿易調査所によれば、満人系の王爺廟商業公議会が存続していたが、日系は皆無であった<sup>47</sup>。

1937年の外務省通商局の調査によれば、王爺廟の現地酒造所には①福源湧焼鍋（王爺廟興徳街、代表・張秀生、従業員10名、高粱酒）②永興泉焼鍋（王爺廟南門外南、代表・王明趙、従業員6名、高粱酒）③公慶成（中旗第四区高力板、代表・張会卿、従業員50名、高粱酒）が代表的な工場として掲載された<sup>48</sup>。中国語の焼鍋は酒造に相当していた。

また、現地の大豆油、豆糟製造業には①永順興（王爺廟興徳街、代表・李介卿、従業員5名、大豆油、豆糟製造業）に加えて②同義昌（王爺廟興徳街、代表・李汗卿、従業員13名、大豆油、

<sup>41</sup> <http://www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/box5/vol17/tekkou.pdf>

2021年10月25日（閲覧）

<sup>42</sup> 白楊会『満洲国陸軍軍医学校』白楊会、1980年、32頁。

<sup>43</sup> 康德2（1935）年1月1日の創刊号から康德12（1945）年の第58号まで発刊した。

<sup>44</sup> 白楊会『満洲国陸軍軍医学校』白楊会、1980年、1144頁。

<sup>45</sup> 満映が直営館建設計画を更に強化する為に1941年11月に創設したのが、満洲電影総社である。1943年12月時点で32館が創設されていた。

<sup>46</sup> 日本映画協会『映画年鑑』日本映画協会、1943年、621頁。

<sup>47</sup> 大阪市産業部貿易課『海外商工人名録』大阪市産業部貿易課、1937年、197頁。

<sup>48</sup> 満鉄調査部資料課『満洲工場名簿』満鉄調査部資料課、1937年、203頁

豆糟製造業) が掲載されていた<sup>49</sup>。

## 9. 成吉思汗廟

1944年10月に成吉思汗廟の落成式典が挙行された。参加者は内蒙古東部地区各省、旗、県の蒙古像の軍事、政界各界代表に加え、新京、奉天、哈爾濱などの学校関係者や一般民衆を含めその数万人を数えた<sup>50</sup>。また、蒙古西部の“蒙古自治邦政府”から興蒙委員会委員長・松津旺楚克も参加していた。成吉思汗廟は王爺廟の北の山麓に建立された。この建造物の設計には今村三郎も参加した<sup>51</sup>。基本設計は伊克照盟境内の吉思汗廟を彷彿させる独特の民族の風格を具えていた<sup>52</sup>。

## 10. 小括

満洲国成立後、興安四省が設立されると、東部蒙古の政治都市となり、その後、洲国軍興安陸軍軍官学校が開校し、1935年7月1日に正式に興安軍官学校として成立しから、国立興安学院が1935年9月1日に王爺廟に開校された。更に女子今日にも力を入れ、興安女学院も1941年に王爺廟に移設され、文教都市へ大きく様変わりした。特に中等教育の充実は目を見張るものがあった。また、終戦間近に成吉思汗廟が王爺廟の北の山麓に建立されたのが記憶に残したい。産業的には目を見張るものがないが、地場産業として焼鍋と言われた醸造業が細々と営業を継続していた。

### (3) 日本人社会の教育・文化・商工業など

#### 1. 日本の人口推移

1934年1月現在、王爺廟に於ける内地人は男90名、女15名、朝鮮人が男400名、女200名であった。内地人系の料理店は6戸、宿屋2戸、酌婦20名であった。朝鮮人系の宿屋と料理店が各1戸あったに過ぎなかった。朝鮮人は500町歩の水田を耕作していた<sup>53</sup>。

1934年5月31日現在、日本国領事館警察王爺廟派遣所が増強され4名が配置された<sup>54</sup>。

<sup>49</sup> 満鉄調査部資料課『満洲工場名簿』満鉄調査部資料課、1937年、180頁

<sup>50</sup> 金海『日本在内蒙古殖民統治政策研究』社会科学文献出版社、2009年、265頁。

<sup>51</sup> 春日行雄編著『日本とモンゴルの百年』モンゴル館、1993年、55頁。

<sup>52</sup> 金海『日本在内蒙古殖民統治政策研究』社会科学文献出版社、2009年、265頁。

<sup>53</sup> アジア歴史資料センター：B14090374800：王爺廟領事警察派出所、在外帝国公館関係雑件、設置関係第三卷)。

<sup>54</sup> 同上：B1409078500；1934年5月31日現在。別表4に掲載された。

その後、1935年4月1日には、内地人 397 人、朝鮮人 536 人。計 933 人<sup>55</sup>と大幅に増加。

1937年4月1日には、内地人 516 人、朝鮮人 559 人となり、1,095 人となり<sup>56</sup>、その後は 1938年7月1日、内地人 624 人、朝鮮人 225 人、計 849 人<sup>57</sup>

1939年7月1日、内地人 703 人、朝鮮人 160 人、計 863 人<sup>58</sup>

1940年6月1日、内地人 703 人、朝鮮人 160 人、計 863 人<sup>59</sup>と 800 人台と横ばいで推移した。このように統計上の数字は 1937年4月に日本邦人人口が 1,000 名を超えた。

## 2. 教育・文化（学校教育）

王爺廟小学校は 1935年4月1日、興安南省科爾沁右翼後旗王爺廟に設立された。当時、日本領事館は白城子領事別館が管轄していた。白城子領事別館の管轄する小学校は王爺廟小学校の外に白城小学校洮と洮南小学校が存在していた<sup>60</sup>。

王爺廟小学校の経営は王爺廟内地人居留民会が当たっており、会長に福原二一氏が就任していた。同校は 1～6 年で 6 名、男 2、女 4 名の 2 学級で運営していた。校長は春田忠夫（長崎県師範学校卒）と教員は春田ミチ（大村実業教員養成学校卒）。校医は飯山真太郎。賦課金 4,416 円。外務省補助金 1,019 円、満鉄 3, 180 円。合計 8, 617 円の学校予算で運営していた<sup>61</sup>。1936年5月に鹿児島出身の園田親儀が訓導として赴任した<sup>62</sup>。

・興安南省公署は 1935 年発行の『興安南省概覧』の中で、王爺廟日本人小学校について、2 学級の教員 2 名、男子 4 名、女子 9 名の計 1 名と報告されていた。

・王爺廟小学校は 1936 年 1 月 14 日に在外指定学校に認可され<sup>63</sup>、1937 年 9 月 8 日に王爺廟尋常高等小学校と名称変更された<sup>64</sup>。1939 年には、3 学級体制となり、児童数が 82 名、教員 3 名、

<sup>55</sup> 同上；B02130547300：満洲国主要都市在留邦人統計表。

<sup>56</sup> 外務省東亜局 2 課『戦前期、満洲国及中華民億在留日本人人口概計表』復刻版、不二出版、2004 年、(昭和 12 年 4 月 1 日現在、21 頁)。

<sup>57</sup> 治安部警務司『主要都市市街地戸口統計表』治安部警務司、1938 年、80 頁。

<sup>58</sup> 満洲事業案内所『満洲国地方誌』満洲事業案内所、1940 年、681 頁。

<sup>59</sup> 満洲事業案内所『満洲国地方誌』満洲事業案内所、1940 年、530 頁。

<sup>60</sup> アジア歴史資料センター (JACAR) ;B04011719200、在外日本人学校教育資料雑件/ 学校調査関係 第二十九卷 29、白城子。

<sup>61</sup> アジア歴史資料センター (JACAR) ; B0401149750：在外日本人学校教育関係雑件、学校調査関係第二十一卷、272～8 頁。

<sup>62</sup> アジア歴史資料センター (ACAR) ; B04011843300：在外日本人学校教育関係雑件、在満の部、王爺廟国民学校。

<sup>63</sup> 興安南省総務科『興安南省概覧』興安南省 1935 年、118 頁。

<sup>64</sup> アジア歴史資料センター (JACAR) ; B0401149750：在外日本人学校教育関係雑件、第四卷、1 頁。

代用教員（漢語、裁縫）3名、校医1名、事務員1名、現地人小使1名と大幅に増加した<sup>65</sup>。

- ・王爺廟小学校は1937年11月より王爺廟日本尋常高等小学校と改編された<sup>66</sup>。
- ・満洲では学校教育にも映画鑑賞が行われており、中でも巡回映写会が小学校単位でも実施された。満映開発部は1939年度に実施した日本人学校を対象とした第3回小学校巡回映画報告書を作成した。1939年度の巡回映写に対する感想として、満洲里小学校、王爺廟小学校など6校は回数を増すごとに質的、量的に向上しており喜ばしいと回答をよせた。王爺廟など10校は上映回数を年5回に増加して欲しいと。文化映画に対して満洲里小学校など4校が内地紹介写真を希望していた。ニュースについて満洲里小学校、白城子小学校、王爺廟小学校など12校が最新のものを上映して欲しいと。録音の不明瞭な為、折角の教育的なものが破壊された感があると満洲里小学校など14校が感想を記述していた<sup>67</sup>。
- ・王爺廟は興安南省の省都であるために、日本学校組合連合会の省本部が王爺廟におかれ、協議会職員3名が勤務していた（書記1名、雇1名、雇人1名）。興安南省内の各地に5名が配置されていた<sup>68</sup>。
- ・1934年、朝鮮普通学校が3学級編成となっており、教員6名、男子43名、女子14名の計57名が通学していた<sup>69</sup>。

### 3. 宗教

興安（王爺廟）神社が1936年10月に建立された<sup>70</sup>。氏子は300人を数えた<sup>71</sup>。皇太神宮、明治神社からの賜りものを神体として、天照大神、と明治天皇が奉祀された。鎮座地は王爺廟西門外。例大祭が5月5日と10月1日に行われた<sup>72</sup>。

### 4. 邦人新聞（マスメディア）

1937年8月現在、邦人の2、3のものが本業の傍ら新京、大連方面邦字紙の委託により地方通信を行っているだけである<sup>73</sup>。1940年8月末に当王爺廟通信員は池田昌春氏が赴任していた。1941年8月には満洲国通信社の王爺廟支局（支局長：吉川正明）と満洲国通信社の王爺廟通信部（池

---

<sup>65</sup> アジア歴史資料センター(JACAR) ; B0401154760 : 在外日本人学校教育関係雑件、第十六巻、14頁。

<sup>66</sup> 官報、5268号、1937年11月22日。

<sup>67</sup> 十六ミリ映画教育普及会『教材映画』十六ミリ映画教育普及会、1940年6月、16～19頁。

<sup>68</sup> アジア歴史資料センター(JACAR) ; B0401154760 : 在外日本人学校教育関係雑件、第十六巻、4頁。

<sup>69</sup> 興安南省総務科『興安南省概覧』興安南省1935年、118頁。

<sup>70</sup> 満洲日報社『満洲年鑑康德12年度』満洲日報社、1944年、182頁。

アジア歴史資料センター(JACAR) ; B0401149750 : 本邦神社関係雑件第二巻。

<sup>71</sup> 東亜旅行社『満支旅行年鑑昭和17年度』東亜旅行社、1942年、122頁。

<sup>72</sup> 嵯峨井建『大陸大観』ゆまに書房、2005年。

<sup>73</sup> 外務省情報部『満洲国・支那における新聞』外務省情報部、1937年、31頁。

田昌春通信員)を康徳街に設けていた<sup>74</sup>。満洲国ラジオ放送局が王爺廟にも1945年6月1日に開設された<sup>75</sup>。

## 5. 王爺廟の日本人商工業者について

1936年7月現在：王爺廟における邦人商工業者は齊齊哈爾帝国領事館白城子分館及び大阪市哈爾濱貿易調査所調べによれば、次のようであった。◎食料品雑貨商：佐藤洋行、同和商店、高田商店、万増祥、万興祥の5店。◎文房具商：三栄洋行が掲載されていた<sup>76</sup>。

・外務省通商局によれば1937年の本邦実業者リストに①斎藤洋行(雑貨、佐藤政三郎、資本金3万円、年間売上高5.2万円、従業員：日本3名・現地3名)、②高田洋行(雑貨、高田助九郎、資本金0.8万円、年間売上高3.5万円、従業員；日本1名・現地1名・露1名)、高山組(土木・建築、片岡 精、資本金30万円、年間売上高22.3万円、従業員；日本8名・朝鮮20名・現地230名)と掲載されていた<sup>77</sup>。

(王爺廟の日本人、出身地の県人会)

1942年現在で、佐賀県と鳥取県の県人会が組織されていたが、人数などは不明である<sup>78</sup>。

## 6. 1945年5月の王爺廟の状況

人文地理学者の飯塚浩二は1945年5月に満蒙を旅しておりその一節に次のように書いていた。1945年5月5日、白城子を7時50分出発し10時に興安(王爺廟)到着した。葛根廟は興安駅の一つ北方の駅から僅か3キロにある。ここは緩やかな丘陵の斜面を占めて喇嘛僧廟がある。規模宏大、なかなか壮観である。興安駅に国通(満洲国通信社)興安支局長吉川氏が迎えに来てくれた<sup>79</sup>。一駅前の満蒙旅館に案内された。軍司令官が宿泊する一番良い部屋を予約したとのこと。畳表が満足なのはこの部屋だけ。午後に省公署の竹村参事官を訪問。建国大学出身のモンゴル系の官吏・ゴリロダイ君が通訳してくれる。索倫旗公署に連絡してくれた。彼は西洋式で結婚式あげ、自慢げに写真を見せてくれた。僕たちは文明式でやりましたと。彼は建国大学時代に、喇嘛僧教の信仰がモンゴルの無気力に陥れ、あらゆる進歩を阻害しているとの見地で、喇嘛廟を訪れ老僧と議論したという。喇嘛僧教の老僧に歯が立たなかった彼は、社会衛生の問題に逃げ込むことによって、一応話のケリをつけたという。1945年5月13日(日)の飯塚浩二は金澤特務機関長を訪問。満洲国通信社王爺廟支局・吉川正明支局長と同行した。金澤氏は満洲国内

<sup>74</sup> 満洲国通信社編『満洲国現勢』1941年9月、489頁。

<sup>75</sup> 長沢千代造『満洲国現勢』康徳9年度。満洲国通信社、1942年、487頁と489頁。

<sup>76</sup> 大阪市産業部貿易課『海外商工人名録』大阪市産業部貿易課、1937年、196～197頁。

<sup>77</sup> 外務省通商局『在外本邦実業者調(上巻)』外務通商局、1937年、121頁。

<sup>78</sup> 東亜旅行社『満支旅行年鑑昭和17年度』東亜旅行社、1942年、440頁。『大陸大観』ゆまに書房、2005年。

<sup>79</sup> 外務省情報部『満洲国・支那における新聞』外務省情報部、1937年、31頁。

で動乱が起こっても、邦人婦女子は興安地区で大丈夫引き受けますと言う。ちなみに金澤大佐はソ連軍の侵入を迎えて戦線に散ったということであった。

## 7. 満蒙開拓団とソ連軍侵攻

興安荏原開拓団は1944年に入植した品川区荏原町「武蔵小山商店街」を中心の開拓団もあった。戦争不況で商売が立ち行かなくなり、街ぐるみで満蒙開拓団を結成して、満州北部の興安南省王爺廟の西方で開拓を担っていた。このような例では現地中国人が開墾した農地や家屋をそのまま占拠し、中国農民を流離させて住むところを失わせ、中国農民を使役した。1945年8月17日のソ連軍侵入で開拓団は離散した<sup>80</sup>。満蒙開拓団は長野県や山形県など農業県の出身者だけでなく、大都会の東京からも全国で9番目の約1万人以上を送出していることが注目される。このソ連軍の殺戮事件は多くの残留孤児を生み出した。1995年～1996年にかけて東京荏原「開拓団」に関する現地中国人への調査が実施され、中国農民から見た日本の満蒙開拓について、詳しく資料が纏められた。その中に、中国人として育てられた陳秀英もいた。彼女は幼かったため、出生地や実の両親の名前をはっきり覚えていなかったが、1986年9月の第12次残留本人孤訪日調査団に参加した。しかし、日本での肉親関係者を見つけ出せなく、中国に残った。

1996年6月における残留日本人孤児の調査で興安盟（旧王爺廟）には男性21人、女性20人の41人が居た。また通遼には男性5人、女性3人の8人が。更に赤峰には男女各2名の4人が分布した。

ソ連軍侵入で家族が離れ離れとなり、中国残留日本人孤児が多く取り残された。日中国交回復後に、社会問題となり、厚生省に専任部局が置かれ、孤児およびその子女が日本に帰国した。日本で小説や英語でも取り上げられ、有名になったのは山崎豊子の「大地の子」がある。中国では内モンゴルを舞台にした烏雲さんを主人公にした「大草原に還える」が挙げられよう。

王爺廟南東40キロの葛根廟附近で1945年8月11日～14日に掛けて、ソ連軍の侵攻に依り戦闘が繰り返され、約1,200名の内約1,000名が死亡すると労しい事件が発生した。

1945年8月11日～14日に掛けて約1,200名の内約1,000名が死亡した事件であった。1945年8月14日、満州の興安街（現中国内モンゴル自治区）在住の日本人避難者約1300人が、葛根廟（かつこんびょう）という喇嘛僧寺院の麓でソ連軍の攻撃を受け1000人以上が亡くなった<sup>81</sup>。葛根廟事件と呼ばれる終戦時の殺戮事件について、犠牲者の70回忌にあわせて、『葛根廟事件の証言 草原の惨劇・平和への祈り』（新風書房）が2015年7月に発行された。この本の製作に携わった、事件の生還者の大島満吉・興安街命日会代表、元興安街在住の藤原作弥氏（日本記者クラブ会員）や岡部滋氏が会見し、当時の悲惨な状況などについて語った。

---

<sup>81</sup> アジア歴史資料センター（JACAR）C1501000453100 葛根廟(王爺廟南東40キロ)附近の戦闘。

## 8. 旅行ガイドブックに掲載された王爺廟

- ・1929年発行の『南満州鉄道旅行案内』に初めて、興安が登場した。ここは興安嶺の山の中、「山の宿駅」の感が深い。避暑地、療養地となっている<sup>82</sup>。
- ・1940年には、旅館2軒が紹介され、王爺廟ホテル（興徳街）の宿泊費は一泊二食（4円～7円）であった。満蒙ホテル（興隆大街）は一泊二食が4円位となっていた<sup>83</sup>。
- ・1942年には旅館2軒が掲載され、王爺廟ホテル（興徳街）の宿泊費は一泊二食（4円～7円）であった。満蒙ホテル（興隆大街）は一泊二食が（3.5円～4円）となっていた<sup>84</sup>
- ・1943年になると財団法人東亜旅行社が『満洲』を刊行した。王爺廟駅から西北へ40キロの蘇部公村に満洲建国の最初の人柱として、中村少佐、井杉曹長の遭難碑が建っている。また一つ手前の駅から北約3キロに「広野の龍宮」と称せられる葛根廟がある。梵通寺と称し、龍山お麓にある。札薩克凶王の菩提寺で規模は壮麗で茂林廟と伯仲する処であると紹介された。旅館は2軒が紹介され、王爺廟ホテル（興徳街）は駅から2キロにあり、宿泊費は一泊（4円～7円）であった。満蒙ホテル（興隆大街）は駅から1.5キロにあり、一泊が4円位となっていた<sup>85</sup>。1945年5月5日に当時の東京大学飯塚浩二教授は満蒙旅館に宿泊した。畳表が満足なのは軍司令官が宿泊するこの部屋だと言われたと言う。支払いはどうなったのかは定かではない<sup>86</sup>。

## 9. 王爺廟における邦人の活躍

葛根廟は1916年発行の『満蒙調査復命書』287頁には、洮南駅北160支里（約64キロ）、喇嘛僧60人とあった。しかし、1935年現在、4,500人の喇嘛僧を有していた。葛根廟駅から3キロ（徒歩60分）にあり龍山の麓にあると記述されていた<sup>87</sup>。

愛知県出身の加藤清也は1933年、京都大谷大学にて寺本婉雅教授にチベット語とモンゴル語を学び、1935年7月3日に葛根廟（梵通寺）に入り10年間、喇嘛僧としての修行を積み、大僧正となって活躍していた<sup>88</sup>。

---

<sup>82</sup> 南満州鉄道株式会社『南満州鉄道旅行案内』南満州鉄道株式会社1929年、266頁。

<sup>83</sup> 日本国際観光局満州支部『満支旅行年鑑昭和15年度』日本国際観光局、1940年、83頁。

<sup>84</sup> 東亜旅行社『満支旅行年鑑昭和17年度』東亜旅行社、1942年、429頁。

<sup>85</sup> 財団法人東亜旅行社『満洲』東亜旅行社、1943年11月、97～98頁。

<sup>86</sup> 飯塚浩二『飯塚浩二著作集（蒙疆の旅）』平凡社、1976年、271頁。

<sup>87</sup> ジャパンツーリストビューロー『徒歩旅行』ジャパンツーリストビューロー、1935年、47頁。

<sup>88</sup> 加藤清成『ラマ僧10年および続』太陽社、1974年および南洋社、1975年。



## 10. 小括

1935年頃までは、所謂内地人より、朝鮮人の方が多く王爺廟に住んでおり、彼らの子弟専用の小学校も設立されていた。王爺廟小学校の経営は王爺廟内地人居留民会が当たっており1935年4月に創立された。当時は男2、女4名の2学級で運営していた。翌年の1936年は男子4名、女子9名の計1名であった。1939年7月1日、内地人703人、朝鮮人160人、計863人であった。1939年になると3学級体制となり、児童数が82名、教員3名、代用教員（漢語、裁縫）3名、校医1名、事務員1名、現地人小使1名と大幅に増加した。王爺廟神社が1936年10月に建立され、天照大神、と明治天皇が奉祀された。1941年8月には満洲国通信社の王爺廟支局（支局長：吉川正明）と満洲国通信社の王爺廟通信部（池田昌春通信員）を康徳街に設けていた満洲国ラジオ放送局が王爺廟にも1945年6月1日に開設された。飯塚浩二東大教授は終戦から数か月前に王爺廟を訪問しているが、特務機関長やマスコミがバックアップしていた。荏原開拓団は1944年に入植した品川区荏原町「武蔵小山商店街」を中心の開拓団もあった。街ぐるみで満蒙開拓団を結成して、王爺廟の西方で開拓を担っていた。1945年8月17日のソ連軍侵入で開拓団は離散した。王爺廟南東40キロの葛根廟附近で1945年8月11日～14日に掛けて、ソ連軍の侵攻に依り戦闘が繰り返され、約1,200名の内約1,000名が死亡すると痛ましい事件が発生した。東京・荏原満蒙開拓団も農村からでなく、都会の商店街も不況に耐えきれず、商店街一体となって開拓団を派遣した。彼らは現地農民に転がり込んで、足手まといとなり、農民にとっては目の上のたん瘤となった満蒙ホテル（興隆大街）は駅から1.5キロに、王爺廟ホテル（興徳街）は駅から2キロにあり、1940年のガイドブックに紹介された。愛知県出身の加藤清也は1933年、京都大谷大学にて寺本婉雅教授にチベット語とモンゴル語を学び、1935年7月3日に葛根廟（梵通寺）に入り10年間、喇嘛僧としての修行を積み、大僧正となって活躍していた。

## おわりに

本稿は筆者が構想している東部蒙古都邑シリーズの第一回と位置付けています。第二回以降は満洲里、海拉爾、齊齊哈爾、通遼、赤峰などの都邑を計画しています。これらはまだ一部史資料を収集中であるが、史資料的には論文を執筆でき、現在、執筆中である。しかしながら、筆者は2021年8月に胃がんが見つかり、9月15日に胃の三分の二以上を切除する手術をしました。退院後の抗がん剤治療で酷い副作用がでて、再入院も余儀なくされました。

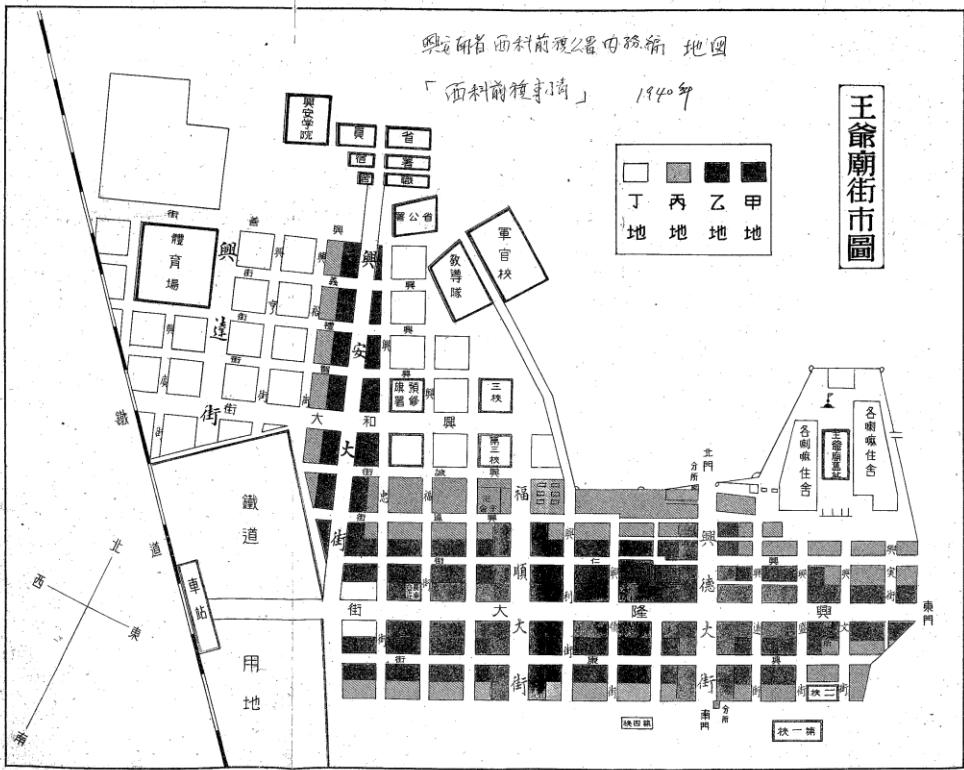
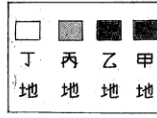
現在は抗がん剤の服用を中止していますが、11月25日に別な方法で抗ガン治療が始まります。本稿を出発点として満洲里、海拉爾、齊齊哈爾、通遼、赤峰などの都邑の論文を逐次、発表する予定である。

（千葉大学・人文公共学府・特別研究員）

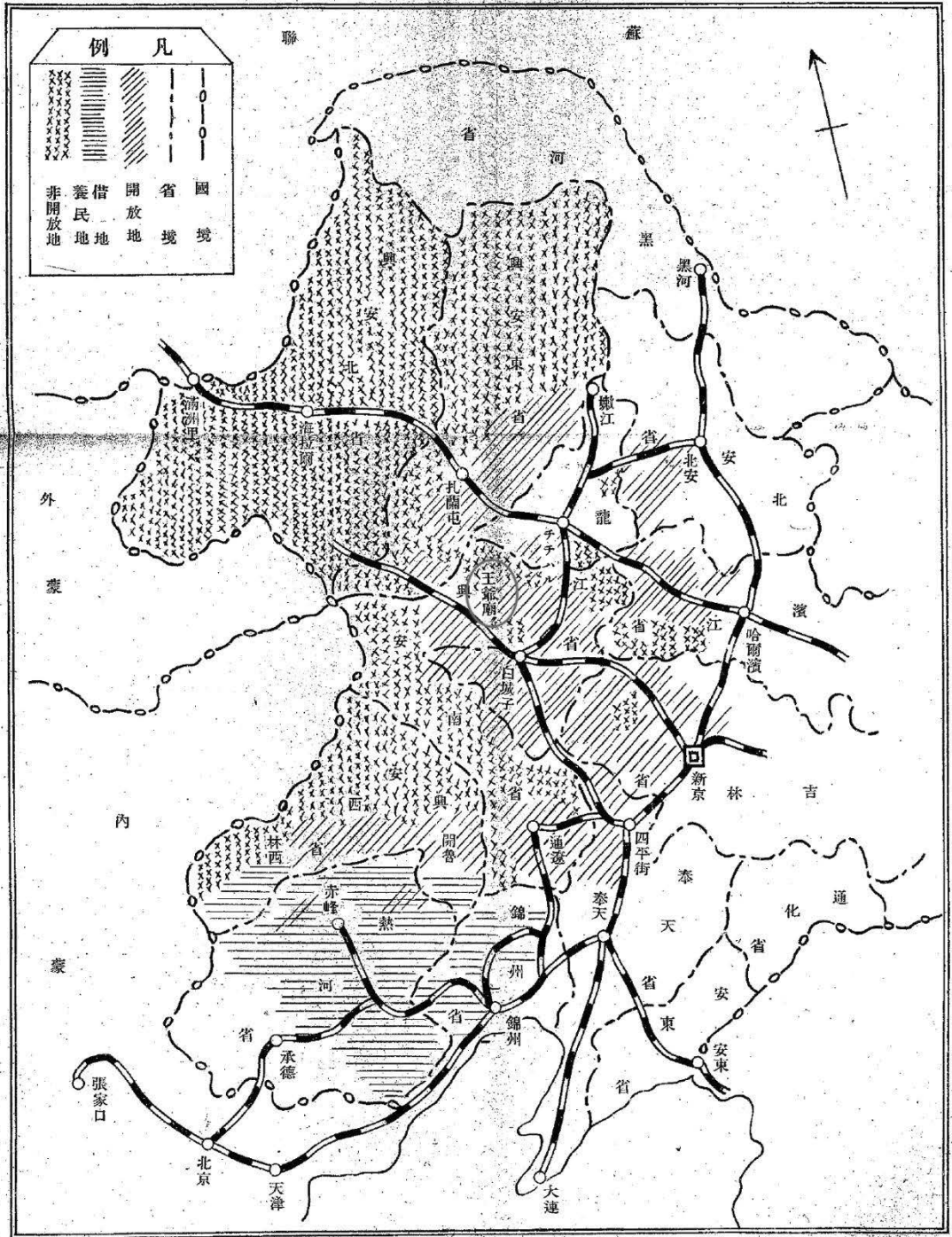
興安省西村前省公署內務局 地圖

「西村前種地清」 1940年

王爺廟街市圖



# 國內蒙古地目別地圖



## 【史資料一覧表】

- ・アジア歴史資料センター：B14090374800：王爺廟領事警察派出所、在外帝国公館関係雑件、設置関係第三巻。
- ・アジア歴史資料センター(JACAR)；B0401149750：本邦神社関係雑件第二巻。
- ・アジア歴史資料センター(JACAR)；B0401154760：在外日本人学校教育関係雑件、第十六巻。
- ・アジア歴史資料センター (JACAR) ;B04011719200、在外日本人学校教育資料雑件/ 学校調査関係 第二十九巻。
- ・アジア歴史資料センター(JACAR)；B0401149750：在外日本人学校教育関係雑件、第四巻
- ・アジア歴史資料センター(JACAR)；B0401149750：在外日本人学校教育関係雑件、学校調査関係第二十一巻。
- ・アジア歴史資料センター(JACAR)；B04011843300：在外日本人学校教育関係雑件、在満の部、王爺廟国民学校。
- ・アジア歴史資料センター(JACAR)B1409078500；1934年5月31日現在。別表4に掲載された。
- ・アジア歴史資料センター (JACAR ) C1501000453100 葛根廟(王爺廟南東40キロ)附近の戦闘。
- ・アジア歴史資料センター (JACAR ) B02130547300：満洲国主要都市在留邦人統計表。
- ・飯塚浩二『飯塚浩二著作集(蒙疆の旅)』平凡社、1976年。
- ・大阪市産業部貿易課『海外商工人名録』大阪市産業部貿易課、1937年。
- ・春日行雄編著『日本とモンゴルの百年』モンゴル館、1993年。
- ・加藤清成『ラマ僧10年および続』太陽社、1974年および南洋社、1975年。
- ・外務省情報部『満洲国・支那における新聞』外務省情報部、1937年。
- ・外務省通商局『在外本邦実業者調(上巻)』外務通商局、1937年。
- ・外務省東亜局2課『戦前期、満洲国及中華民億在留日本人人口概計表』復刻版、不二出版、2004年。
- ・関東軍都督府民政部『満蒙調査復命書』3、関東軍都督府民政部、1916年。
- ・官報、5268号、1937年11月22日。
- ・金海『日本在内蒙古殖民統治政策研究』社会科学文献出版社、2009年。
- ・興安南省総務科『興安南省概覧』興安南省1935年。
- ・嵯峨井建『大陸大観』ゆまに書房、2005年。
- ・十六ミリ映画教育普及会『教材映画』十六ミリ映画教育普及会、1940年6月。
- ・ジャパンツーリストビューロー『徒歩旅行』ジャパンツーリストビューロー、1935年。
- ・善隣協会『蒙古大観』善隣協会、1838年。
- ・治安部警務司『主要都市市街地戸口統計表』治安部警務司、1938年。
- ・鉄鋼「満洲国興亜地域における医療衛生事業の展開」OUFC 大阪大学、2015年。
- ・東亜旅行社『満支旅行年鑑昭和17年度』東亜旅行社、1942年。
- ・東亜旅行社『満洲』東亜旅行社、1943年11月。

- ・ 娜荷芽「王爺廟におけるモンゴル中等教育」富士ゼロックス小林節太郎記念基金、2012 年。
- ・ 長沢千代造『満洲国現勢』康徳 9 年度、満洲国通信社、1942 年。
- ・ 日本映画協会『映画年鑑』日本映画協会、1943 年。
- ・ 日本国際観光局満州支部『満支旅行年鑑昭和 15 年度』日本国際観光局、1940 年。
- ・ 白楊会『満洲国陸軍軍医学校』白楊会、1980 年。
- ・ 満洲事業案内所『満洲国地方誌』満洲事業案内所、1940 年。
- ・ 満洲国興安局調査科『満洲帝国蒙政十年史』1942 年。
- ・ 満洲国通信社編『満洲国現勢』1941 年 9 月。
- ・ 満洲国民生部編『中卒程度以上各種教育施設一覽』満洲国民生部 1941 年 6 月。
- ・ 満洲国民生部編『満洲帝国教育概況』満洲国帝国教育会、1942 年 7 月。
- ・ 満洲帝国協和会調査部「興安蒙古」満洲事情案内所刊、1943 年
- ・ 満洲日報社『満洲年鑑康徳 12 年度』満洲日報社、1944 年。
- ・ 満洲日報社『満洲年鑑』満洲日報社、1944 年。
- ・ 満鉄調査部資料課『満洲工場名簿』満鉄調査部資料課、1937 年。
- ・ 南満州鉄道『洮南満州里間調査報告書』南満州鉄道、1925 年。
- ・ 南満州鉄道株式会社『南満州鉄道旅行案内』南満州鉄道株式会社 1929 年。
- ・ 山本一生「日本植民地教育史研究年報」第 21 号、皓星社、2020 年 9 月。
- ・ 蘭星興安会編集委員会『私達の興安回想』蘭星会、1999 年。

(WEB)

- ・ [www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/box5/vol7/tekkou.pdf](http://www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/box5/vol7/tekkou.pdf) 2020 年 10 月 25 日 (閲覧)。



## 表演语境与胡尔奇的语言表述<sup>1</sup>

—同一个故事的多次表演对比考察—

彭春梅<sup>2</sup>

**摘要:**对于口头说书艺人胡尔奇来讲,每一次的表演都是一次再创作的过程,随时可以根据具体的语境因素调整自己的语言表述方式。文中通过蒙古族说书艺人甘珠尔对《薛仁贵征东》故事片段的多次表演实践来对比考察不同表演语境中的语言表述方式及其影响因素。

**[关键词]** 胡仁乌力格尔说唱;胡尔奇;表演语境;语言表述

口头传统与书写传统的区别,只能在表演的层面上才能理解。与书写固定文本的概念不同,口头传统是表演中的创作,每一次的表演是一次再创作的过程。表演文本的生成,要受到表演语境因素的影响,因而呈现出完全不同的形态。帕里和洛德所创立的口头程式理论提出“表演中的创作”概念,将口头传统的研究从书写研究中解放出来,将其还原到它所赖以存在的活态表演语境中进行研究。同样表演理论是在口头程式理论基础上发展而来,主张从表演与语境关系中对口头传统进行研究。

笔者对蒙古族胡仁乌力格尔<sup>3</sup>说唱的研究纳入了表演与语境视角,通过蒙古族说书艺人胡尔奇<sup>4</sup>对同一个故事的多次表演实践对比考察语境因素对表演语言表述方式的影响。文中提出“语境”概念包括两个层面:社会文化宏观语境和表演所进行的即时的微观情境。由于每一次表演呈现出不同特征,因此微观情境也是相对变动的展演场景,往往因表演事件而不同。

### 1. 故事情节内容及表演文本采录情境

本文考察对象是内蒙古科尔沁右翼中旗著名蒙古族说书艺人甘珠尔胡尔奇,他是内蒙古自治区级非物质文化遗产传承人;《薛仁贵征东》故事是内蒙古东部地区蒙古族听众中脍炙人口的说书故事,具有一定的代表性。甘珠尔胡尔奇听到笔者要采录《薛仁贵征东》故事片段,便选取了唐太宗海滩遇难,得薛仁贵相救,最终张士贵冒功之事真相大白的故事情节。薛仁贵征东故事是薛仁贵攻

<sup>1</sup> 基金项目:教育部人文社会科学研究青年基金项目“口传与书写互动视角下的蒙古族胡仁乌力格尔说唱传统研究”(17YJCZH137)。

<sup>2</sup> 作者简介:彭春梅(1977—),女,蒙古族,河南科技大学人文学院讲师,博士,主要从事民俗、民间文学研究。联系方式:13803790458。

<sup>3</sup> 蒙古语,意为胡琴或四胡伴奏下演唱的故事,蒙古族独有的大型口头说唱艺术。

<sup>4</sup> 蒙古语,指说唱胡仁乌力格尔的艺人。

破东辽各个关卡的故事，由大小小众多相对独立的征战故事组成，选取的故事片段是薛仁贵攻破白玉关的征战故事，具有完整的情节，在故事的表演策略上与其他部分基本一致，具有一定的典型性。

笔者先后两次赴内蒙古科尔沁右翼中旗白音胡硕镇采录甘珠尔胡尔奇的表演文本。第一次采录是于2012年6月6日晚邀请甘珠尔胡尔奇在说书厅为说书厅的听众表演故事片段，甘珠尔及其徒弟常年在说书厅说书，所以很爽快地答应了笔者这个要求。说书厅将近200多平方米，屋里整齐摆放了数排桌椅，正对面是大型欧式风格的白色木桌椅，供胡尔奇艺人表演。采录当晚说书厅有80多位听众，甘珠尔先是说明演唱薛仁贵征东故事片段是因为笔者研究的目的，然后便开始进入了故事主题。甘珠尔在说书厅的表演计划时间为3个小时，而说书厅每晚规定表演时间是2个小时，故此剩下的一个小时的故事第二天由胡尔奇在家里为笔者表演。第二次采录是于2012年9月6日和7日两晚邀请甘珠尔胡尔奇为白音胡硕镇靠山屯村的村民表演故事片段。一位在白音胡硕镇居住的亲戚帮我提前联系好靠山屯嘎查，得知著名说书艺人甘珠尔胡尔奇要来，村民们甚是喜悦，也有些不敢相信。靠山屯嘎查离白音胡硕镇约100多公里，共有181户，以半农半牧经济为主，从前村落里也经常邀请胡尔奇来演唱，民间叫“请书”，只是近几年相对较少，是胡仁乌力格尔表演的传统语境。嘎查屋面积不大，大概能够容纳60个人，采录当晚屋子里已经坐满了人，也有人站在门口和门外听故事的。甘珠尔胡尔奇坐在一张桌子上，上面铺有厚厚的垫子，旁边临时安装的话筒时不时发出杂音。甘珠尔先是演唱一段即兴好来宝，祝福村庄及村民五畜兴旺，五谷丰收。接着进入故事情节内容，故事结束之后献上了结束语。第二天的表演结束时，同样用一段好来宝献上自己的美好祝愿。整个表演时间共计3小时19分钟。

用来作对比考察的另一个表演文本是甘珠尔胡尔奇于2008年经编辑邀请在通辽电视台录制的，当时录制了整套《薛仁贵征东》故事。据甘珠尔介绍当时的录制间大约三四十平米，有里外两间，中间安了隔音玻璃窗户和门，里间有一个靠背椅和一张大桌子，桌子上摆放着麦克风和音响。外间有录音仪器，除了录音员之外还有编辑。录制当时，艺人胡尔奇手拿胡尔（四胡），坐在里间靠背椅上面对麦克风演唱，编辑可以从玻璃窗外清楚地看到胡尔奇的情况，也可以清晰地听到胡尔奇的演唱，而胡尔奇听不到外间的声音。录制过程中出现错误，会中途叫停，重新录制一遍。笔者截取的故事片段表演时间共计4小时26分钟。

## 2. 表演文本语言表述方式的比较

### (1) 口语和书面语表述

通过对三种表演语境文本的对比考察，发现说书厅和农村演述文本大体运用了口语表述形式，含有少量书面语成分，而电台文本多用旧语和现代书面语，具有明显的书面化特征。旧语和现代书面语同属于书面语范畴，为了便于表述，将二者进行了区分。电台的演述文本运用旧语主要集中在人物角色之间的对话上，如薛仁贵救助唐王情节单元，薛仁贵与盖苏文对话，皇帝听到便大喊“我盼了你九年了，我封你为王，赶快杀了盖苏文”。农村演述文本中的“封”一词相应的蒙古语是“*ergumjileye*”，是日常用语形式，而电台文本中将日常用语的附加成分“*ye*”置换成“*sugei*”，变成



“ergumjilesugei”，具有了书面语特征。盖苏文逼迫皇帝写降表：“李世民你乃我手中的珍宝，借你的手，借你的嘴，获得唐朝江山，怎忍心将你杀死？所以你不用求饶，你速速写下降表。”“写”一词在农村和说书厅演述文本中均用蒙古语口语形式“bici”来表述，而电台演述文本则加入具有旧语特性的构词成分“egdun”，变成“bicigdun”。“你乃我手中的珍宝”一句，“bol（是）”变成“bolbasu”（乃），加入了具有旧语性质的“basu”。“alaman（杀死）”一词加入旧语特性的构建，变成“alamancin”，这样的例子文本中比比皆是。

电台演述文本中还出现口语表述中很少用到却在书本中经常出现的词。如“薛仁贵破白玉关”情节单元，农村演述文本中用日常口语“ujequ（看）”来表述追都啰弥看信的过程，而电台文本则用“dahudaqu（颂）”来表述。”在“徐茂公解梦”情节单元，徐茂公为皇帝解梦，“tailqu（解）”一词用书面语“sobiju（探）”来表述。除了旧语和现代书面语，电台演述文本语词通常是用音读的方式一个音节一个音节地说唱出来的，形成较为明显的书面语唱诵风格，与日常使用的口语连读方式完全不同。虽然在农村和说书厅演述文本中也偶尔会出现音读的词，但主要以日常口语连读的表述方式。

## （2） 蒙语和汉语表述

农村和说书厅中的演述语言更接近于科尔沁蒙古族日常使用的语言，用蒙汉混合语，而电台的演述则更倾向于使用纯蒙古语，只有少量的汉语借词，即武器、人名和地名等，如总兵、元帅、赤铜刀、方天戟等。在“太宗皇帝射白兔遇难”情节单元，徐茂公给皇帝讲解四种类型的梦，其中一种叫“糊涂梦”，“梦见在鼻子上盖房上报呢”，在农村和说书厅的演述中，艺人用蒙语表达的同时直接加入汉语“上报”一词蒙汉语混合使用。徐茂公称皇帝是“马上皇帝”，盖苏文策马追赶皇帝时说二人的马在速度方面就“差”了，这些词在演述中都直接用汉语来表述，形成蒙汉混合语特征。故事中“血红鸟”、“安营扎寨”、“门帘子”、“棋逢对手，将遇良才”、“总兵老爷”等等词语直接用汉语来表述，还有一些汉语诗词和俗语，如“良言一句三冬暖，恶语伤人六月寒”、“家住遥遥一点红，飘飘四下影无踪，三岁孩子三两斤，保主过海去征东”等，而这些在电台的演述中进行了翻译，变成纯蒙古语表述。

## （3） 说唱表述方式

蒙古族胡仁乌力格尔说书是口头说唱艺术，说和唱交叉进行。在说和唱的比例方面，有些艺人喜欢在曲调的伴奏下演唱，有的则更注重故事的情节性，说的成分更多一些，也因此表现出不同的演述风格。即便是同一个胡尔奇，不同的情境下也会表现出不同的演述风格。胡尔奇电台的演述主要在曲调伴奏下以“唱”的形式表现故事的情节内容，相对而言纯粹“说”的内容较少。而农村和说书厅演述文本“说”和“唱”并重，“说”的成分要更多一些，具体情况如表格：

表1“唐王出行打猎遇盖苏文”情节单元“说”和“唱”演述风格

情节内容		电台演述文本	农村演述文本	说书厅演述文本
故事出现的场景		唱	说	说
上朝		唱	说	说
解梦	皇帝	说	说	说
	徐茂公	说+唱	说	说
出行		唱	唱	唱
没有猎物		说	说	说
追射白兔		唱	唱+说	唱+说
遇到盖苏文		说	说	说
追赶皇帝		唱	唱+说	唱+说

在农村演述文本和说书厅文本中，故事情节出现的场景和传统上朝主题都是以“说”的形式来介绍的，而电台文本中则在曲调伴奏下以“唱”的形式来完成的；徐茂公为皇帝解梦情节，是典型的人物角色之间的对话，农村演述文本和说书厅文本是通过“说”的方式来表现，而电台文本中人物角色之间的对话在“说”的过程中也适当加入了唱的成分。“追射白兔”和“追赶皇帝”细节，说书厅和农村演述文本以“说”和“唱”结合的方式来表现，而电台文本则直接在曲调伴奏下唱出来。杨玉成教授归纳甘珠尔胡尔奇的表演风格时曾说道“有些胡尔齐（如布仁巴雅尔、甘珠尔）更喜欢相对诗歌化的主题或典型场景与讲述、阐释等口语表达结合起来进行演述”。<sup>5</sup>农村文本和说书厅文本“说”和“唱”并重的表演风格也能证明这一点，而电台文本突出“唱”的表演风格更是胡尔奇有意的选择。

#### （4） 表演性和幽默夸张性表述

语言是通过声音来传达的，与特定语气、语调以及表演者的面部表情、身体动作结合达到最佳表演效果。即使同一句话因为使用语境和语言表述方式的不同而产生的功效也不同。农村演述文本在用语言推进故事情节的过程中善于通过语调、声音的高低和句子的停顿辅助面部表情的变化、身体动作等方式来创造情景感。如描绘唐太宗遇到盖苏文准备策马跨越蜗牛河逃跑的场景时，胡尔奇本人立即变成唐太宗，挥鞭发出指令，此时声音明显抬高，苍劲有力，紧接着用一系列的口技表现马儿跃起却陷入泥潭的情景，富有感染力。与此同时通过声音和语调的调整，又变成了盖苏文，看到唐太宗陷入泥潭，“哈！哈！哈！”的笑声地动山摇。虽然说书厅文本中也用声音和动作等区分了每个角色的特征，便于听众分辨进行互动的角色之间的不同，但农村文本则运用了更多的语言表述策略，具有更强的表演特质。相对而言，电台文本则缺少了讲述者的主观参与性，更多的

<sup>5</sup>博特乐图.表演、文本、语境、传承—蒙古族音乐的口传性研究[M].上海：上海音乐学院出版社，2012年，p79。

是从第三者客观的叙述视角进行平铺直叙。如唐太宗被盖苏文逼写降表，薛仁贵前来救驾，在描绘薛仁贵和盖苏文对话时陷入泥潭的唐太宗此时着急的情形时，电台文本直接客观表述“他的声音又可笑，又着急”，明显欠缺了表演的特质。而农村文本中艺人直接过渡到角色，变成唐太宗，通过语言的提高和腔调的拉长及面部表情的变化来情景式展现，极富幽默搞笑的表演效果。艺人接二连三以唐太宗为搞笑对象，通过自己的表演来塑造幽默搞笑的良好氛围。农村演述文本相对说书厅文本和电台文本语言表述更为幽默，风趣和夸张，善于运用民间俗语：

“梦到在鼻尖上盖了三间房上报呢”（“太宗皇帝射白兔遇难”）

“还是鼻子大的人是好人”（“张士贵殿堂欺瞒事实”）

“读书人的毒就是这么厉害”（“张士贵殿堂欺瞒事实”）

“张积龙把嘴塞进爸爸的耳朵里，这小声说的话，它的毒比骂还厉害，用针扎的眼不怎么出血，疼起来比伤口还厉害”（“毒害唐国公”）

### 3. 影响语言表述方式的语境因素分析

#### (1) 电台录音棚表演语境

通过三个版本演述文本的对比，我们可以了解到电台文本表述语言风格上明显具有书面化的特征，用纯蒙古语演唱，很少用汉语借词，善于在音乐伴奏下用唱的形式来表现，表演性和幽默夸张性语言相对较少。这与电台演述文本采录特殊语境有直接的关系。蒙古族口头说唱艺术胡仁乌力格尔被电台大量录制播放是在 20 世纪 70 年代末至 90 年代初。当时作为口头艺术遗产的民族口头文化受到国际学界普遍关注。所以起源于科尔沁地区的地方性文化胡仁乌力格尔被当作民族文化传统来保护和推广。

解放前，科尔沁民间艺术属于根植于特定民俗社会中的地方性艺术形式；解放后，受一体化思潮的影响，科尔沁说唱艺术的地方性性质重新被界定，被当作全民族性的艺术形式来被提倡和推广。这主要表现在它区域流布和跨阶层、跨民族的共享上。<sup>6</sup>

为了让所有蒙古族听众能够听懂胡仁乌力格尔说唱，为了保证民族文化传统的质量，电台在录制节目的时候对胡尔奇提出种种要求，如不能使用汉语借词（相关名词例外），用纯蒙古语来演唱，不能有封建迷信的内容等等。甘珠尔在录制《薛仁贵征东》时也同样在使用汉语借词方面受到了限制，出错或多次重复同一个程式时中途叫停修正，逻辑上出现问题或语词不当也会临时叫停，重新录制这一段。其他艺人也有同样的经历，“在电台录制乌力格尔，讲述过程中要注意很多问题，如多大程度上自由讲述故事、羞于用手脚等身体动作进行描绘、怕说错故事内容、声音嗓子的高低是不是合适等，但在老百姓家里讲述故事，相对自由并且没有心理负担”。录音棚语境中的胡仁乌力格尔表演更多受制于编辑或现场条件约束，胡尔奇的表演具有一定的预定性或文本性。这与书面创作如出一辙，可以反复推敲修改，直到满意为止，听众也可以像读者一样多次回放胡尔奇的电台演述

---

<sup>6</sup> 博特乐图·胡尔奇：科尔沁地方传统中的说书艺人及其音乐[M].上海：上海音乐学院出版社，2007年，p373。

文本。与民俗语境中的表演不同，录音棚中的文本是单一性的，也是没有观众和民俗场景的一人表演。胡尔奇不用时刻去揣摩听众的心理，通过自己的表演策略去努力吸引听众的注意力，而是更加关注如何将故事演述得更加完整，客观，符合逻辑，不出现错误，经得起收音机前听众反复收听。所以电台文本中缺少了与听众互动的表演性和幽默夸张性语言，从第三人称客观视角进行平铺直述。从另外一个角度来讲，电台演述文本是被电台录音棚语境格式化的文本，是编辑和胡尔奇共同建构的文本，艺人不能自己想怎么讲就怎么讲，在一定程度上是接受编辑的“指示”，编辑的介入改变了传统胡仁乌力格尔较为自由的表演场域。

相比较，电台演述文本中艺人多用书面语表述，这里除了胡仁乌力格尔说唱的故事题材来源于书面本子故事之外，艺人和听众对文字的崇拜，对“文人胡尔齐”的认同。艺人往往通过置换日常用语附加成分变成“旧语”或使用现代书面语等方式表明自己的学识，提升自己的威望。作为在电台录制的胡仁乌力格尔，代表的更是民族传统文化，所以书面语特征更为明显。

很多胡尔齐都是没有文化的胡尔奇，人们给他们念的都是清代时的本子故事，都是书面语的故事本子，所以说的时候都用书面语来说，用书面语说的时候语言都会错，如“kemen”，胡尔奇都说“kemiyen”，装样子说错的话，从这里看到什么呢，他们对文字的认同，对文字的崇拜，不识字的胡尔奇只能求人说本子。如果是识字的胡尔奇，用蒙汉两种语言说的话，绝对像先生一样崇拜。……虽然他崇拜，但语法的一些东西它不知道，所以音读。有的记住，有不记住，将口语转换成书面语的时候就音读，音读的时候就读错了。这里面就看文字对口头的一种权威。<sup>7</sup>

除了书面语特征之外，胡尔奇还有意识地在四胡伴奏下多以唱的形式来表现，说的成分较少，着重表现这一民族口头传统的艺术魅力。就像有些胡尔奇所说，“胡仁乌力格尔不能有太多的讲述成分，如果是那样就不需要胡尔齐了”。

## (2) 农村和说书厅表演语境

农村和说书厅演述文本相对电台文本，大体运用了口语表述方式，更接近于科尔沁蒙古族日常用语，蒙汉混合语，善于运用民间俗语、表演性语言和幽默夸张性语言来吸引听众。农村和说书厅都属于蒙古族科尔沁地区较为传统的胡仁乌力格尔表演场域，两次表演事件虽然都是因为笔者的邀请，但笔者要求“原汁原味”，胡尔奇的表演不受任何约束或控制。传统民俗场域是由胡尔奇和听众构成的，是生活化的，因此对于胡尔齐来说，他要采取一种更让听众理解和更容易交流的方式来演述他的胡仁乌力格尔。胡仁乌力格尔说唱主要流传于东部蒙古地区民间，所以讲述语言以东蒙古的方言为主，蒙汉混合语和俗语是其主要的特征：

胡仁乌力格尔产生的时代，在其发祥地内蒙古东南部地区，伴随着蒙汉杂居和通晓汉文汉语的蒙古人的日渐增多，伴随着蒙古人对内地文化和历史的日渐了解，在蒙古族日常会话中已经渗入较多的汉语音译词汇。<sup>8</sup>

<sup>7</sup> 陈岗龙. 蟒古斯故事论[M]. 北京: 北京师范大学出版社, 2003年, p112.

<sup>8</sup> 扎拉嘎. 比较文学: 文学平行本质的比较研究[M]. 内蒙古教育出版社, 2002年, p136.

在说唱形式上，农村和说书厅文本说唱并重，农村文本相对说的成分更多一些，有更多的阐释性语言，运用了更多的表演性和幽默夸张性语言。这与两种语境中不同听众成分有直接的关系。农村的听众对甘珠尔来说是陌生的且是崭新的，他是第一次来靠山屯，听众也是第一次如此近距离聆听著名胡尔奇的演述，平时只能在收音机里一饱耳福。对于甘珠尔胡尔奇的到来，听众表现出了不敢相信却又非常期待的心理。笔者与甘珠尔一行四人驱车来到村嘎查时，屋里男女老少已经挤满了人，看到一位老人拄着拐杖正往屋里走，屋外也站了很多人，来晚了的又迫不及待地问“甘珠尔真的来了吗？”，对于村民来说，甘珠尔来村庄讲述乌力格尔是不太可能的事。甘珠尔从踏进村庄开始便揣摩听众的心理，从听众的眼神和表情里读出听众的期待和疑惑。面对听众的期待，胡尔奇努力展示自己的口才和技艺，通过情景式的表演和幽默搞笑氛围的塑造吸引听众注意力，并对共享的传统知识进行充分阐释，承担起了对听众展示自己达成交流方式的责任。

表演作为一种口头语言交流模式，存在于（表演者）对观众承担着展示自己交际能力的责任。这种交际能力依赖于能够用社会认可的方式来说话的知识和才干。从表演者角度说，表演要求表演者对观众承担着展示自己达成交流方式的责任，而不仅仅是展示交流的有关内容；从观众的角度来说，表演者的表述行为达成的方式，表述急切以及表演者展示的交际能力是否有效等等，将成为被品评的对象。<sup>9</sup>

听众的叫好声和热烈的掌声充分激起胡尔奇表演的欲望，相比说书厅的表演更早进入了状态，夸张性的语言和身体动作等表演策略的运用，只有在听众的积极反馈或回应中才能使胡尔奇再继续，这样的表演方式的达成是在胡尔奇和听众二者积极配合之下完成的。面对甘珠尔的表演，听众报以热烈的笑声，亦或叹气，紧张，他们的表情、眼神等都对胡尔奇的表演产生了影响，各种附加语言的应用也随之多起来，更具表演的特质。相对而言，说书厅的听众对甘珠尔来讲是熟悉的且较为固定的，因为他和徒弟们常年在说书厅说书。说书厅的听众少有流动，多数是 50 岁到 70 岁的老人，来镇上看孩子或退休干部居多，年轻人少一些。正因为胡尔奇和听众之间非常熟悉，所以就出现表演还没开始就有听众与他调侃“有没有带记录本呀”。常年听胡仁乌力格尔的听众与胡尔奇共享更多的传统知识，也对胡尔奇的演述风格较为熟悉，相应对故事情节的阐释性内容更少一些。

（河南科技大学人文学院）

#### 参考文献：

- [1]博特乐图.表演、文本、语境、传承—蒙古族音乐的口传性研究[M].上海音乐学院出版社，2012年。
- [2]博特乐图.胡尔奇：科尔沁地方传统中的说书艺人及其音乐[M].上海：上海音乐学院出版社，2007年。
- [3]李建宗.口头传统、民间表演与地方社会：基于甘肃中部地区一个“村—镇共同体”的小曲研究[M].

<sup>9</sup> [美]理查德·鲍曼著，杨利慧、安德明译.作为表演的口头艺术[M].桂林：广西师范大学出版社，2008年，p12。

民族出版社，2016年。

[4][美]理查德·鲍曼著，杨利慧、安德明译.作为表演的口头艺术[M].广西师范大学出版社，2008年。

[5]陈岗龙.蟒古斯故事论[M].北京师范大学出版社，2003年。

[6]扎拉嘎.比较文学：文学平行本质的比较研究[M].内蒙古教育出版社，2002年。

## 传承八个世纪的拖雷伊金祭奠祭祀

布仁巴雅尔

**摘要:**拖雷伊金祭奠祭祀是蒙古族传统的圣火祭祀,也是成吉思汗圣火祭祀的主要祭祀。本文介绍了拖雷伊金祭奠祭祀的恢复及其经过。还论述了拖雷伊金祭奠祭祀所发挥的功能,每年农历三月二十日晚的嘎日利格大祭奠祭祀和每个虎年阿拉格苏力德威猛祭奠祭祀等是拖雷达尔扈特人所主持履行的职责。

**关键词:**拖雷伊金祭奠祭祀 成吉思汗圣火祭祀 雅木特继承职务

据守护拖雷伊金灵帐的达尔扈特老人们讲:拖雷伊金灵帐祭奠,是拖雷伊金驾崩那时起即十三世纪起由也逊鄂尔鲁特氏(鲍氏)李斡儿出的后裔守护拖雷灵帐和承担祭奠祭祀。李斡儿出是蒙古阿剌鲁惕部纳忽伯颜之独子。成吉思汗和李斡儿出是同一宗祖的人。由李斡儿出子孙后代组成拖雷伊金达尔扈特人,常年累月守护灵帐,世世代代传承着圣火祭祀,一代一代点亮着长明圣灯,一直到现在。

拖雷伊金(?—1232)是成吉思汗季子,是继承成吉思汗家业、香火的人,也是统一中华民族的忽必烈汗父亲。成吉思汗逝世之后,拖雷伊金监国两年,一直到窝阔台汗登基。拖雷伊金和唆儿忽黑塔尼所生子女中,蒙哥、旭烈兀忽必烈三个儿子都继承过汗位。

在十三世纪,拖雷伊金为父亲举行丧葬仪式,并奠定了祖祖辈辈祭祀成吉思汗的仪规。之后忽必烈汗主持了父亲拖雷伊金的安葬仪式,将拖雷伊金灵帐与蒙古总神祇——成吉思汗八白室一起祭奉。

自古以来,拖雷伊金祭奠在广袤的蒙古草原上,随着游牧生活,移动多处,成为典型的游牧文化遗存。追溯它的变迁过程,现已知道的有:蒙古国的哈喇和林,阿拉克乌拉阿拉坦都西,中国新疆的阿尔泰、阿拉善盟阿拉克乌拉、阿拉坦都西,贺兰山、鄂托克旗乌仁都西,阿尔寨石窟,鄂托克杭锦交界处达尔扈特道劳、鄂托克旗的天棉利、乌兰吉林,保勒豪内、保尔汗代、克棉棉利、苏根乌素和现在的查汗淖“道劳伊金”等地都留下了祭奠遗迹。“道劳伊金”这个名称是来源于鄂托克杭锦两旗交界处的达尔扈特道劳。

拖雷伊金在鄂托克杭锦两旗交界处已有几百年的祭奠历史。我认为那里水草丰美,草场广阔,有利于两旗民众就近祭拜有关。这方面最能说明问题的是,鄂托克杭锦交界处的双敖包梁有两座并列的敖包。两座敖包中间为西北东南走向的两旗地界线及延伸的界堆子。敖包以西方圆二十五里是鄂托克旗划给拖雷伊金灵帐的禁留地,敖包以东方圆二十五里是杭锦旗划给拖雷灵帐的禁留地。

禁留地内只允许祭祀拖雷伊金和守护拖雷伊金灵帐的达尔扈特牧民居住。当时拖雷伊金灵帐和供轮班守护祭祀达尔扈特人宿舍和仓库等都位于鄂托克旗境内。

1942年，鄂托克旗衙门的官员吉日良辰，将拖雷伊金灵帐移到今赛罕塔拉嘎查哈沙图牧业组苏里图梁（习惯称鄂托克旗道劳伊金）上祭奠。当时遵循旧制，这里又划出了方圆二十五里禁留地，安置拖雷伊金灵帐和守护灵帐的达尔扈特户。在鄂尔多斯，鄂托克旗素有季子旗之称，意为成吉思汗季子的故土、成吉思汗灶膛圣火祭奠之乡。的确，拖雷伊金灵帐在鄂托克旗祭奠的时间最长，一直由旗衙门主持每年的四季大祭奠，因而成为祭祀文化的大旗。

拖雷伊金祭奠中火为最神圣。主要崇拜物中有火镰、燧石、腰带佩环、拖雷神像。青巴图在幼年的时候，达尔扈特人用金子打造了拖雷神像。先讲一讲火镰、燧石、腰带佩环的含意。火镰、燧石是产生火星火苗的工具，这付象征成吉思汗圣火的火镰，时时刻刻生成着火星，把成吉思汗灶膛之火传承到今天。还有称之为伊克宝音图，巴嘎宝音图的两把查日格，上部为蟒（龙）头造型，下部为串起来的若干板块。板块上刻着伊克蒙古、巴格蒙古等天语祭词。这是号为阿拉腾彻尔必的司祭员诵天语祭词时伴奏的重要祭祀乐器，它表示着天龙闪电生火，与成吉思汗圣火相呼应，越燃越烈，永不熄灭的意思。

拖雷伊金灵帐前旗杆上的三叉戟造型也是熊熊烈火形状的，是由好钢锻造而成，也是代表着成吉思汗的圣火永远旺盛。还有一个非常神奇的祭祀，那就是守护拖雷伊金灵帐的达尔扈特，每年腊月二十三日男子们都到拖雷伊金灵帐祭祀成吉思汗的灶膛圣火，第二天即腊月二十四日，他们才祭自己家的火。受拖雷伊金达尔扈特人的祭火习俗，鄂托克旗绝大多数旗民都在腊月二十四日祭火。这与其它地方的祭火有着明显的区别。

鄂托克旗旗名的鄂托克一词，也与火相关。据蒙古国院士策仁曹德那木讲，鄂托克旗一词的含意是围火坐着的人们。这正好与多年祭奉拖雷伊金的鄂托人相吻合。世界上祭奉拖雷伊金的地方只有一个，它就是鄂托克旗。上述与火密切联系的吉祥之物外，还有酥油灯盏、火撑子、灶台等别具特色金属器具。祭案的正面是用铜皮篆刻出双龙喜火球的图案。还有许多银制、铜制、铁制祭祀用器具。如摆放全马祭品大盘子，用红檀木制作，用铜皮抱起，其上镶嵌了用白银制作的图案；有一个从下面钻过去的大祭案和银制摆羊背盘、银碗、银碟、带座银酒杯（有的长者说曾经有过三只杯的银制带座杯）、银制大高脚杯、钢剑、弓箭等珍贵文物。

拖雷伊金祭祀涉及众多与火相关的内容，所以守护拖雷伊金灵帐的达尔扈特雅木特（司祭官员）以嘎勒其（掌火者）为首席。即司祭官员的排列顺序是：伊若勒其（祝诵司仪），太师、太保、芒来、洪金、图勒、嘎勒其（掌火者）、阿拉腾彻尔必等。其中伊若勒其、太师、太保、芒来为内务四官员，洪金、图勒、嘎勒其（掌火者）、阿拉腾彻尔必为外务四官员。还有达尔罕赫雅、宰桑、昂素（佛教总管）、香灯师以及闲散达尔扈特。嘎勒其非常崇敬火，他主持一切有关火的祭奠祭祀，让圣火永不熄灭。

鄂托克伊若勒其，是从鄂托克旗到成吉思汗陵主持祭奠的拖雷伊金的伊若勒其官员，因而称他为“鄂托克伊若勒其”。鄂托克伊若勒其前去主持的祭奠于农历三月二十日晚举行，称嘎日利格大祭



奠。祭奠在黄昏时分举行，点燃三堆旺火，为列祖列宗焚烧煮熟风干的羊肉，以示舍施。每次嘎日利格祭奠是拖雷伊金达尔属特去成吉思汗陵举行的重要祭奠。鄂托克伊若勒其一行赴成吉思汗陵主持嘎日利格祭奠，而另一部分拖雷伊金达尔属特留在拖雷伊金灵帐处，同一天同一时间举行嘎日利格小祭奠。据悉，历代赴成吉思汗陵主持嘎日利格大祭奠的前辈拖雷伊金达尔属特有：1890—1932年曾由青那顺，敖其尔巴图，青巴图，额尔登达来，敖特很巴雅尔，巴拉贡扎布，仁青道尔吉，沙金格日勒，阿尔并仓，吉日嘎拉，乌力吉呼图克，巴达玛扎布，阿龙扎那，巴音都仁，什日布东道格等参加；1932—1945年间由青巴图，巴达玛道尔吉，仁青道尔吉等参加；1945年青巴图病故，由仁青道尔吉，巴达玛道尔吉等前去祭奠。1948年，成吉思汗陵周围战事不断，前往成吉思汗陵参加嘎日利格祭奠的拖雷伊金达尔属特，中途把带去的风干全羊等祭品交给当时的济农旗（即郡王旗）台吉后返回。1948—2002年间，拖雷伊金达尔属特没有去成吉思汗陵主持嘎日利格大祭奠。2002年起，拖雷伊金达尔属特巴德玛道尔吉，仁钦道尔吉，布仁巴雅尔，达布西拉图，胡毕斯哈拉图等年年赴成吉思汗陵参加嘎日利格大祭奠，从未间断过。从2008年起，老达尔罕赫雅巴达玛道尔吉，现任鄂托克伊若勒其布仁巴雅尔，现任达尔罕赫雅哈斯巴特尔等赴成吉思汗陵正式接受了产主嘎日利格祭奠重任，按照拖雷伊金达尔属特的仪规进行嘎日利格祭奠，现已基本恢复了原来的习俗。

拖雷伊金达尔属特在异地进行祭祀的又一个重要习俗是：虎年轮回到十三年时，赴阿拉克苏勒德霍洛，举行阿拉克苏勒德威震大祭奠。阿拉克苏勒德霍洛位于今鄂托克前旗昂素镇。拖雷伊金达尔属特举行冬季达斯玛祭祀后，带着新制作的达斯玛，赴阿拉克苏勒德霍洛参加祭奠。阿拉克苏勒德威震大祭奠，要献九九八十一只全羊以上祭品祭奠。提到昂素镇需要解释几句，说明昂素名称的来源和拖雷灵帐的关系。拖雷伊金灵帐早在鄂托克杭锦交界处的时候，拖雷伊金的昂素庙是鄂托克旗的吉若木图庙。后来吉若木图庙被拆除，迁到乌兰吉林庙。1942年，拖雷伊金灵帐移到今祭奠地时，拖雷伊金的昂素庙一同移来。人们讲，拖雷伊金灵帐的昂素庙与阿拉克苏勒德祭奠地的昂素庙的“昂素”一词有定的联系和缘故。

阿拉克苏勒德威震大祭奠时，拖雷伊金达尔属特不是去主持威震仪式，而是去协助完成祭祀过程中的各类祈祷仪式。整个祭奠结束后，阿拉克苏勒德方面赐分给拖雷伊金达尔属特三九二十七只全羊祭品的福份。返回时与前来一样，串乡走户布施，为拖雷伊金祭奠筹集钱物。旗衙门派出去与拖雷伊金祭奠达尔属特一同前往的包什户（差役），祭奠结束后直接回衙门，不再跟随拖雷伊金达尔属特。拖雷伊金达尔属特以火镰、查日格为神物，所到之处，中午有午祭，晚上有夕祭，一路布施，在腊月二十三日前必须回到拖雷伊金灵帐处。现将参加过阿拉克苏勒德威震大祭奠的拖雷伊金达尔属特按年份排列如下：据悉，1890年（庚寅年）是青那顺，青巴图；1902年（壬寅年）是青巴图，敖其尔巴图，额尔登达来；1914年（甲寅年）是青巴图，敖其尔巴图，额尔登达来；1926年（丙寅年）是青巴图，敖斯尔巴图，敖特很巴雅尔，额尔登达来；1938年（戊寅年）是青巴图，巴拉贡扎布，敖特很巴雅尔，巴达玛道尔吉，仁青道尔吉，阿尤扎那，曾格仁沁，巴音都仁，那木吉拉道尔吉，朝格吉敏色勒；1950年（庚寅年）是巴德玛尔吉，阿尤扎那，仁青道尔吉，敖特很巴雅尔，阿尤扎那，曾格仁沁，巴音都仁，朝格吉敏色勒，那木吉拉道尔吉，扎拉生；1998年

（戊寅年）只有仁钦道尔吉一人参加，拖雷伊金其它达尔扈特因不知道恢复祭奠的消息而未能参加。那年祭奠结束后，按照旧规仍给拖雷伊金达尔扈特赐分二十七只全羊祭品。2003年（癸未年）9月18日，阿拉克苏勒德举行大祭奠。拖雷伊金达尔扈特巴达玛道尔吉，仁钦道尔吉，布仁巴雅尔，郝阿拉塔（成陵达尔扈特），朝克图（非达尔扈特人）前去参加祭奠，敬献全羊、资金、哈达。2010年（庚寅年）农历十一月初三日（过去此祭奠也许在十月二十二日举行），拖雷伊金达尔扈特以巴达玛道尔吉（老达尔罕赫雅）为首，有布仁巴雅尔（鄂托克伊若勒其），达布西拉图（昂素），胡毕期哈拉图（嘎勒其），阿尔并巴雅尔（嘎勒其），青才（图勒），朝克巴图（阿拉腾彻尔必），伊拉特（洪金），图门吉雅（洪金），阿拉腾都西（太保），吉尔格勒根（太保），宗瑞等达尔扈特，带着主神像，火镰，巴嘎宝音图（与达斯玛一起）到阿拉克苏勒德霍洛，参加了阿拉克苏勒德虎年威震大祭奠，向阿拉克苏勒德敬献全羊供，与阿拉克苏勒德达尔扈特一起协作，完成了主持祭奠任务。祭奠结束后按照惯例，分享到阿拉克苏勒德神灵赐分的二十七只全羊祭品福份。以上讲述了拖雷伊金达尔扈特在外面参加两项重要祭奠的情况。现在再讲一讲拖雷伊金祭奠的仪规和在当地恢复祭奠以来的情况。拖雷伊金祭奠有年祭、季祭、月祭、日祭、正月初一的红线台吉祭、圣火灶膛祭。四季大祭奠由旗扎萨克主祭，如果扎萨克不能亲自来参加，就派代表扎萨克的台吉前来主祭。日祭由轮班守护灵帐的达尔扈特完成。正月初一的年祭由红线台吉为主要施主，由司祭雅木特主持，达尔扈特和群众参加。

据我们的先辈们讲，清同治年间，拖雷伊金灵帐遭受白帽子造反的战火蹂躏。1928年，由于守护达尔扈特的疏忽，又一次发生了火灾。这次火灾中，灵帐化为灰烬，只残留一些金属器具。青巴图等达尔扈特，根据这些残留遗物，按照原样恢复制造了主要祭奉物。令人欣慰的是，最核心的祭奉物火镰没有遭受严重的损害。2002年，巴达玛道尔吉老人亲手复制了一枚火镰。拖雷伊金灵帐是从1939年开始离开鄂杭两旗交界处，向西迁徙，于1942年在今祭奠处定居下来，已有70年年头。

1956年，拖雷伊金灵帐移到新建的成吉思汗陵集中统一祭奠。遗憾的是守护灵帐的达尔扈特却留在了原地。老达尔扈特巴达玛道尔吉的父亲，十分怀念祖祖辈辈守护祭祀的神物离他们而去，当年骑马走到鄂杭旗交界处双敖包的鄂托克旗敖包上取回来一口袋石头，拿自己的乘马驮到今祭奠处，作为敖包，作为拖雷神灵，堆起来祭祖。老达尔扈特巴达玛道尔吉一家，以敖包形式把拖雷伊金祭祀了45年。2002年，巴达玛道尔吉，门都，仁钦道尔吉，布仁巴雅尔等倡议修建拖雷伊金祭奠敖包，在巴达玛道尔吉老人祭祀的石堆基础上建起一座雄伟壮观的敖包，于当年6月25日恢复了拖雷伊金夏季大祭奠。巴达玛道尔吉老人亲手制作了与拖雷伊金灵帐内原祭奉的火镰一模一样的大火镰，以发倡议，送请贴等形式，邀请原拖雷伊金达尔扈特的子弟和施主们前来参加祭奠，在新世纪之初恢复了拖雷伊金祭奠，并将拖雷伊金祭祀仪规，习俗、无私地传给达尔扈特的子弟。从当年开始，巴达玛道尔吉、门都、仁钦道尔吉、布仁巴雅尔等组建拖雷伊金祭祀雅木特，逐年恢复了全年的各种祭祀。

当年应邀前来参加祭奠的达尔扈特，今天都可以独立承担祭祀事宜。这些年，前来朝拜的社会各界人士，日趋增多。现在八个雅木特组织已建立健全，一切祭祀活动都由他们来完成。

现有拖雷伊金达尔扈特近 270 多人，雅木特的传承情况和现任司祭职务如下：

- 1、鄂托克伊若勒其：青那顺—青巴图—仁青道尔吉—达布希拉图—现由布仁巴雅尔担任；
- 2、太师：巴达玛扎布—阿尤扎那—门都—由现衙木特担任；
- 3、太保：德钦云荣—乌日根达来—格日乐图—现由阿拉腾都西担任；
- 4、芒来：朝格吉敏色勒—由现衙木特担任；
- 5、洪金：吉日嘎拉—阿米腾—格力格忠乃—现由图门吉雅担任。
- 6、图勒：那木吉拉道尔吉—现由青才担任；
- 7、嘎勒其：格西格达来—现由胡毕斯哈拉图担任。
- 8、阿拉腾彻尔必：敖特很巴雅尔—巴拉贡扎布—现由朝克巴图担任；
- 9、宰桑：曾格仁沁—巴音都仁—仁钦道尔吉—由现雅木特担任；
- 10、达尔罕赫雅：敖其尔巴图—巴音都仁—巴达玛道尔吉—现由哈斯巴特尔担任；
- 11、昂素：却日格（巴音却日格）—朝格来那木吉拉—毕力格—尼玛—却匹力—现由丁增担任（兼香灯师）；
- 12、闲散达尔扈特：杭哈哈日（孟克宝音？）等等。

今天，曾经代表旗扎萨克主持四季祭奠的台吉后裔们，仍遵循旧俗前来参加祭奠，基本恢复了年祭，季祭、月祭。比如，沙日布尔都嘎查红线台吉巴图敖其尔之子金锁，赛罕塔拉嘎查红线台吉额尔和木之子道尔吉热布登，乌兰柴达木嘎嘎红线台吉的后裔们，现在都参加着祭祀活动。

1999 年 8 月 11 日，鄂托克旗人民政府公布拖雷伊金祭奠旧址为重点文物保护单位，2002 年划定了绝对保护区范围。2005 年成立内蒙古鄂托克旗拖雷伊金祭奠文化研究协会，会员 181 名，会长、副会长、秘书长、会计等 6 人。理事会理事 21 人，特邀名誉顾问 9 人，顾问 3 人，成员 148 人，现统计在册的拖雷伊金达尔扈特近 300 人。2007 年，拖雷伊金祭奠文化被内蒙古自治区人民政府列入自治级第一批非物质文化遗产名录。2008 年，内蒙古自治区文化厅宣布巴达玛道尔吉、门都、仁钦道尔吉、布仁巴雅尔为拖雷伊金祭奠文化的传承人。2009 年，向自治区文化厅申报拖雷伊金祭奠地为内蒙古自治区级重点文物保护单位，向文化部申报拖雷伊金祭奠文化为国家级非物质文化遗产。与此同时，在中央电视台第一套《中华民族》栏目上播放了 20 分钟的拖雷祭奠专题节目，内蒙古蒙语卫视《百家论坛》栏目上播放了内蒙古电视台和拖雷伊金祭奠文化研究协会联合录制的 8 集专题片，并多次重播。2010 年，内蒙古大学民族学与社会学学院，内蒙古拖雷伊金祭奠文化研究协会，内蒙古大学蒙古学研究中心主办，中共鄂托克旗委宣传部，鄂托克旗文化广播电视电影电视局协办，成功举办了“首届拖雷伊金祭奠文化学术研讨会”。

2002—2005 年间，每年的年祭都敬献 3 至 9 只以上全羊祭，2005—2009 年，每年年祭都敬献了 3 只以上全羊祭，所有全羊祭品，都由拖雷伊金达尔扈特自己提供。2009 年，赛罕塔拉嘎查集体提供全年祭品全羊，2010 年，沙日布尔都嘎查集体提供全手祭品全羊。季祭至少献 1 只全羊祭，月祭、日祭不献全羊，只献酥油灯和哈达。嘎日利大祭和阿拉克苏勒德威震大祭时，分别献一只全羊

祭品，嘎日利大祭还要献一只风干全羊祭品。据达尔扈特老人们讲：成吉思汗陵祭奠和拖雷伊金灵帐祭奠，看似相同，实际上是有区别的，一些祭祀器具的构造也是不同的，只要参加具体祭祀活动，才能领悟到。拖雷伊金祭奠文化所以能够恢复到今天这样高档次，是与一位拖雷伊金达尔扈特老人的功勋分不开。他是达尔扈特敖其尔巴图之孙，敖特很巴雅尔之独子巴达玛道尔吉。老人家为了让成吉思汗圣火永远在家乡鄂托克旗熊熊燃烧，他奋不顾身付出了毕生的精力，把拖雷伊金祭奠文化与生命连在一起，把从师傅青巴图那里学到的所有传统文化全部传承给一代又一代的拖雷伊金达尔扈特。我们年轻一代，不知道如何才能报答这位传承成吉思汗圣火文化的老人。

十三世纪以来传承的拖雷伊金祭奠文化，今天已成为象征蒙古族神火的吉祥文化。生成圣火的火镰已成为永恒的祭奉神祇。最后，祝福为拖雷伊金祭奠文化无私奉献的拖雷伊金达尔扈特巴达玛道尔吉（89岁）、寿星旭仁其其格（太保，100岁）、陶格陶呼（嘎勒其，93岁）、杜贵玛（阿拉腾彻儿必，82岁）、乌日根达来（太保，84岁）、孟克吉日嘎拉（太师）、却布拉（灯师）、仁钦道尔吉（宰桑）、昂斯勒玛（宰桑）以及新世纪被列入名册的达尔扈特和家乡的开明人士宝迪老人，长命百岁，幸福安康！同时向崇敬拖雷伊金祭奠文化，爱护拖雷伊金祭奠文化的专家学者、研究人员以及一切好心的社会各界人士，致以衷心的感谢！

（モンゴル国立大学・博士課程）

#### 参考文献：

旺楚格编著：《成吉思汗陵》，内蒙古人民出版社，2004年。

仁钦道尔吉编著：《拖雷伊金祭奠祭祀档案史料》，内蒙古人民出版社，2011年。

杨海英编著：《成吉思汗祭祀》，内蒙古人民出版社，2002年。

## 日本モンゴル文化学会収支状況

日本モンゴル文化学会 2019年度収支決算(2019年2月2日～2019年12月31日)

収入		支出		
学会費	30,000	事業費	雑誌制作費	133,100
寄付金	110,000		会議費	100,000
雑誌売上金	51,000	事務費	印鑑制作費	20,000
懇親会費残額	3,780		横断幕制作費	27,282
			学会登録前払い	50,000
合計	194,780	合計		330,382
残高	-135,602 円			

日本モンゴル文化学会 2020年度収支決算(2020年1月1日～2020年12月31日)

収入		支出		
学会費	53,000	事業費	雑誌制作費	50,000
寄付金	35,000		会議費	0
雑誌売上金	5,000	事務費	—	—
懇親会費残額	0		—	—
合計	93,000	合計		50,000
残高	+43,000			

日本モンゴル文化学会 2021年度収支決算(2021年1月1日～2021年12月31日)

収入		支出		
学会費	33,000	事業費	雑誌制作費	70,000
寄付金	70,000		会議費	0
雑誌売上金	30,000	事務費	—	—
懇親会費残額	0		—	—
合計	133,000	合計		70,000
残高	+63,000 円			

日本モンゴル文化学会 2021 年度残高 (2019 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日)

年代	収入	支出	残高
2019	194,780	330,382	-135,602
2020	93,000	50,000	+43,000
2021	133,000	70,000	+63,000
	合計=420,780	合計=450,382	-29,602 円

## 学会写真集

写真1 日本モンゴル文化学会・第五回夏季学術大会(2021年6月19日,オンライン)

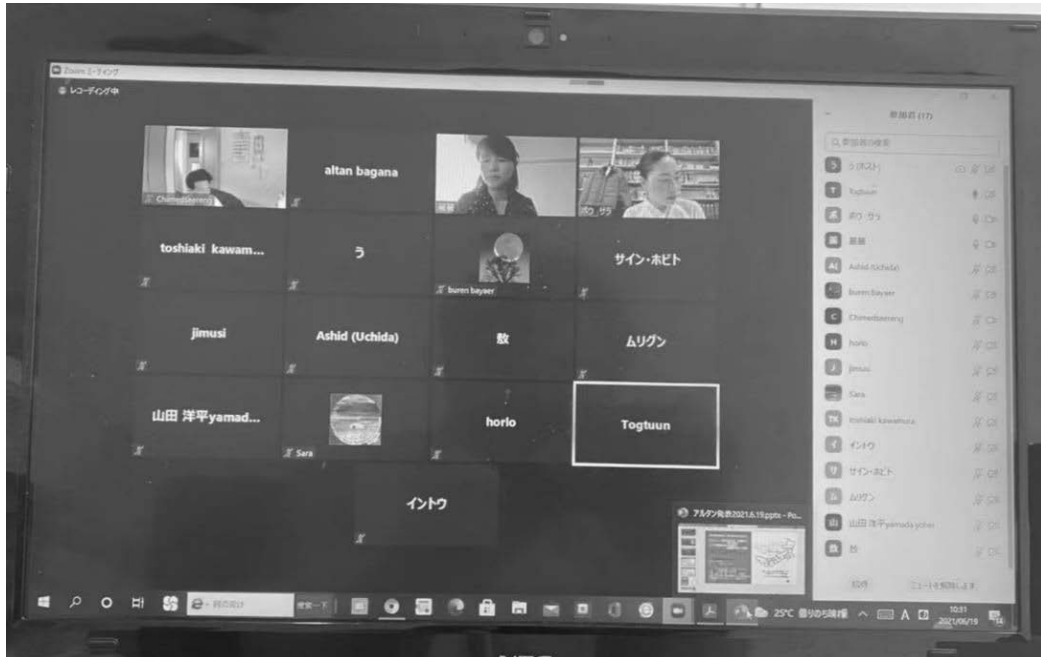


写真2 日本モンゴル文化学会・第三回理事会(オンライン,2021年1月23日)



写真3 発表者

**3. 研究結果**

表● 教職員の基本属性 (N=15)

項目	カテゴリー	N (人)
性別	男	5
	女	10
年齢	20代	4
	30代	5
	40代	3
	50代	2
	60代	1
勤務年数	3年未満	3
	5年未満	2
	10年未満	4
	20年未満	3
	20年以上	3
分担	担任	6
	寄宿舎管理	3
	科目担当	6

図1 農村留守児童を何でわかったか

- テレビ (6%)
- 新聞 (18%)
- 看板や広告 (17%)
- 聞いた事がない (59%)

写真4 参加者と発表者

**モンゴル諸語正書法**

モンゴル語口語音節末子音連結法

モンゴル語子音ソノリティー階層

C1	r	l	m	n	g	b	j	h	s	x	c	d	t
t													tt
d												dd	hundt
c											cc	malcd	nabct
x									xx	shagxc	hoiyxd	cxt	
s									ss	neursx	vaosc	nasd	vostgah
h						hh	yhsgch	tohx	mehc	jahd	tcuht		
j						jj	vaoljh	aynjs	shiljx	sajc	urgeljd	eeljtt	
b						bb	jyjbj	habh	dabslch	nobx	nabc	svobd	shvobt
g					gg	elgbc	jigjcer	scgh	ogsgor	bagx	cgc	dogdloh	agt
n			nn	engshih	oync	scnj	mwunh	huns	jcunx	onggoiy	and	gent	
m		mm	emneg	emgneh	limb	demj	hemhleh	aymsgah	emxger	emc	aymd	hami	
l	ll	cyim	oln	algsha	tcylb	aalj	scylh	als	tulx	ilc	ild	ayhilt	
r	rr	turl	teerm	narm	jerg	soyrb	arj	tcyrh	ars	harxlir	gere	ard	ert

※ 赤文字は音素子音連結。 ※ 青文字は口蓋化子音連結。 ※ URL eer ehil; CeyDefl aar twegsej) MNGol in B,J,H an SrxX



## あとがき

日本モンゴル文化学会が創立以来間もなく、3年間を経、既に6回の研究会を行った。今年は、日本モンゴル文化学会誌である『モンゴル文化研究』についても第3号を刊行する。こうした中で、大変多くの方に参加して頂き、心から感謝している。

日本モンゴル文化学会の主な活動は学術発表会であり、毎年、冬季と夏季の2回行っていたものが、2020年から毎年一回行うことにした。会員はモンゴル文化研究及び文化交流を純然たる目的とする人々によって構成され、発表者や投稿者は事前に会員として登録する必要がある。日本における一般会員の会費は年間4千円で、学生は2千円である。内モンゴルから参加する一般会員の会費は年間200円で、学生は100円。日本モンゴル文化学会の雑誌（紀要）である『モンゴル文化研究』を毎年1回刊行する（投稿を希望する場合は、本学会で発表した上で、本学会のホームページや公開ウェブサイトに掲載の投稿要項に沿って送付。締め切りは10月15日）。

2022年の活動は、まずは新型コロナウイルスの状況をみながら判断したい。現下の状態に鑑み、6月中旬に予定の夏季発表会は現地&オンライン開催を検討中である。

日本モンゴル文化学会の趣旨を理解し、発表・投稿したい方は、ぜひご連絡を！

日本モンゴル文化学会 Email:mglculture@yahoo.co.jp

## 謝辞

まず本学会の活動に寄付して頂いた方々に感謝します。2021 年度に学会の活動や出版物の経費(または会費)として河村俊明さんにお心遣い(および編集協力)を、さらに、池田健雄さんにも 2 万円の援助を頂きました。両氏にこの場を借りて感謝の意を表します。両氏に頂いた援助を学会のために、大事に使わせていただきます。

次に、本学会の発表会に積極的に参加し、本学会の活動を支えてくれた方々、また、会員として本学会の活動を応援してくれている皆さんに感謝します。

最後に、本学会の活動を組織し、主催や司会に携わってきた理事の方々、本当にありがとうございました。本学会は理事の方々あればこそ、活動が維持でき、成長しています。理事の皆さま、これまで大変お疲れさまでした。これからもよろしくお願ひ致します。

追記:当会会員サイン・ホビトさんが、『天たる火の大いなる祭祀と招福儀礼の書』という写本について(楊海英編『モンゴルの仏教寺院—毛沢東とスターリンが創出した廢墟』風響社 2021 所収)というご業績を上梓されました。ご業績を出版された会員各位は当会までぜひご一報ください。

会長代行:T.アルタンバガナ

※本学会誌の一部から著者本人以外が引用を行う場合や、本報告書の内容を参照・利用した場合は、通常の引用・参照方式に則り、必ず出典を明記してください。



日本モンゴル文化学会誌

LOGO Taliinhu (Artist)

カバー モンゴル文字

表面 バートル (内モンゴル図書館)

裏側 フスレン (名古屋大学大学院)

日本モンゴル文化学会誌

Journal of the Mongolian Cultural Society in Japan

『モンゴル文化研究』

**Mongolian Cultural Studies**

2021年12月 第三号

編者 T.アルタンバガナ

包 双月 (ボウ サラ)

令和3(2021)年12月 発行

発行 日本モンゴル文化学会

千葉県・千葉市

印刷・製本 株式会社彩流工房

神奈川県横浜市中区山手町24-11 201